

嵐山町住民意識調査 報告書

平成27年7月

嵐山町

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と方法	1
3. 回収状況	2
4. 報告書の見方	2
5. 標本数の理論数値	3
II. まち・ひと・しごとに関する意識調査	4
1. 調査回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 職業	4
(4) 通勤・通学先	5
(5) 住宅種類	5
(6) 婚姻状況	5
(7) 世帯構成	6
(8) 居住地区	7
2. 回答結果の分析	8
(1) 嵐山町の住みごち、暮らしやすさ等について	8
(2) 職業観について	30
(3) 結婚観について（49歳以下の既婚者）	38
(4) 結婚観について（49歳以下の未婚者）	60
(5) 子ども・子育てに関する日本社会の現状について	71
III. 進路希望に関する意識調査	73
1. 調査回答者の属性	73
(1) 性別	73
(2) 年齢	73
(3) 就学状況	73
(4) 住居形態	74
(5) 通勤・通学手段	74
(6) 居住地区	75
2. 回答結果の分析	76
(1) 進路希望について	76
(2) 嵐山町内での居住について	86

IV. 町外居住者に対するアンケート調査 (Web 調査)	93
1. 調査回答者の属性	93
(1) 性別	93
(2) 年齢別	93
(3) 居住地	93
(4) 職業	94
(5) 通勤・通学先	94
(6) 通勤・通学先 (埼玉県内市町村)	95
(7) 通勤・通学手段	96
(8) 通勤・通学時間	96
(9) 住居形態	96
(10) 婚姻状況	97
(11) 世帯構成	97
2. 回答結果の分析	98
(1) 居住観について	98
(2) 嵐山町について	110
V. 使用した調査票様式	115
1. まち・ひと・しごとに関する意識調査	115
2. 進路希望に関する意識調査	127
3. 町外居住者に対するアンケート調査	135

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「嵐山町人口ビジョン」及び「嵐山町総合戦略」を策定するにあたり、町民の暮らしの各分野にわたる満足度や意識、若者の進路についての希望、また、町外居住者からの嵐山町のイメージ等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査の種類と方法

○まち・ひと・しごとに関する意識調査

- (1) 調査地域 嵐山町全般
- (2) 調査対象 嵐山町に居住する 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査期間 平成 27 年 5 月 22 日～平成 27 年 6 月 8 日
- (6) 調査方法 郵送法

○進路希望に関する意識調査

- (1) 調査地域 嵐山町全般
- (2) 調査対象 嵐山町に居住する 16 歳から 22 歳になる学生
- (3) 標本数 500 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査期間 平成 27 年 5 月 22 日～平成 27 年 6 月 8 日
- (6) 調査方法 郵送法

○町外居住者に対するアンケート調査

- (1) 調査地域 比企郡の町、近隣市町および嵐山町からの転出超過地域
(滑川町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、
深谷市、熊谷市、東松山市、寄居町、坂戸市、鶴ヶ島市、
川越市、さいたま市、板橋区)
- (2) 調査対象 各地域に居住する 20 歳以上の男女
- (3) 有効回答数 730 人
- (4) 抽出方法 民間調査会社の所有する登録モニター
- (5) 調査期間 平成 27 年 7 月 3 日～7 月 5 日
- (6) 調査方法 Web

3. 回収状況

	標本数	回収数	回収率
1. まち・ひと・しごとに関する意識調査	2,000	955	47.8%
2. 進路希望に関する意識調査	500	151	30.2%

3. 町外居住者に対するアンケート調査

地域	市区町	回収数（回収目標 60）
比企郡	滑川町	37
	小川町	51
	川島町	31
	吉見町	28
	鳩山町	31
	ときがわ町	13
隣接市町	深谷市	60
	熊谷市	60
	東松山市	60
	寄居町	59
その他転出超過	坂戸市	60
	鶴ヶ島市	60
	川越市	60
	さいたま市	60
	板橋区	60
	計	730

4. 報告書の見方

- (1) 回収の比率は、有効回答率を基数としていますが、限定質問の比率については該当数を基数としました。また、質問の回答が複数回答の場合は、比率の合計が100.0%を超えることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、nとして表示しました。グラフの中の基数は（）内に表示しました。
- (3) 比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため、合計が100.0%にならないことがあります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、文意に留意しながら簡略化している場合があります。

5. 標本数の理論数値

必要な標本数の理論数値

母集団 (N)	17,974	嵐山町人口 (平成 27 年 5 月 1 日付住民基本台帳)
許容誤差 (e)	5 %	
信頼度係数 (Z)	1.96	(信頼度 95%としたときの係数)
母集団の比率 (P)	0.5	
必要な標本数 (n)	377	
配布すべき標本数	942.5	n/0.4 (回収率 40%想定の場合の必要配布数)

信頼度が 95%で標本誤差が 5%以内とするために必要な標本数は以下の通り求められます。

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{Z}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1} = 376.142$$

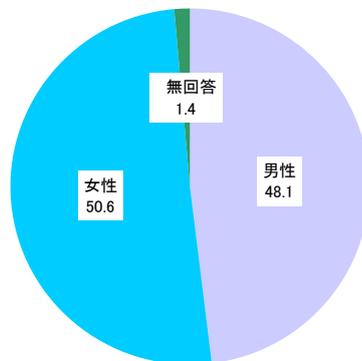
嵐山町の全住民を母集団とする調査では、必要な標本数は 377 件であり、回収率を 40%と想定した場合、943 件以上配布すれば、信頼度 95%、標本誤差 5%以内の結果を得ることができます。

Ⅱ. まち・ひと・しごとに関する意識調査

1. 調査回答者の属性

(1) 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	459	48.1%
(2) 女性	483	50.6%
無回答	13	1.4%
計	955	100.0%

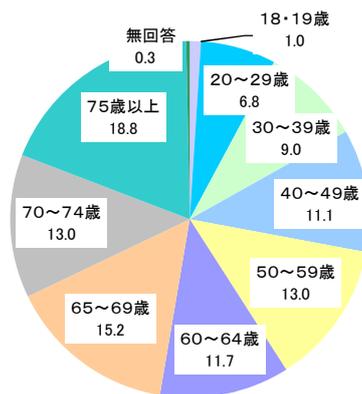


N = 955

%

(2) 年齢

	回答数	構成比
(1) 18・19歳	10	1.0%
(2) 20～29歳	65	6.8%
(3) 30～39歳	86	9.0%
(4) 40～49歳	106	11.1%
(5) 50～59歳	124	13.0%
(6) 60～64歳	112	11.7%
(7) 65～69歳	145	15.2%
(8) 70～74歳	124	13.0%
(9) 75歳以上	180	18.8%
無回答	3	0.3%
計	955	100.0%

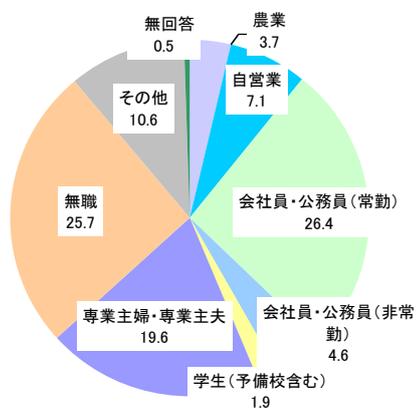


N = 955

%

(3) 職業

	回答数	構成比
(1) 農業	35	3.7%
(2) 自営業	68	7.1%
(3) 会社員・公務員(常勤)	252	26.4%
(4) 会社員・公務員(非常勤)	44	4.6%
(5) 学生(予備校含む)	18	1.9%
(6) 専業主婦・専業主夫	187	19.6%
(7) 無職	245	25.7%
(8) その他	101	10.6%
無回答	5	0.5%
計	955	100.0%

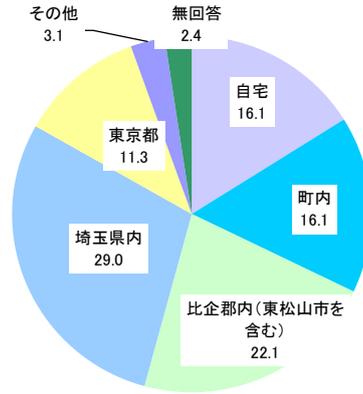


N = 955

%

(4) 通勤・通学先

	回答数	構成比
(1) 自宅	67	16.1%
(2) 町内	67	16.1%
(3) 比企郡内(東松山市を含む)	92	22.1%
(4) 埼玉県内	121	29.0%
(5) 東京都	47	11.3%
(6) その他	13	3.1%
無回答	10	2.4%
計	417	100.0%

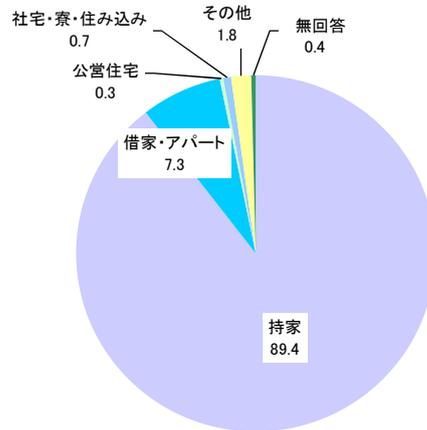


N = 417

96

(5) 住宅種類

	回答数	構成比
(1) 持家	854	89.4%
(2) 借家・アパート	70	7.3%
(3) 公営住宅	3	0.3%
(4) 社宅・寮・住み込み	7	0.7%
(5) その他	17	1.8%
無回答	4	0.4%
計	955	100.0%

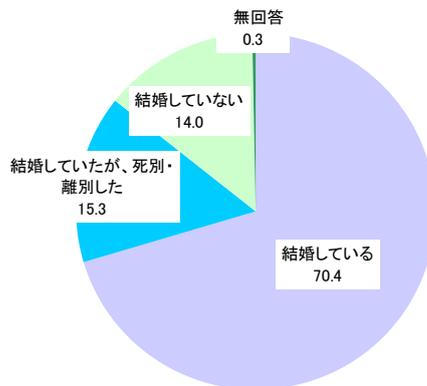


N = 955

96

(6) 婚姻状況

	回答数	構成比
(1) 結婚している	672	70.4%
(2) 結婚していたが、死別・離別した	146	15.3%
(3) 結婚していない	134	14.0%
無回答	3	0.3%
計	955	100.0%

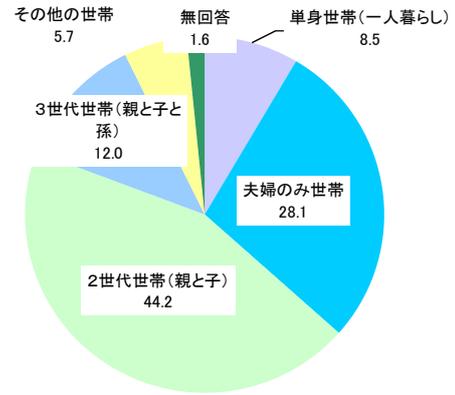


N = 955

96

(7) 世帯構成

	回答数	構成比
(1) 単身世帯(一人暮らし)	81	8.5%
(2) 夫婦のみ世帯	268	28.1%
(3) 2世代世帯(親と子)	422	44.2%
(4) 3世代世帯(親と子と孫)	115	12.0%
(5) その他の世帯	54	5.7%
無回答	15	1.6%
計	955	100.0%

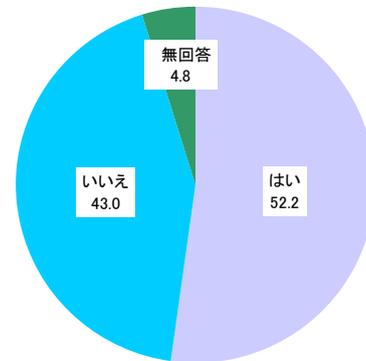


N = 955

%

将来、嵐山町で3世代同居または近居したいか

	回答数	構成比
(1) はい	360	52.2%
(2) いいえ	297	43.0%
無回答	33	4.8%
計	690	100.0%

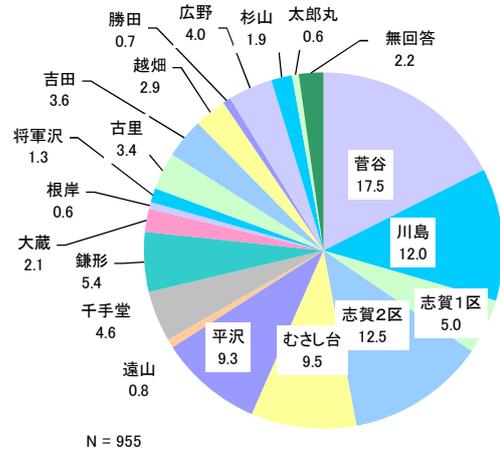


N = 690

%

(8) 居住地区

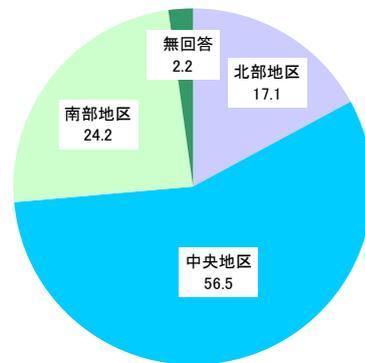
	回答数	構成比
(1) 菅谷	167	17.5%
(2) 川島	115	12.0%
(3) 志賀1区	48	5.0%
(4) 志賀2区	119	12.5%
(5) むさし台	91	9.5%
(6) 平沢	89	9.3%
(7) 遠山	8	0.8%
(8) 千手堂	44	4.6%
(9) 鎌形	52	5.4%
(10) 大蔵	20	2.1%
(11) 根岸	6	0.6%
(12) 将軍沢	12	1.3%
(13) 古里	32	3.4%
(14) 吉田	34	3.6%
(15) 越畑	28	2.9%
(16) 勝田	7	0.7%
(17) 広野	38	4.0%
(18) 杉山	18	1.9%
(19) 太郎丸	6	0.6%
無回答	21	2.2%
計	955	100.0%



96

居住地区3区分別

	回答数	構成比
(1) 北部地区	163	17.1%
(2) 中央地区	540	56.5%
(3) 南部地区	231	24.2%
無回答	21	2.2%
計	955	100.0%



N = 955

96

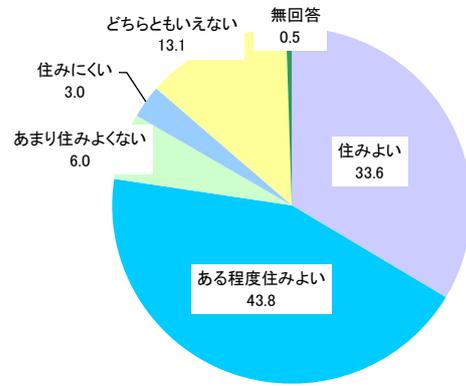
2. 回答結果の分析

(1) 嵐山町の住みごころ、暮らしやすさ等について

【1】 嵐山町の住みよさ

問9 あなたにとって、嵐山町は住みよいと思いますか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 住みよい	321	33.6%
(2) ある程度住みよい	418	43.8%
(3) あまり住みよくない	57	6.0%
(4) 住みにくい	29	3.0%
(5) どちらともいえない	125	13.1%
無回答	5	0.5%
計	955	100.0%

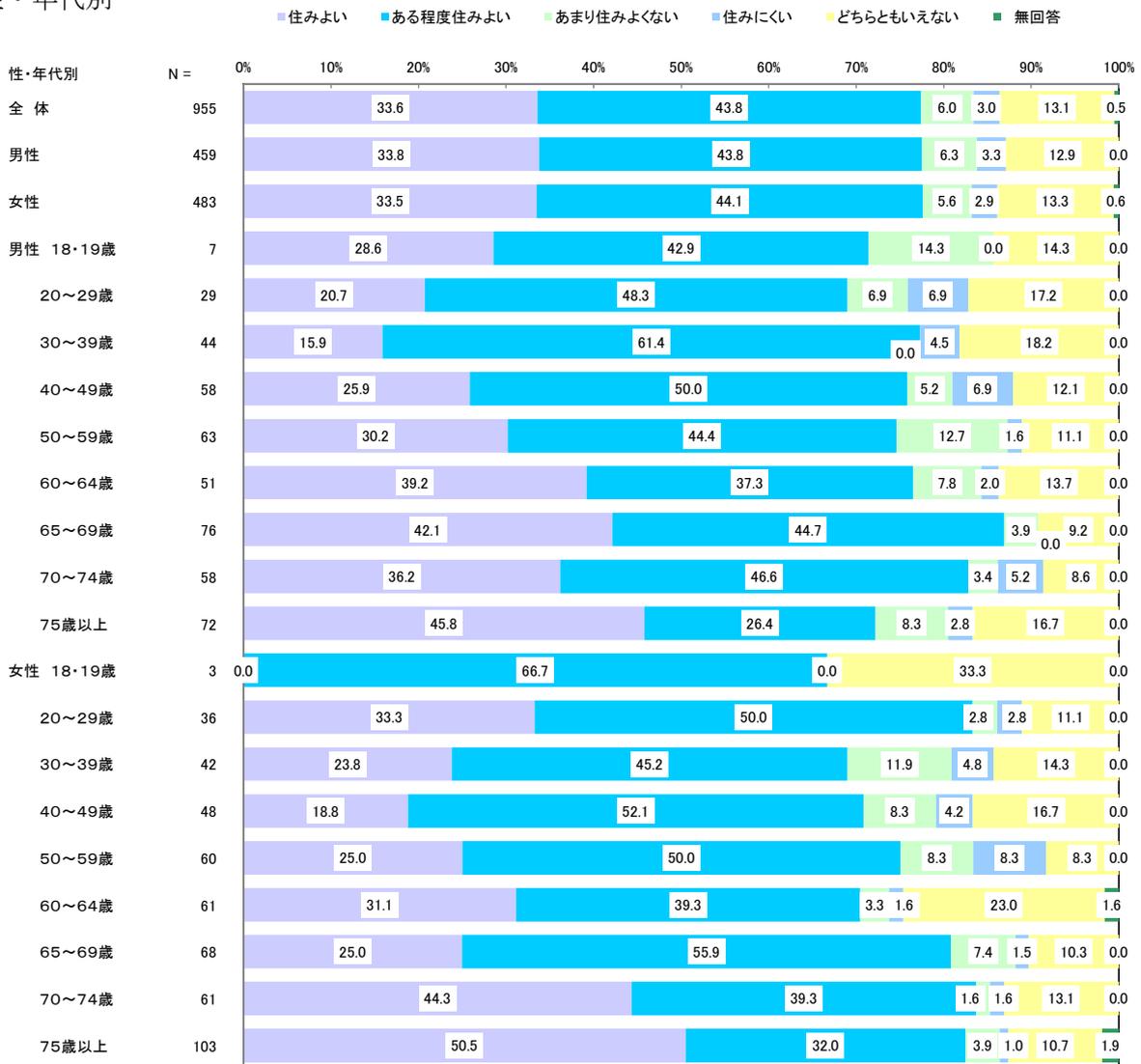


N = 955

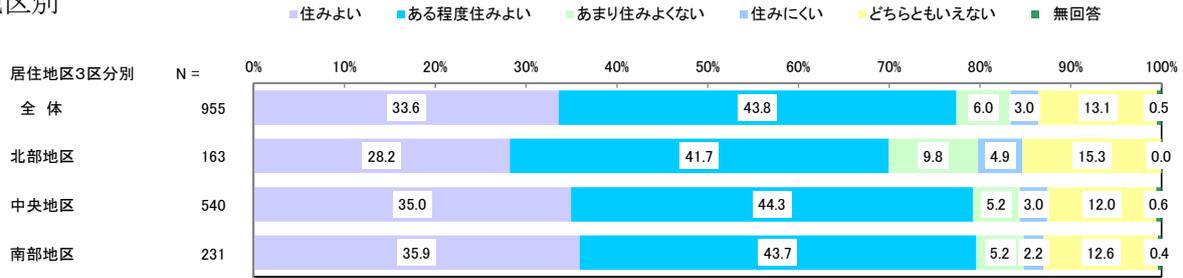
%

《属性別》

● 性・年代別



●地区別



嵐山町の住みよさについて聞いたところ、「住みよい」と答えた人が 33.6%、「ある程度住みよい」と答えた人が 43.8%で、これらを合わせると 77.4%です。約 8 割の人が嵐山町は住みよいと回答しています。

性別では、住みよいと回答した人は男女で同数となっており、性・年代別では、65～69 歳の男性が「住みよい」と「ある程度住みよい」の合計（「住みよさ」）が 86.8%で一番多くなっており、次いで 70～74 歳の女性が 83.6%、20～29 歳の女性が 83.3%と続いています。

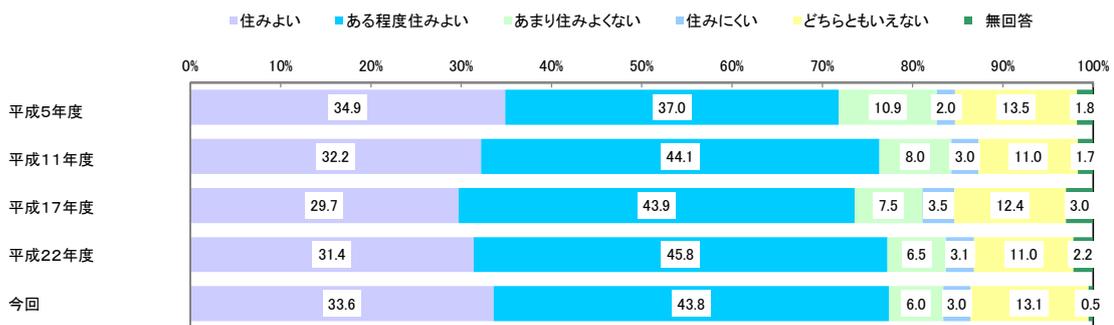
地区別では、南部地区が「住みよさ」は 79.6%と最も高く、次いで中央地区が 79.3%、北部地区が 69.9%となっています。

「住みにくい」と「あまり住みよくない」の合計（「住みにくさ」）は 9.0%となっており、性・年代別では 30～39 歳の女性が 16.7%、次いで 50～59 歳の女性が 16.6%となっています。

「住みにくい」と回答した方では、50～59 歳の女性が 8.3%と最も多く、次いで 20～29 歳と 40～49 歳の男性がそれぞれ 6.9%となっています。

地区別では、北部地区の「住みにくさ」が 14.7%と最も高くなっており、同様に「住みにくい」も 4.9%と最も高くなっていきます。

●過去のアンケート調査との比較



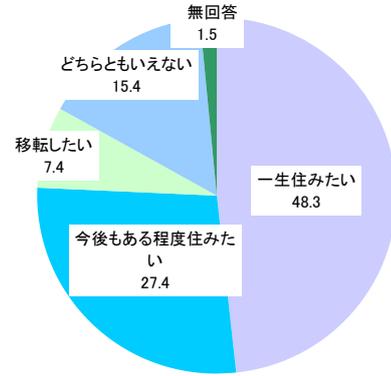
過去のアンケート調査と比較すると、「住みよさ」が微増し、過去最高の 77.4%となっています。

一方、「住みにくさ」では平成 5 年度が 12.9%でしたが、今回の調査は 9.0%となっており、減少しています。

【2】 嵐山町居住継続の意思

問 10 あなたは、今後も嵐山町に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 一生住みたい	461	48.3%
(2) 今後もある程度住みたい	262	27.4%
(3) 移転したい	71	7.4%
(4) どちらともいえない	147	15.4%
無回答	14	1.5%
計	955	100.0%

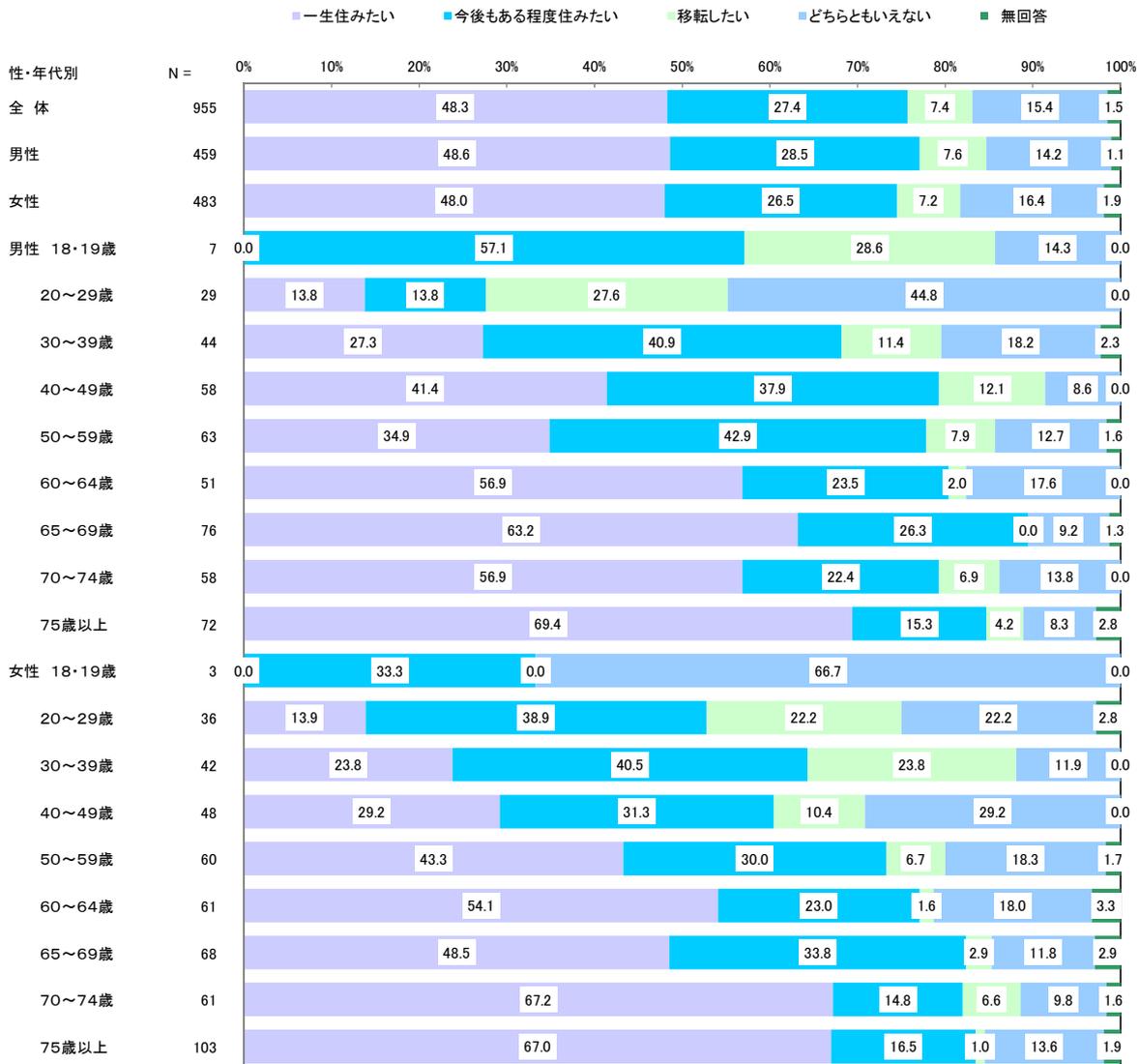


N = 955

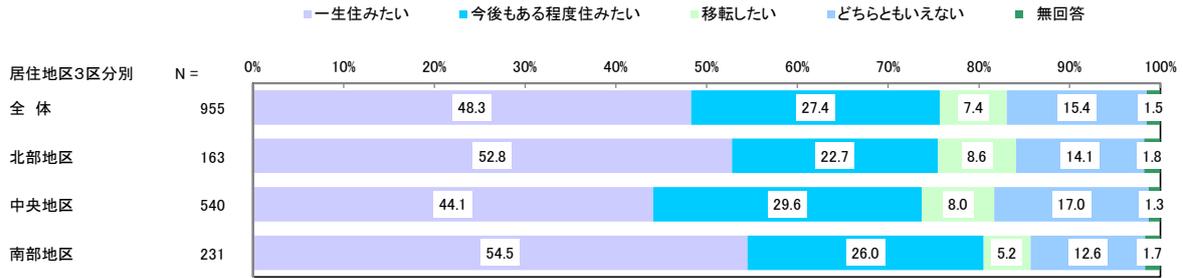
%

《属性別》

● 性・年代別



●地区別



嵐山町居住継続の意思について聞いたところ、「一生住みたい」と答えた人が 48.3%、「今後もある程度住みたい」と答えた人が 27.4%で、これらを合わせると 75.7%となっています。7割を超える方に定住志向があるという結果になっています。

性別では、男性の「一生住みたい」、「今後もある程度住みたい」の合計（「定住志向」）は 77.1%、女性は 74.5%で、男性が若干多くなっています。

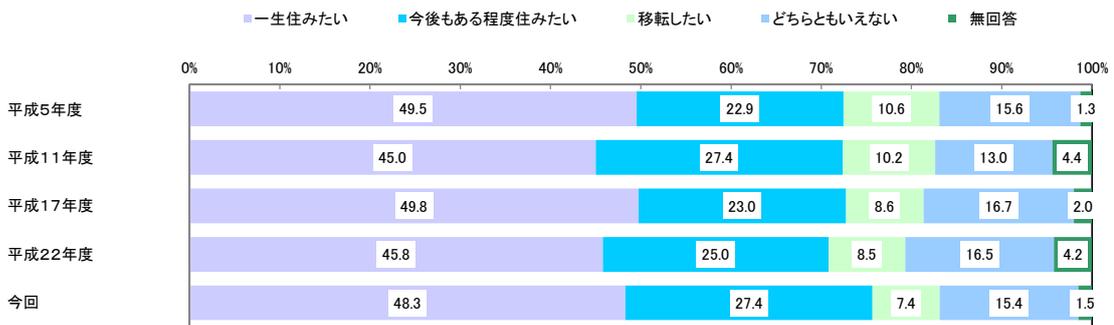
性・年代別では、65～69歳の男性で「定住志向」が 89.5%と最も高く、次いで 75歳以上の男性が 84.7%となっています。

地区別では、南部地区の「定住志向」が 80.5%と最も高く、北部地区が 75.5%、中央地区が 73.7%となっています。

一方、「移転したい」と回答した人は 7.4%となっており、性・年代別では 18・19歳の男性で 28.6%、20～29歳の男性で 27.6%と高くなっています。

地区別では、北部地区で「移転したい」が 8.6%と最も高く、中央地区が 8.0%、南部地区が 5.2%となっています。

●過去のアンケート調査との比較



過去のアンケートと比較すると、平成 17 年度に「定住志向」が 72.8%となっており、平成 22 年度には 70.8%とやや減少していましたが、今回 75.7%となり、過去最高となっています。

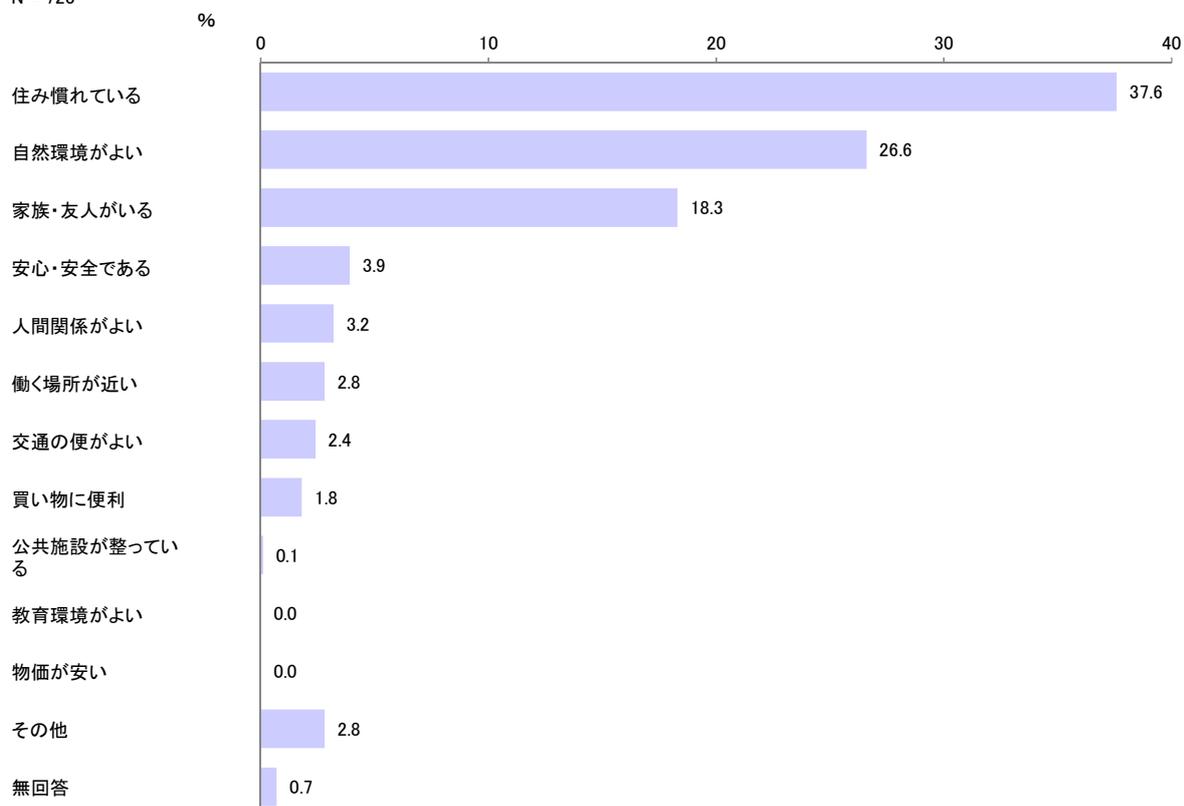
一方、「移転したい」と回答した方は、平成 5 年度の 10.6%でしたが、今回は 7.4%となっており、減少しています。

【3】 居住を希望する理由

問 10-1 住みたいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

	回答数	構成比		回答数	構成比
(1) 住み慣れている	272	37.6%	(8) 買い物に便利	13	1.8%
(2) 自然環境がよい	192	26.6%	(9) 公共施設が整っている	1	0.1%
(3) 家族・友人がいる	132	18.3%	(10) 教育環境がよい	0	0.0%
(4) 安心・安全である	28	3.9%	(11) 物価が安い	0	0.0%
(5) 人間関係がよい	23	3.2%	(12) その他	20	2.8%
(6) 働く場所が近い	20	2.8%	無回答	5	0.7%
(7) 交通の便がよい	17	2.4%	計	723	100.0%

N = 723



《属性別》

●性・年代別／地区別

	n	住み慣れている	自然環境がよい	家族・友人がいる	安心・安全である	人間関係がよい	働く場所が近い	交通の便がよい	買い物に便利	公共施設が整っている	教育環境がよい	物価が安い	その他	(%) 無回答
全体	723	37.6	26.6	18.3	3.9	3.2	2.8	2.4	1.8	0.1	-	-	2.8	0.7
男性	354	38.1	27.4	13.6	4.2	4.2	3.7	2.3	2.8	-	-	-	3.4	0.3
女性	360	37.2	25.3	23.1	3.6	2.2	1.9	2.5	0.8	0.3	-	-	1.9	1.1
男性 18・19歳	4	25.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-
20～29歳	8	12.5	25.0	25.0	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-
30～39歳	30	26.7	23.3	20.0	-	10.0	10.0	-	3.3	-	-	-	6.7	-
40～49歳	46	34.8	23.9	15.2	2.2	10.9	8.7	2.2	-	-	-	-	2.2	-
50～59歳	49	34.7	22.4	14.3	8.2	4.1	6.1	2.0	2.0	-	-	-	6.1	-
60～64歳	41	34.1	34.1	9.8	4.9	7.3	2.4	2.4	-	-	-	-	2.4	2.4
65～69歳	68	47.1	32.4	13.2	1.5	-	1.5	-	1.5	-	-	-	2.9	-
70～74歳	46	43.5	30.4	8.7	4.3	4.3	-	4.3	2.2	-	-	-	2.2	-
75歳以上	61	41.0	24.6	13.1	6.6	-	-	3.3	8.2	-	-	-	3.3	-
女性 18・19歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	19	15.8	31.6	26.3	-	-	10.5	5.3	-	5.3	-	-	5.3	-
30～39歳	27	40.7	14.8	29.6	3.7	3.7	-	3.7	3.7	-	-	-	-	-
40～49歳	29	17.2	31.0	27.6	3.4	3.4	10.3	-	-	-	-	-	6.9	-
50～59歳	44	45.5	20.5	20.5	2.3	-	4.5	2.3	-	-	-	-	4.5	-
60～64歳	47	38.3	17.0	27.7	4.3	4.3	-	2.1	2.1	-	-	-	4.3	-
65～69歳	56	46.4	30.4	10.7	7.1	-	-	3.6	-	-	-	-	-	1.8
70～74歳	50	38.0	32.0	22.0	2.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0
75歳以上	86	37.2	25.6	24.4	3.5	2.3	-	3.5	1.2	-	-	-	-	2.3
北部地区	123	36.6	23.6	23.6	4.1	4.1	1.6	-	0.8	-	-	-	5.7	-
中央地区	398	36.9	26.6	16.3	4.0	3.3	3.8	4.3	1.3	0.3	-	-	2.0	1.3
南部地区	186	39.8	30.1	16.1	3.2	2.7	1.6	-	3.8	-	-	-	2.7	-

問10で「一生住みたい」、「今後もある程度住みたい」と回答した方にその理由を聞いたところ、「住み慣れている」が37.6%と最も高く、次いで「自然環境がよい」が26.6%、「家族・友人がいる」が18.3%となっており、この3つで8割強を占めています。

性別では、「家族・友人がいる」が女性で23.1%と、男性の13.6%よりも若干多くなっています。

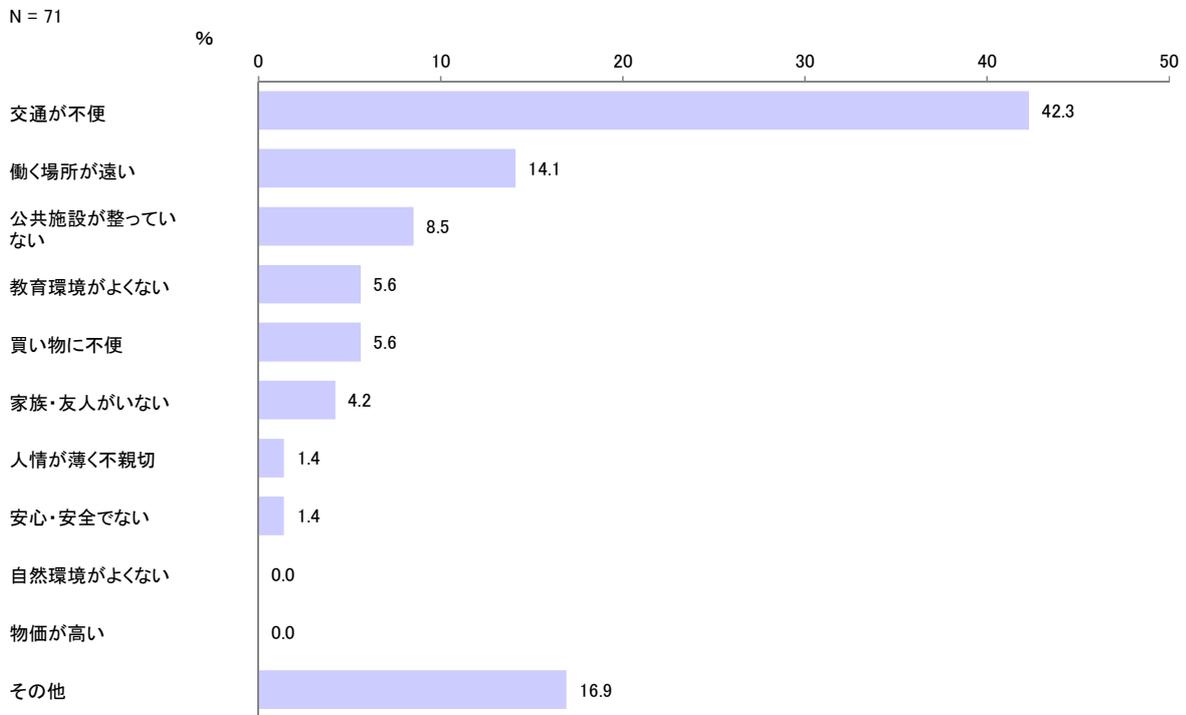
性・年代別では、「住み慣れている」は65～69歳の男性が47.1%と最も高く、次いで65～69歳の女性が46.4%となっています。「自然環境がよい」は60～64歳の男性が34.1%と最も高くなっています。「家族・友人がいる」は30～39歳の女性で29.6%と最も高く、次いで60～64歳の女性が27.7%、40～49歳の女性が27.6%となっています。

地区別では、南部地区で「住み慣れている」が39.8%、「自然環境がよい」が30.1%と最も高くなっています。北部地区では「家族・友人がいる」が23.6%と最も高くなっています。

【4】 移転を希望する理由

問 10-2 移転したいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

	回答数	構成比		回答数	構成比
(1) 交通が不便	30	42.3%	(6) 家族・友人がいない	3	4.2%
(2) 働く場所が遠い	10	14.1%	(7) 人情が薄く不親切	1	1.4%
(3) 公共施設が整っていない	6	8.5%	(8) 安心・安全でない	1	1.4%
(4) 教育環境がよくない	4	5.6%	(9) 自然環境がよくない	0	0.0%
(5) 買い物に不便	4	5.6%	(10) 物価が高い	0	0.0%
			(11) その他	12	16.9%
			計	71	100.0%



《属性別》

●年代別／地区別

	n	交通が不便	働く場所が遠い	公共施設が整っていない	教育環境がよくない	買い物に不便	家族・友人がいない	人情が薄く不親切	安心・安全でない	自然環境がよくない	物価が高い	その他
全体	71	42.3	14.1	8.5	5.6	5.6	4.2	1.4	1.4	-	-	16.9
男性	35	25.7	20.0	11.4	2.9	5.7	8.6	2.9	-	-	-	22.9
女性	35	60.0	8.6	5.7	8.6	5.7	-	-	-	-	-	11.4
18・19歳	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	16	37.5	43.8	6.3	-	-	6.3	-	-	-	-	6.3
30～39歳	15	33.3	-	13.3	13.3	6.7	6.7	-	-	-	-	26.7
40～49歳	12	41.7	16.7	-	8.3	16.7	-	-	-	-	-	16.7
50～59歳	9	55.6	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	-	22.2
60～64歳	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
65～69歳	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
70～74歳	8	62.5	-	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	12.5
75歳以上	4	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0
北部地区	14	50.0	7.1	7.1	-	21.4	14.3	-	-	-	-	-
中央地区	43	39.5	16.3	9.3	7.0	2.3	2.3	2.3	-	-	-	20.9
南部地区	12	50.0	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-	25.0

問10で「移転したい」と回答した方にその理由を聞いたところ、「交通が不便」が42.3%と最も高く、次いで「働く場所が遠い」が14.1%となっています。また、「その他」の回答が12件(16.9%)あり、その内訳は「両親・実家の近くに引っ越すため」が2件、「騒音問題」が2件などとなっています。

性別では、「交通が不便」が女性で60.0%と、男性の25.7%よりも多くなっています。また、「働く場所が遠い」が男性で20.0%と、女性の8.6%よりも若干多くなっています。

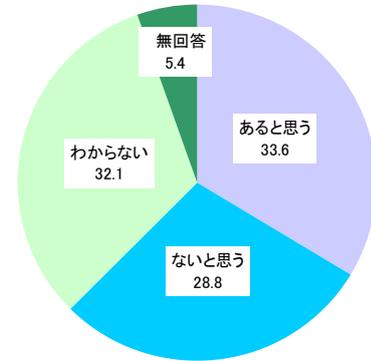
年代別では、「交通が不便」は70～74歳が62.5%と最も高く、次いで50～59歳が55.6%となっています。「働く場所が遠い」は20～29歳が43.8%と最も高くなっています。

地区別では、北部地区と南部地区で「交通が不便」が50.0%と高く、中央地区で「働く場所が遠い」が16.3%と最も高くなっています。

【5】 地域を住みよくするための活動の障害

問 11 あなたが住んでいる地域を住みよくするための活動の障害になっているものがあると思いますか。(〇は1つ)

	回答数	構成比
(1) あると思う	321	33.6%
(2) ないと思う	275	28.8%
(3) わからない	307	32.1%
無回答	52	5.4%
計	955	100.0%

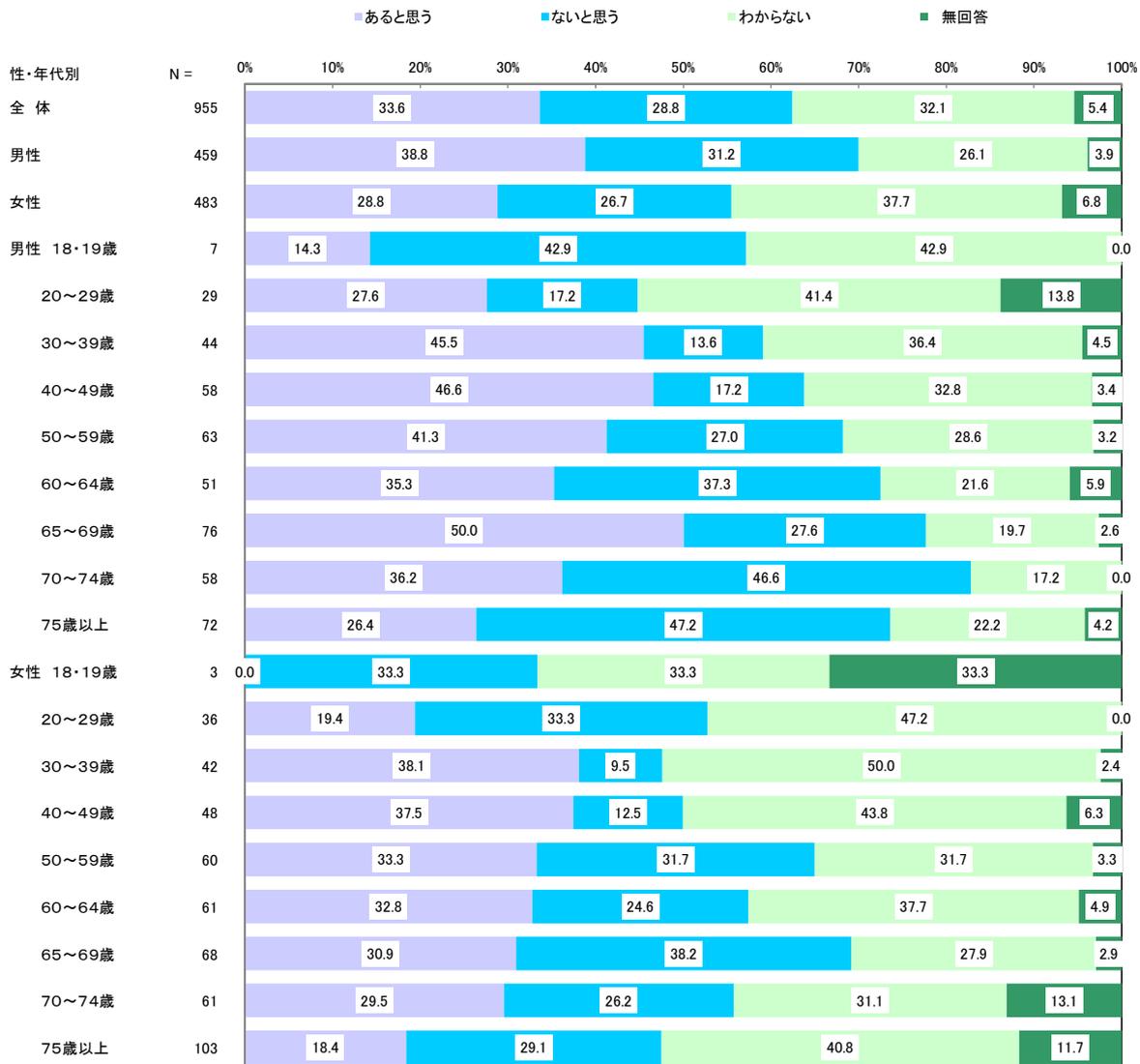


N = 955

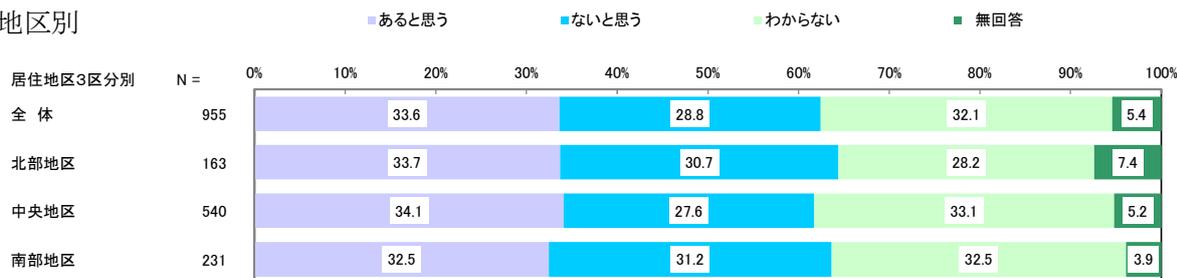
%

《属性別》

● 性・年代別



●地区別



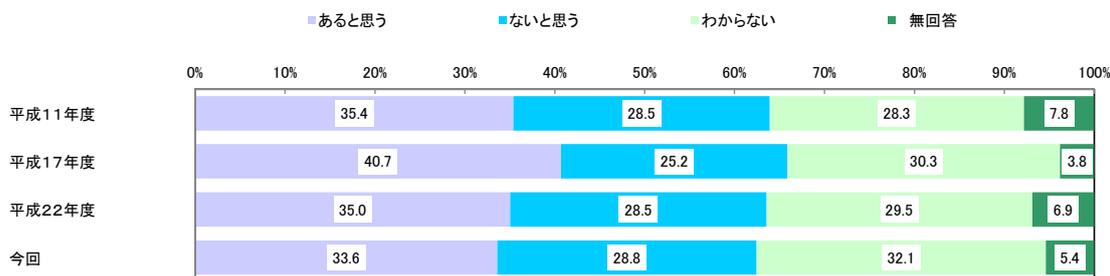
地域を住みよくするための障害について聞いたところ、「あると思う」と回答した方が33.6%となっており、「ないと思う」と回答した方は28.8%でした。

性別では、「あると思う」が男性で38.8%と、女性の28.8%よりも若干多くなっています。

性・年代別では、「あると思う」と回答した人は、65～69歳の男性で50.0%と最も高く、次いで40～49歳の男性で46.6%となっています。一方、「ないと思う」と回答した人は、75歳以上の男性で47.2%、次いで70～74歳の男性で46.6%となっています。

地区別では、「あると思う」は中央地区で34.1%と最も高くなっています。一方、「ないと思う」が南部地区で31.2%と最も高く、次いで北部地区で30.7%です。

●過去のアンケート調査との比較



過去のアンケートと比較すると、「あると思う」と回答した方は今回33.6%となり、調査以来最も低くなっています。「ないと思う」と回答した方も、今回は28.8%となっており、前回よりわずかに増加しています。

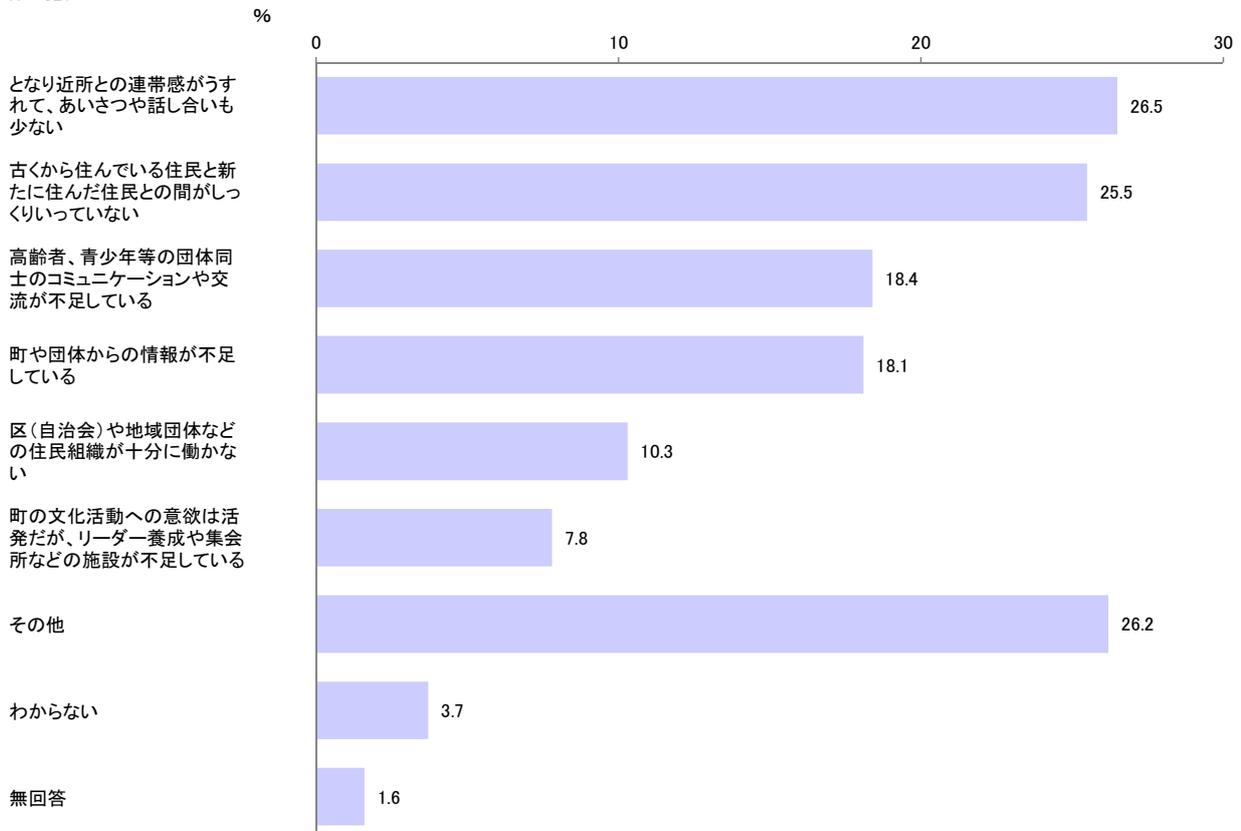
【6】 主な問題

問 11-1 それはどんな問題だと思えますか。(○は2つまで)

n = 321

	回答数	構成比
(1) とおり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない	85	26.5%
(2) 古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない	82	25.5%
(3) 高齢者、青少年等の団体同士のコミュニケーションや交流が不足している	59	18.4%
(4) 町や団体からの情報が不足している	58	18.1%
(5) 区(自治会)や地域団体などの住民組織が十分に働かない	33	10.3%
(6) 町の文化活動への意欲は活発だが、リーダー養成や集会所などの施設が不足している	25	7.8%
(7) その他	84	26.2%
(8) わからない	12	3.7%
無回答	5	1.6%
計	443	100.0%

N = 321



《属性別》

●性・年代別／地区別

	n	いて、ありさつや話し合いも少ない	となり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない	古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない	足している	高齢者、青少年等の団体同士のコミュニケーションや交流が不足している	町や団体からの情報が不足している	住民（自治会）や地域団体などの組織が十分に働かない	が、施設が不足している	町の文化活動への意欲は活発だ	その他	わからない	無回答
全体	321	26.5	25.5	18.4	18.1	10.3	7.8	26.2	3.7	1.6			
男性	178	27.5	21.9	20.8	18.0	10.1	10.7	24.2	4.5	0.6			
女性	139	25.2	28.8	15.8	18.7	10.8	4.3	29.5	2.2	2.9			
男性 18・19歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-			
20～29歳	8	12.5	-	50.0	-	12.5	37.5	25.0	-	-			
30～39歳	20	25.0	25.0	-	30.0	5.0	10.0	25.0	15.0	-			
40～49歳	27	11.1	25.9	3.7	29.6	14.8	7.4	29.6	3.7	3.7			
50～59歳	26	23.1	19.2	19.2	19.2	7.7	-	30.8	7.7	-			
60～64歳	18	27.8	16.7	33.3	16.7	5.6	11.1	22.2	-	-			
65～69歳	38	39.5	21.1	23.7	21.1	10.5	15.8	13.2	2.6	-			
70～74歳	21	38.1	42.9	33.3	4.8	9.5	9.5	19.0	-	-			
75歳以上	19	31.6	10.5	26.3	5.3	15.8	10.5	31.6	5.3	-			
女性 18・19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
20～29歳	7	14.3	28.6	14.3	14.3	-	14.3	42.9	-	-			
30～39歳	16	-	50.0	6.3	18.8	12.5	-	37.5	-	-			
40～49歳	18	22.2	22.2	16.7	16.7	16.7	-	38.9	-	-			
50～59歳	20	20.0	25.0	5.0	30.0	10.0	-	50.0	-	15.0			
60～64歳	20	35.0	25.0	10.0	35.0	10.0	5.0	25.0	-	-			
65～69歳	21	28.6	33.3	33.3	9.5	4.8	-	23.8	4.8	-			
70～74歳	18	33.3	11.1	16.7	16.7	11.1	5.6	16.7	11.1	5.6			
75歳以上	19	36.8	36.8	21.1	5.3	15.8	15.8	10.5	-	-			
北部地区	55	16.4	14.5	18.2	21.8	10.9	10.9	29.1	5.5	3.6			
中央地区	184	29.9	26.1	19.0	19.0	9.2	8.2	24.5	2.7	1.1			
南部地区	75	26.7	32.0	17.3	9.3	12.0	4.0	28.0	5.3	1.3			

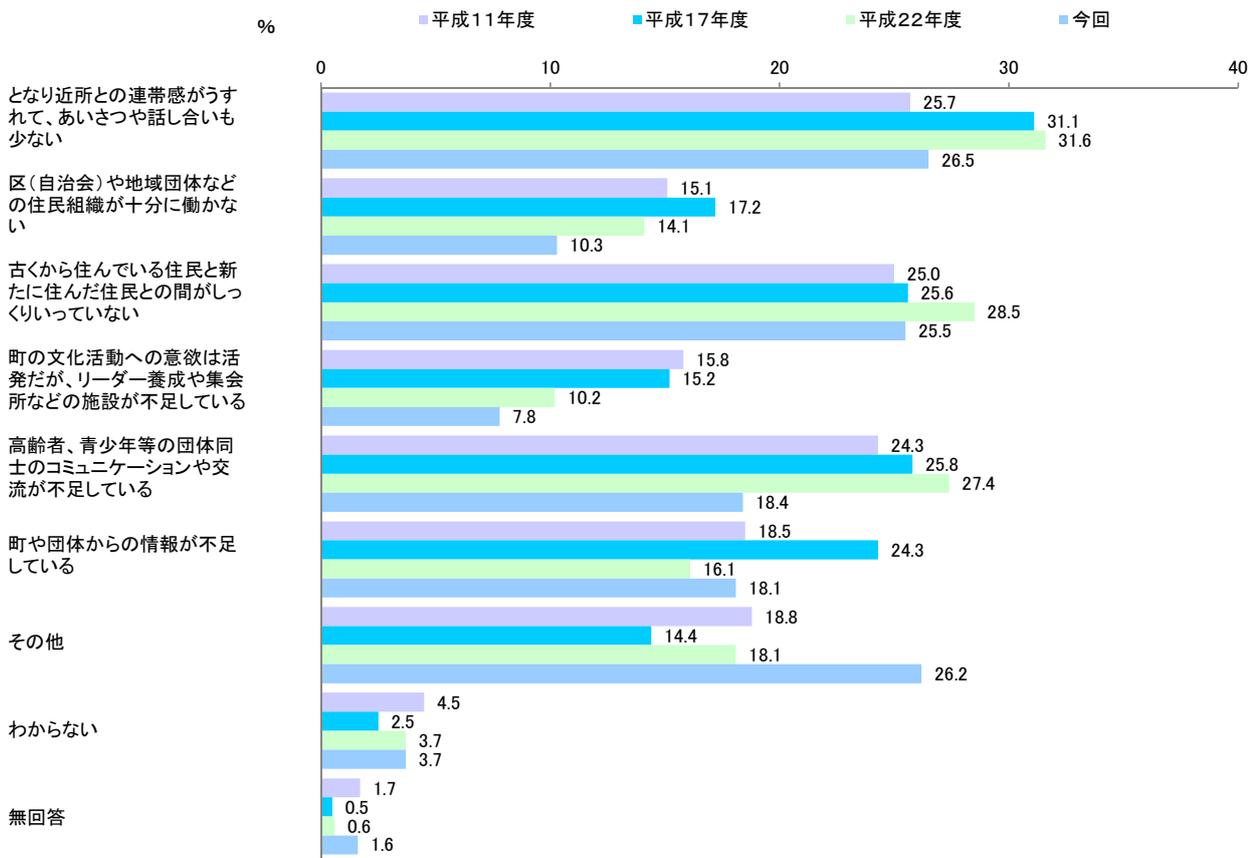
問11で「あると思う」と回答した人に理由を2つまで聞いたところ、「となり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない」が26.5%で最も高くなっています。次いで「古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない」が25.5%となっています。

性別では、「古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない」が女性で28.8%と、男性の21.9%よりも若干多くなっています。また、「高齢者、青少年等の団体同士のコミュニケーションや交流が不足している」が男性で20.8%と、女性の15.8%よりも若干多くなっています。

年代別では、「となり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない」は65～69歳の男性が39.5%と最も高く、次いで70～74歳の男性が38.1%となっています。「古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない」は30～39歳の女性が50.0%と最も高く、次いで70～74歳の男性が42.9%となっています。

地区別では、中央地区で「となり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない」が29.9%、南部地区で「古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない」が32.0%と最も高くなっています。

●過去のアンケート調査との比較



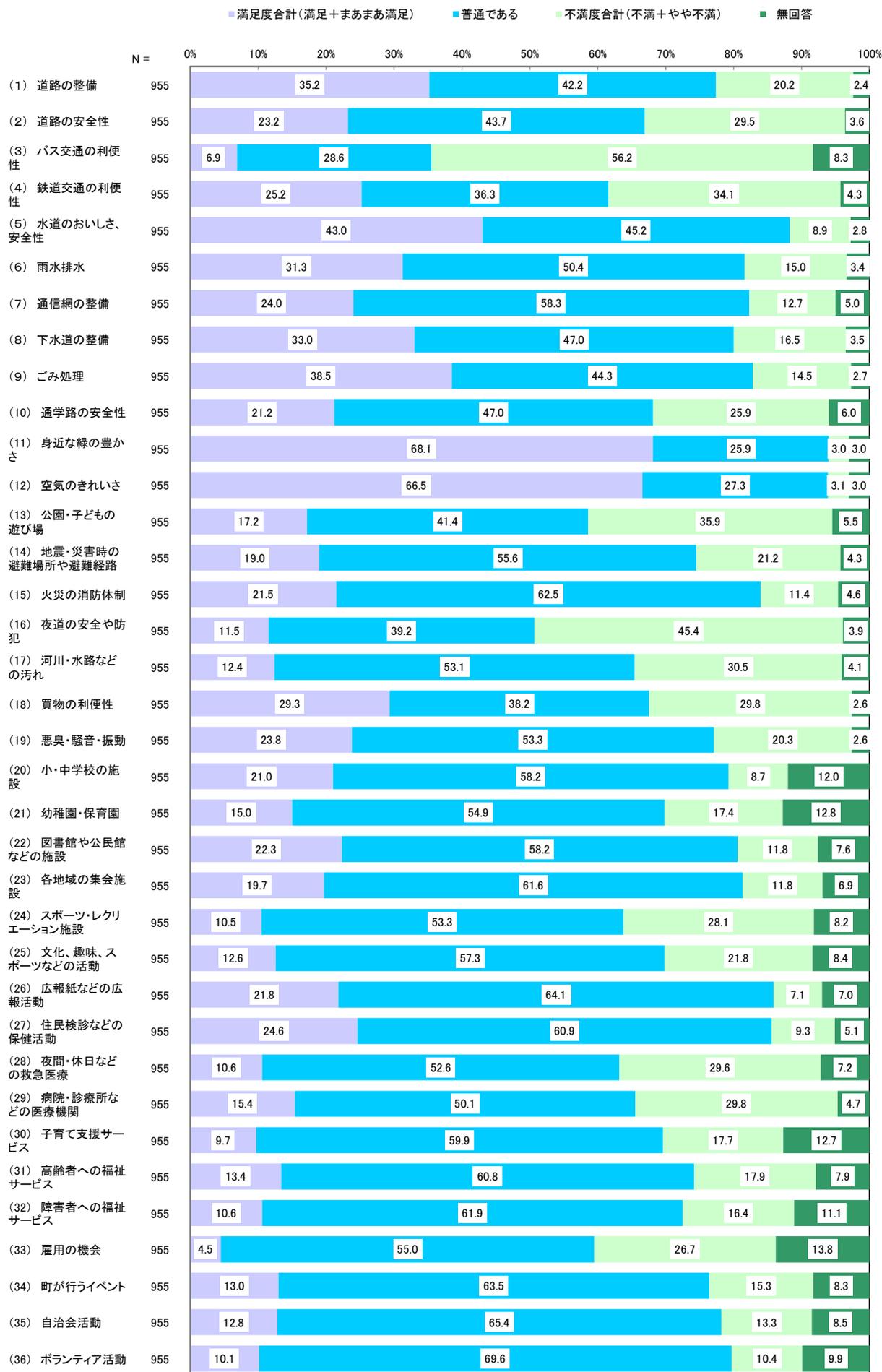
過去のアンケートと比較すると、ほぼすべての項目で減少していますが、「町や団体からの情報が不足している」では2.0ポイント増加しています。

【7】 生活環境の総合評価

問 12 あなたが住んでいる地域の環境をどのように感じていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。(○は1つずつ)

n = 955

	満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
○都市基盤						
(1) 道路の整備	10.7%	24.5%	42.2%	13.3%	6.9%	2.4%
(2) 道路の安全性	6.1%	17.2%	43.7%	20.8%	8.7%	3.6%
(3) バス交通の利便性	2.0%	4.9%	28.6%	25.8%	30.5%	8.3%
(4) 鉄道交通の利便性	8.3%	17.0%	36.3%	21.7%	12.5%	4.3%
(5) 水道のおいしさ、安全性	17.9%	25.1%	45.2%	6.9%	2.0%	2.8%
(6) 雨水排水	11.7%	19.6%	50.4%	9.9%	5.0%	3.4%
(7) 通信網の整備	8.3%	15.7%	58.3%	8.9%	3.8%	5.0%
(8) 下水道の整備	13.6%	19.4%	47.0%	8.9%	7.6%	3.5%
(9) ごみ処理	13.1%	25.4%	44.3%	11.6%	2.8%	2.7%
(10) 通学路の安全性	5.0%	16.1%	47.0%	19.1%	6.8%	6.0%
○生活環境						
(11) 身近な緑の豊かさ	31.6%	36.4%	25.9%	2.2%	0.8%	3.0%
(12) 空気のきれいさ	29.1%	37.4%	27.3%	2.1%	1.0%	3.0%
(13) 公園・子どもの遊び場	4.7%	12.5%	41.4%	26.2%	9.7%	5.5%
(14) 地震・災害時の避難場所や避難経路	4.7%	14.2%	55.6%	15.3%	5.9%	4.3%
(15) 火災の消防体制	6.4%	15.1%	62.5%	8.7%	2.7%	4.6%
(16) 夜道の安全や防犯	3.5%	8.1%	39.2%	31.9%	13.5%	3.9%
(17) 河川・水路などの汚れ	3.5%	8.9%	53.1%	22.7%	7.7%	4.1%
(18) 買物の利便性	8.6%	20.7%	38.2%	19.2%	10.7%	2.6%
(19) 悪臭・騒音・振動	7.1%	16.6%	53.3%	15.2%	5.1%	2.6%
○教育・文化等						
(20) 小・中学校の施設	5.5%	15.5%	58.2%	7.0%	1.7%	12.0%
(21) 幼稚園・保育園	4.6%	10.4%	54.9%	14.1%	3.2%	12.8%
(22) 図書館や公民館などの施設	6.6%	15.7%	58.2%	9.5%	2.3%	7.6%
(23) 各地域の集会施設	5.4%	14.2%	61.6%	9.6%	2.2%	6.9%
(24) スポーツ・レクリエーション施設	3.4%	7.1%	53.3%	21.4%	6.7%	8.2%
(25) 文化、趣味、スポーツなどの活動	3.5%	9.1%	57.3%	17.6%	4.2%	8.4%
(26) 広報紙などの広報活動	5.8%	16.0%	64.1%	5.7%	1.5%	7.0%
○保健・医療・福祉						
(27) 住民検診などの保健活動	6.8%	17.8%	60.9%	7.5%	1.8%	5.1%
(28) 夜間・休日などの救急医療	3.2%	7.3%	52.6%	22.9%	6.7%	7.2%
(29) 病院・診療所などの医療機関	4.3%	11.1%	50.1%	23.0%	6.8%	4.7%
(30) 子育て支援サービス	2.9%	6.8%	59.9%	12.8%	4.9%	12.7%
(31) 高齢者への福祉サービス	3.6%	9.8%	60.8%	13.8%	4.1%	7.9%
(32) 障害者への福祉サービス	2.9%	7.6%	61.9%	12.4%	4.1%	11.1%
○その他						
(33) 雇用の機会	1.7%	2.8%	55.0%	20.1%	6.6%	13.8%
(34) 町が行うイベント	3.7%	9.3%	63.5%	11.6%	3.7%	8.3%
(35) 自治会活動	3.1%	9.6%	65.4%	9.9%	3.4%	8.5%
(36) ボランティア活動	2.8%	7.2%	69.6%	7.5%	2.8%	9.9%



生活環境の総合評価を聞いたところ、「満足」と「まあまあ満足」を合わせた「満足度合計」は、「身近な緑の豊かさ」が68.0%、「空気のきれいさ」が66.5%で他を大きく引き離しています。

分野別においては、都市基盤では、「水道のおいしさ、安全性」が43.0%、「ごみ処理」が38.5%、「道路の整備」が35.2%で、満足度が比較的高くなっています。

生活環境では、「身近な緑の豊かさ」、「空気のきれいさ」を除くと、「買物の利便性」が29.3%で、満足度が比較的高くなっています。

教育・文化等では、「図書館や公民館などの施設」が22.3%、「広報紙などの広報活動」が21.8%、「小・中学校の施設」が21.0%で、満足度が比較的高くなっています。

保健・医療・福祉では、「住民検診などの保健活動」が24.6%で満足度が最も高く、それ以外は2割を下回っています。

その他では、満足度が2割に達しているものはありませんでした。

一方、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満度合計」は、「バス交通の利便性」が56.3%で5割を超えて最も高くなっています。次いで「夜道の安全や防犯」も45.4%と4割を超えています。

分野別においては、都市基盤では、「バス交通の利便性」を除くと、「鉄道交通の利便性」が34.2%、「道路の安全性」が29.5%で、不満度が比較的高くなっています。

生活環境では、「夜道の安全や防犯」を除くと、「公園・子どもの遊び場」が35.9%、次いで「河川・水路などの汚れ」が30.4%で、不満度が高くなっています。

教育・文化等では、「スポーツ・レクリエーション施設」が28.1%、「文化、趣味、スポーツなどの活動」が21.8%となっており、不満度が比較的高くなっています。

保健・医療・福祉では、「病院・診療所などの医療機関」が29.8%、次いで「夜間・休日などの救急医療」が29.6%となっており、不満度が比較的高くなっています。

その他では、「雇用の機会」が26.7%の方が不満足と回答しています。

[加重平均値]

満足度を割合で見るとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数値化を試みました。

これは、下記の計算式にあるとおり、5段階の評価に点数化するものです。

$$\begin{array}{r} \text{「満足」の回答者数} \quad \times 5 \text{点} \\ + \text{「まあまあ満足」の回答者数} \quad \times 4 \text{点} \\ + \text{「普通」の回答者数} \quad \times 3 \text{点} \\ + \text{「やや不満」の回答者数} \quad \times 2 \text{点} \\ + \text{「不満」の回答者数} \quad \times 1 \text{点} \\ \hline \text{点数} = \frac{\quad}{\text{回答者数（無回答を除く）}} \end{array}$$

この算出方法では、点数は、5点から1点の間に分布し、中間点の3点を境に、5点に近くなるほど満足度は高くなり、1点に近くなるほど不満足度が高くなることとなります。

《属性別》

●年代別

年代別では、都市基盤の分野のうち、「道路の整備」では、すべて中間点（3点）を上回っており、75歳以上で3.38と満足度が高くなっています。

「道路の安全性」では、30～39歳から65～69歳で中間点を下回っており、特に40～49歳は2.63と低くなっています。

「バス交通の利便性」では、すべて中間点を下回っており、不満度が高くなっています。特に40～49歳、50～59歳が2点に達しておらず、特に低くなっています。

「鉄道交通の利便性」では、65～69歳と75歳以上で中間点を上回っていますが、その他では下回っており、特に18・19歳は2.40と低くなっています。

「水道のおいしさ、安全性」では、すべて中間点を上回っており、特に65歳以上の方の満足度が高くなっています。

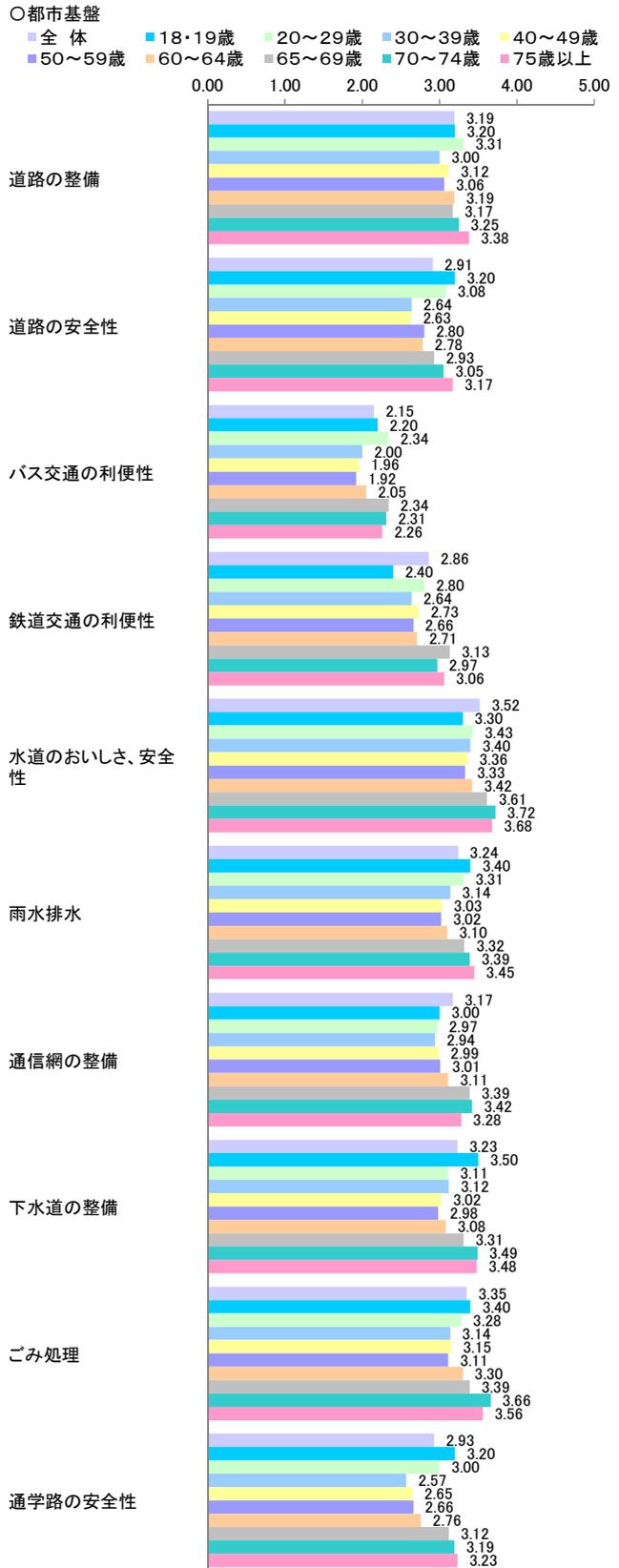
「雨水排水」においても、すべて中間点を上回っており、75歳以上で3.45と満足度が高くなっています。

「通信網の整備」では、20～29歳、30～39歳、40～49歳で中間点を下回っています。

「下水道の整備」では、50～59歳で中間点を下回っています。

「ごみ処理」では、すべて中間点を上回っており、特に70歳以上の方の満足度が高くなっています。

「通学路の安全性」では、30～39歳から60～64歳で中間点を下回っており、特に30～39歳は2.57と低くなっています。



生活環境の分野のうち、「身近な緑の豊かさ」では、すべての年代で4点前後と満足度が高く、特に40～49歳以下で4点以上となっています。

「空気のきれいさ」においても、すべての年代で4点前後と満足度が高く、特に20～29歳、30～39歳で4点を超えています。

「公園・子どもの遊び場」では、30～39歳から70～74歳で中間点を下回っており、特に30～39歳は2.46と低くなっています。

「地震・災害時の避難場所や避難経路」では、30～39歳、50～59歳、60～64歳、75歳以上で中間点を下回っています。

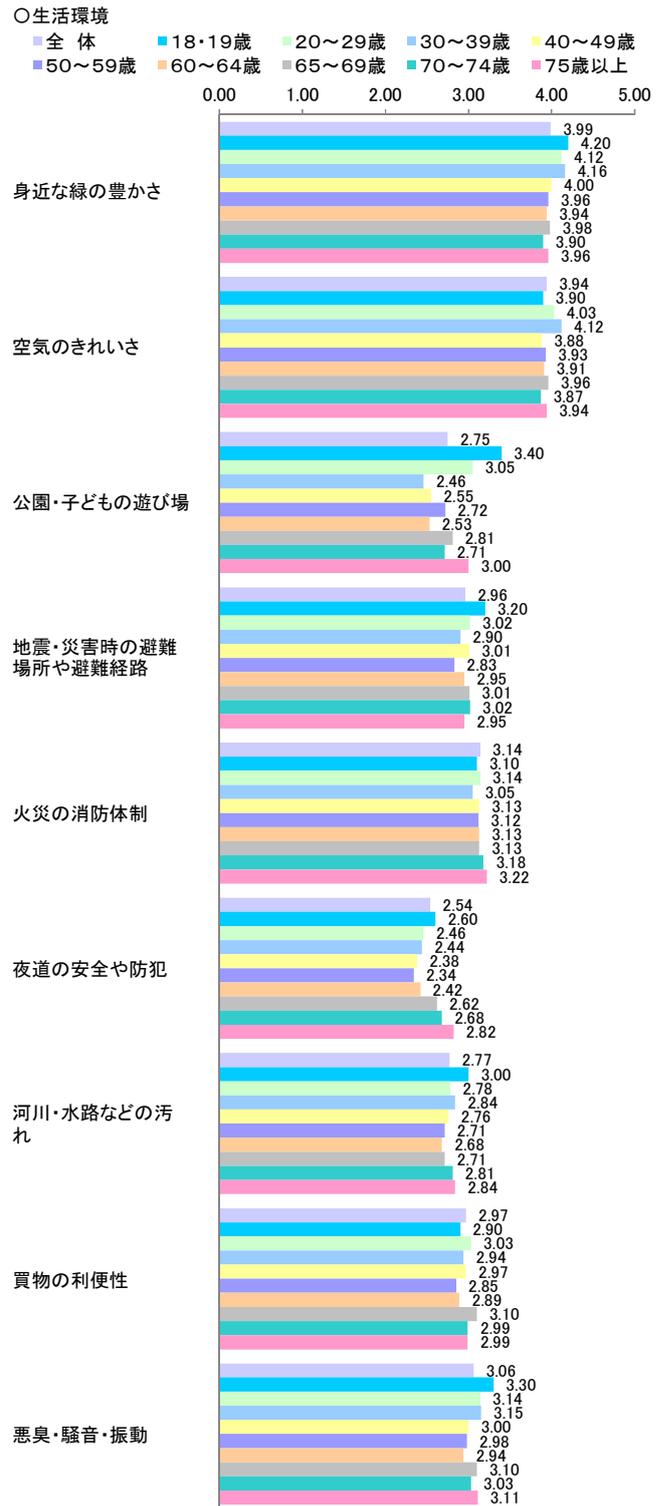
「火災の消防体制」では、すべて中間点を上回っていますが、30～39歳で3.05と低くなっています。

「夜道の安全や防犯」では、すべて中間点を下回っており、不満度が高くなっています。特に40～49歳が2.38、50～59歳が2.34と低くなっています。

「河川・水路などの汚れ」では、18・19歳で中間点となっていますが、その他では下回っており、特に60～64歳は2.68と低くなっています。

「買物の利便性」では、20～29歳、65～69歳で中間点を上回っていますが、その他では下回っています。

「悪臭・騒音・振動」では、50～59歳、60～64歳で中間点を下回っています。



生活環境の分野のうち、「小・中学校の施設」では、30～39歳で中間点を下回っていますが、その他では上回っています。

「幼稚園・保育園」では、65歳以上で中間点を上回っていますが、その他では下回っており、特に30～39歳で2.68と低くなっています。

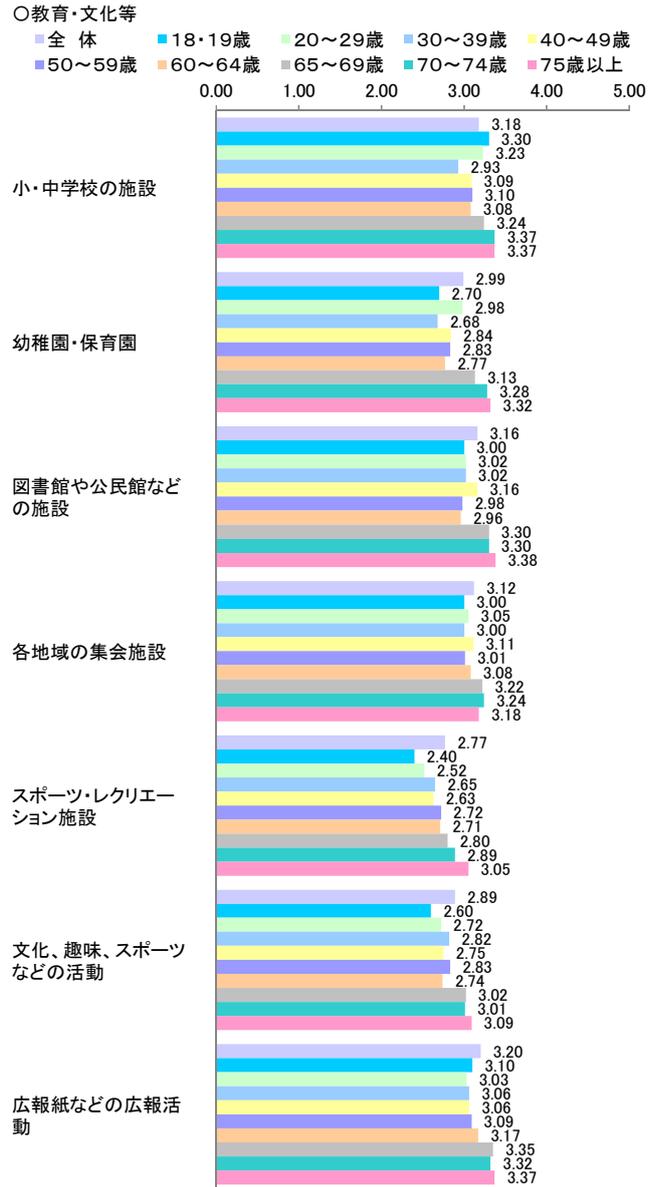
「図書館や公民館などの施設」では、50～59歳、60～64歳で中間点を下回っています。

「各地域の集会施設」では、すべて中間点以上となっていますが、18・19歳、30～39歳で3.00と低くなっています。

「スポーツ・レクリエーション施設」では、75歳以上で中間点を上回っていますが、その他では下回っており、特に18・19歳で2.40、20～29歳で2.52と低くなっています。

「文化、趣味、スポーツなどの活動」では、65歳以上で中間点を上回っていますが、その他では下回っています。

「広報紙などの広報活動」では、すべて中間点を上回っており、特に65歳以上の方の満足度が高くなっています。



保健・医療・福祉の分野のうち、「住民検診などの保健活動」では、18・19歳で中間点を下回っていますが、その他では上回っています。

「夜間・休日などの救急医療」では、75歳以上で中間点を上回っており、満足度が高くなっている以外は中間点を下回っており、不満度が高くなっています。特に40～49歳と50～59歳で2.52と低くなっています。

「病院・診療所などの医療機関」においても、75歳以上で中間点を上回っている以外は中間点を下回っており、特に60～64歳で2.57と低くなっています。

「子育て支援サービス」では、65～69歳と75歳以上で中間点を上回っていますが、その他では下回っており、特に40～49歳で2.58と低くなっています。

「高齢者への福祉サービス」では、20～29歳から65～69歳で中間点を下回っています。

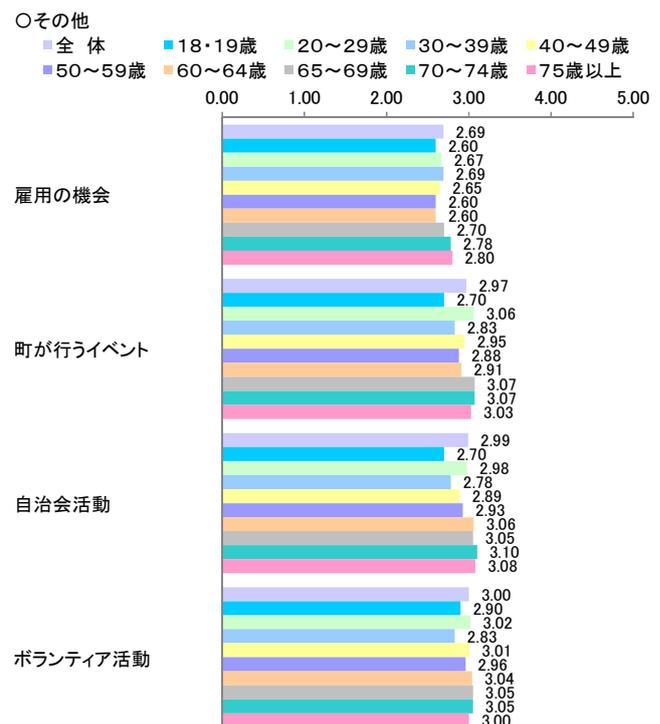
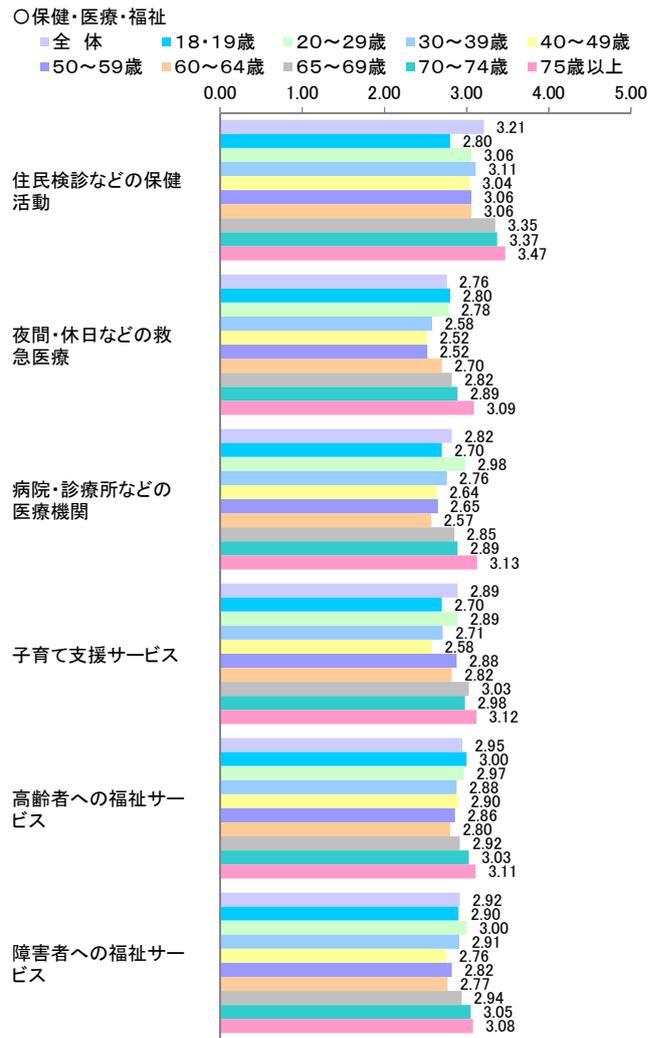
「障害者への福祉サービス」では、18・19歳および30～39歳から65～69歳で中間点を下回っています。

その他の分野のうち、「雇用の機会」では、すべて中間点を下回っており、不満度が高くなっています。特に18・19歳、50～59歳、60～64歳が2.60と低くなっています。

「町が行うイベント」では、18・19歳および30～39歳から60～64歳で中間点を下回っています。

「自治会活動」では、50～59歳以下で中間点を下回っており、特に18・19歳で2.70と低くなっています。

「ボランティア活動」では、18・19歳、30～39歳、50～59歳で中間点を下回っています。



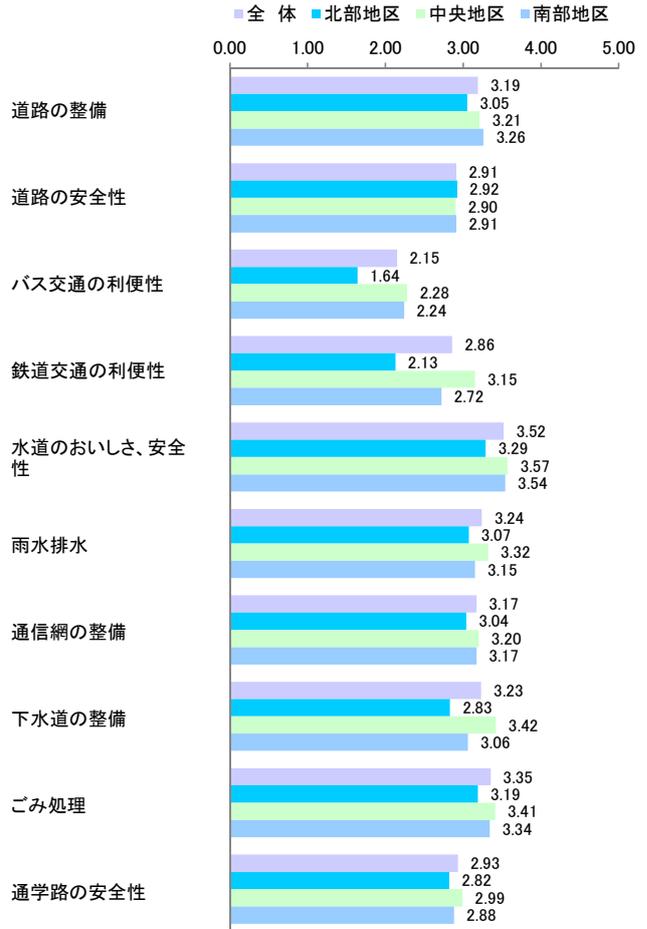
●地区別

地区別では、都市基盤の分野のうち、「道路の整備」では、すべて中間点（3点）を上回っています。「道路の安全性」では、すべて中間点を下回っています。「バス交通の利便性」では、すべて中間点を下回っており、特に北部地区で1.64と満足度が低くなっています。「鉄道交通の利便性」では、中央地区で3.15と中間点を上回っているものの、北部地区で2.13、南部地区で2.72と満足度が低くなっています。

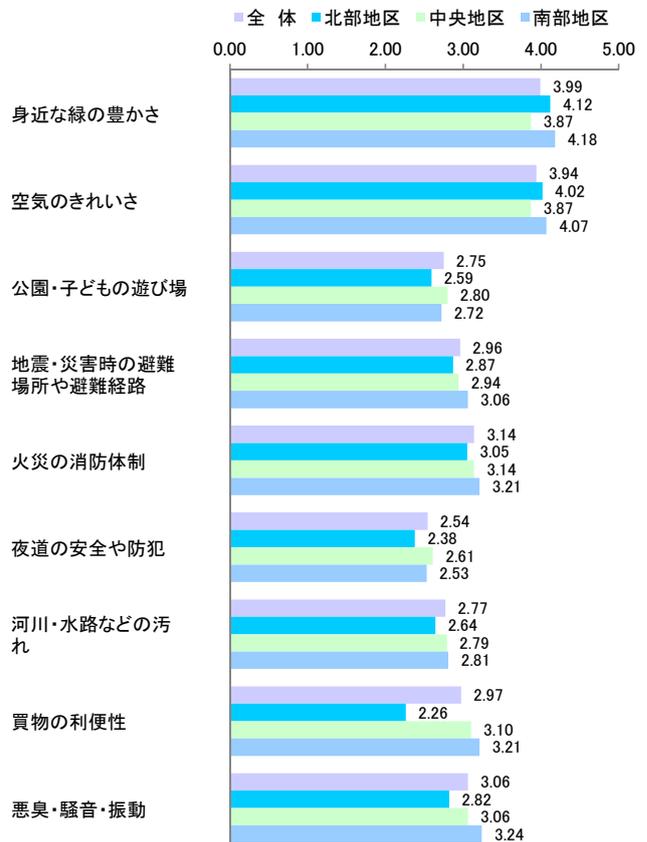
「水道のおいしさ、安全性」では、中央地区で3.57、南部地区で3.54と満足度が高くなっています。「雨水排水」では、中央地区で3.32と満足度が高くなっています。「通信網の整備」では、すべて中間点を上回っています。「下水道の整備」では、中央地区で3.42と満足度が高く、北部地区で2.83と低くなっています。「ごみ処理」では、すべて中間点を上回っており、中央地区で3.41と満足度が高くなっています。「通学路の安全性」では、すべて中間点を下回っています。

生活環境の分野のうち、「身近な緑の豊かさ」と「空気のきれいさ」では、すべて中間点を上回っており、特に北部地区と南部地区で4点以上と満足度が高くなっています。「公園・子どもの遊び場」では、すべて中間点を下回っており、特に北部地区で2.59と満足度が低くなっています。「地震・災害時の避難場所や避難経路」では、北部地区で2.87と満足度が低くなっています。「火災の消防体制」では、すべて中間点を上回っています。「夜道の安全や防犯」と「河川・水路などの汚れ」では、すべて中間点を下回っており、北部地区でやや満足度が低くなっています。「買物の利便性」では、北部地区で2.26と特に満足度が低く、「悪臭・騒音・振動」でも北部地区のみ中間点を下回っています。

○都市基盤

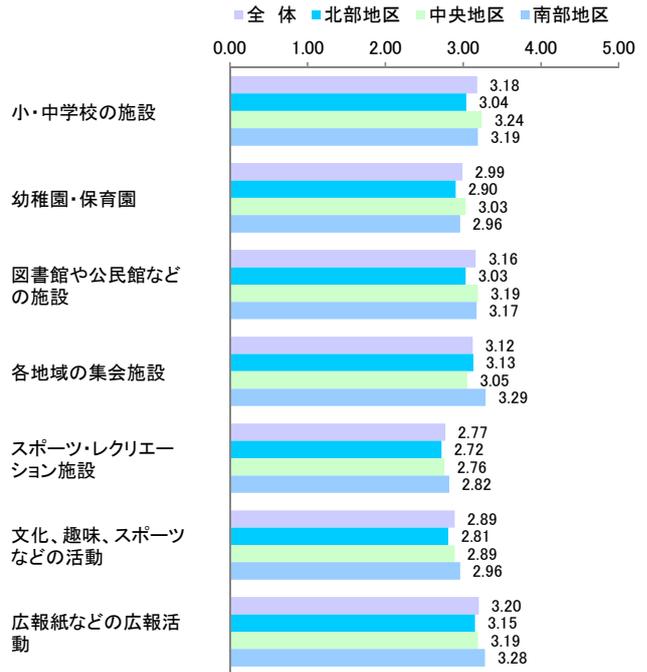


○生活環境



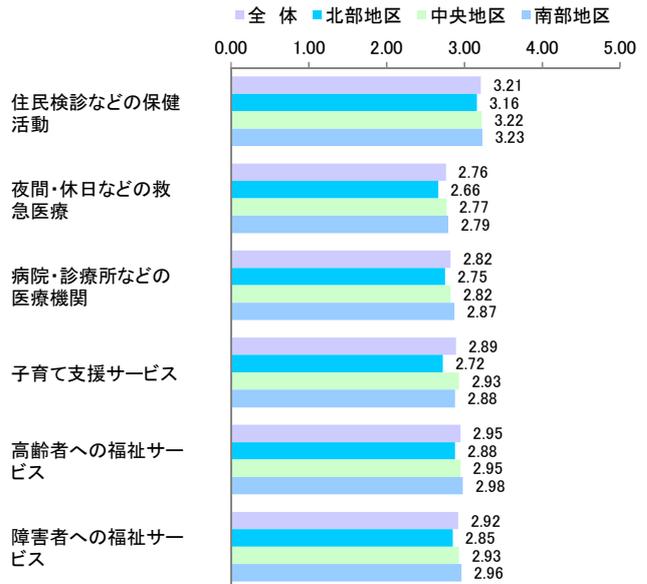
教育・文化等の分野のうち、「小・中学校の施設」では、すべて中間点を上回っています。「幼稚園・保育園」では、中央地区のみ3.03で中間点を上回っています。「図書館や公民館などの施設」と「各地域の集会施設」では、すべて中間点を上回っています。「スポーツ・レクリエーション施設」と「文化、趣味、スポーツなどの活動」では、すべて中間点を下回っています。「広報紙などの広報活動」では、すべて中間点を上回っており、南部地区が3.28と満足度が高くなっています。

○教育・文化等



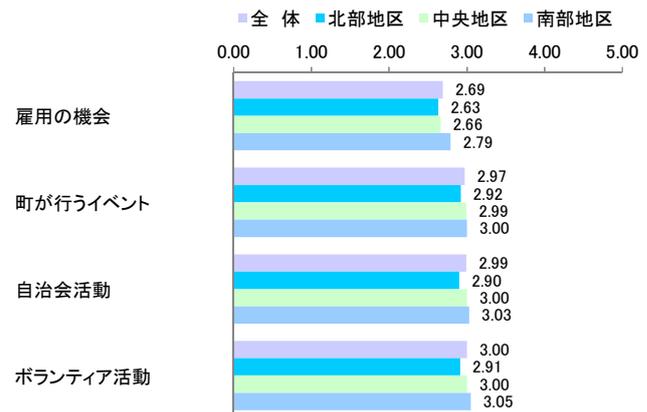
保健・医療・福祉の分野のうち、「住民検診などの保健活動」では、すべて中間点を上回っています。「夜間・休日などの救急医療」、「病院・診療所などの医療機関」、「子育て支援サービス」、「高齢者への福祉サービス」、「障害者への福祉サービス」では、すべて中間点を下回っており、いずれも北部地区で最も満足度が低くなっています。

○保健・医療・福祉



その他の分野のうち、「雇用の機会」では、すべて中間点を下回っています。「町が行うイベント」では、北部地区と中央地区で中間点を下回っています。「自治会活動」と「ボランティア活動」では、北部地区のみ中間点を下回っています。

○その他



(2) 職業観について

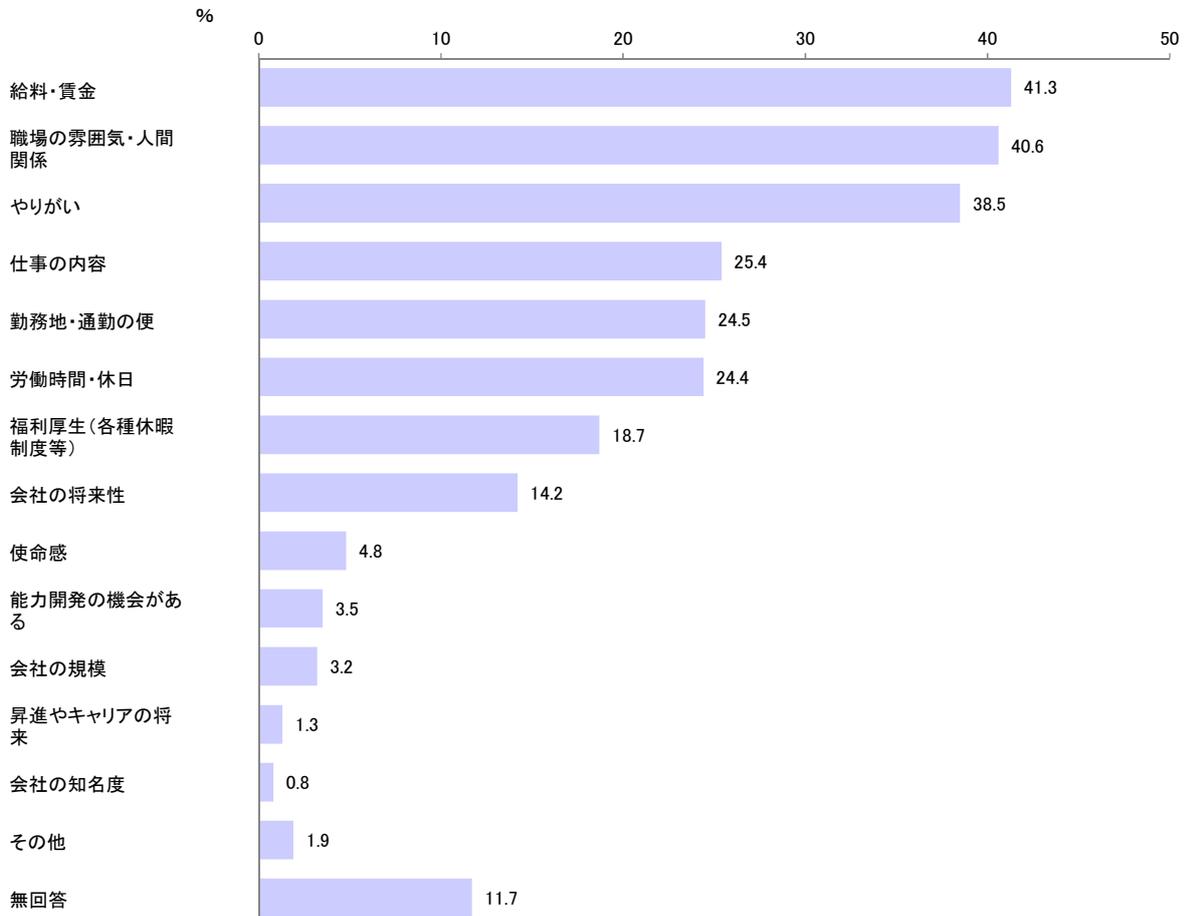
【1】働くうえで大切なこと

問 13 あなたが働くうえで大切だと思うことは次のうちどれですか。(〇は3つ)

n = 955

	回答数	構成比		回答数	構成比
(1) 給料・賃金	394	41.3%	(8) 会社の将来性	136	14.2%
(2) 職場の雰囲気・人間関係	388	40.6%	(9) 使命感	46	4.8%
(3) やりがい	368	38.5%	(10) 能力開発の機会がある	33	3.5%
(4) 仕事の内容	243	25.4%	(11) 会社の規模	31	3.2%
(5) 勤務地・通勤の便	234	24.5%	(12) 昇進やキャリアの将来	12	1.3%
(6) 労働時間・休日	233	24.4%	(13) 会社の知名度	8	0.8%
(7) 福利厚生(各種休暇制度等)	179	18.7%	(14) その他	18	1.9%
			無回答	112	11.7%
			計	2,435	100.0%

N = 955



《属性別》

●性・年代別／地区別

																	(%)
	n	給料・賃金	職場の雰囲気・人間関係	やりがい	仕事の内容	勤務地・通勤の便	労働時間・休日	福利厚生（各種休暇制度等）	会社の将来性	使命感	能力開発の機会がある	会社の規模	将来の昇進やキャリアの	会社の知名度	その他	無回答	
全体	955	41.3	40.6	38.5	25.4	24.5	24.4	18.7	14.2	4.8	3.5	3.2	1.3	0.8	1.9	11.7	
男性	459	44.4	35.9	42.9	25.9	23.3	22.2	17.0	19.2	6.8	5.9	5.0	2.0	0.9	1.3	8.3	
女性	483	39.1	45.5	34.6	24.8	25.9	26.9	20.5	9.7	3.1	1.2	1.2	0.6	0.8	2.5	14.3	
男性 18・19歳	7	28.6	14.3	42.9	28.6	28.6	57.1	-	42.9	-	-	28.6	-	14.3	-	-	
20～29歳	29	58.6	41.4	31.0	20.7	20.7	41.4	27.6	17.2	3.4	-	6.9	-	-	3.4	-	
30～39歳	44	72.7	36.4	47.7	25.0	9.1	38.6	22.7	11.4	4.5	6.8	-	4.5	-	-	-	
40～49歳	58	48.3	48.3	48.3	20.7	27.6	32.8	12.1	13.8	13.8	3.4	6.9	3.4	3.4	1.7	-	
50～59歳	63	47.6	46.0	52.4	25.4	22.2	22.2	22.2	19.0	4.8	9.5	1.6	1.6	1.6	1.6	-	
60～64歳	51	45.1	41.2	45.1	47.1	29.4	11.8	17.6	13.7	11.8	2.0	3.9	2.0	-	-	-	
65～69歳	76	34.2	39.5	48.7	27.6	32.9	17.1	17.1	17.1	3.9	7.9	6.6	2.6	-	1.3	6.6	
70～74歳	58	39.7	20.7	41.4	24.1	19.0	20.7	19.0	27.6	6.9	5.2	6.9	1.7	-	-	17.2	
75歳以上	72	31.9	20.8	26.4	18.1	19.4	5.6	8.3	25.0	5.6	8.3	4.2	-	-	2.8	31.9	
女性 18・19歳	3	100.0	-	66.7	-	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
20～29歳	36	52.8	69.4	38.9	22.2	19.4	30.6	33.3	13.9	5.6	-	-	2.8	2.8	-	-	
30～39歳	42	61.9	64.3	38.1	23.8	28.6	42.9	31.0	-	2.4	-	-	-	-	-	-	
40～49歳	48	52.1	56.3	35.4	31.3	33.3	50.0	20.8	6.3	6.3	-	-	4.2	-	-	-	
50～59歳	60	60.0	60.0	38.3	18.3	40.0	35.0	26.7	8.3	-	3.3	3.3	-	1.7	-	-	
60～64歳	61	45.9	52.5	34.4	27.9	34.4	24.6	23.0	9.8	1.6	-	-	-	1.6	1.6	8.2	
65～69歳	68	33.8	48.5	32.4	36.8	35.3	26.5	7.4	8.8	4.4	2.9	2.9	-	-	2.9	8.8	
70～74歳	61	23.0	29.5	32.8	31.1	14.8	16.4	14.8	18.0	3.3	-	1.6	-	-	-	26.2	
75歳以上	103	14.6	21.4	31.1	14.6	10.7	10.7	18.4	10.7	2.9	1.9	1.0	-	1.0	8.7	39.8	
北部地区	163	36.2	33.7	39.9	25.2	20.2	19.6	22.1	15.3	5.5	1.2	3.7	0.6	0.6	1.8	16.6	
中央地区	540	41.5	43.0	38.5	25.6	25.2	26.3	18.0	14.6	5.2	4.3	3.1	1.5	0.6	1.5	11.9	
南部地区	231	43.3	41.6	39.8	24.7	24.2	23.8	16.9	13.0	3.9	3.0	3.0	1.3	1.7	3.0	7.8	

働くうえで大切なことを3つまで聞いたところ、「給料・賃金」が41.3%で最も高くなっています。次いで「職場の雰囲気・人間関係」が40.6%、「やりがい」が38.5%となっています。

性別では、「給料・賃金」が男性で44.4%と、女性の39.1%よりも若干多くなっています。また、「やりがい」と「会社の将来性」でも、男性の割合が女性よりも多くなっています。一方、「職場の雰囲気・人間関係」は、女性で45.5%と、男性の35.9%よりも多くなっています。

年代別では、「給料・賃金」は30～39歳の男性が72.7%と最も高く、次いで30～39歳の女性が61.9%、50～59歳の女性が60.0%となっています。「職場の雰囲気・人間関係」は20～29歳の女性が69.4%と最も高く、次いで30～39歳の女性が64.3%となっています。「やりがい」は50～59歳の男性が52.4%と最も高くなっています。

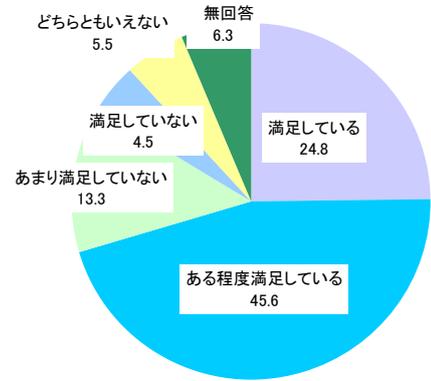
地区別では、中央地区と南部地区で「給料・賃金」と「職場の雰囲気・人間関係」が4割を超えており、北部地区よりも高くなっています。

【2】 仕事の満足度

問 14～14-2 は、現在、働いている方にうかがいます。

問 14 あなたは、現在の仕事に満足していますか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 満足している	99	24.8%
(2) ある程度満足している	182	45.6%
(3) あまり満足していない	53	13.3%
(4) 満足していない	18	4.5%
(5) どちらともいえない	22	5.5%
無回答	25	6.3%
計	399	100.0%

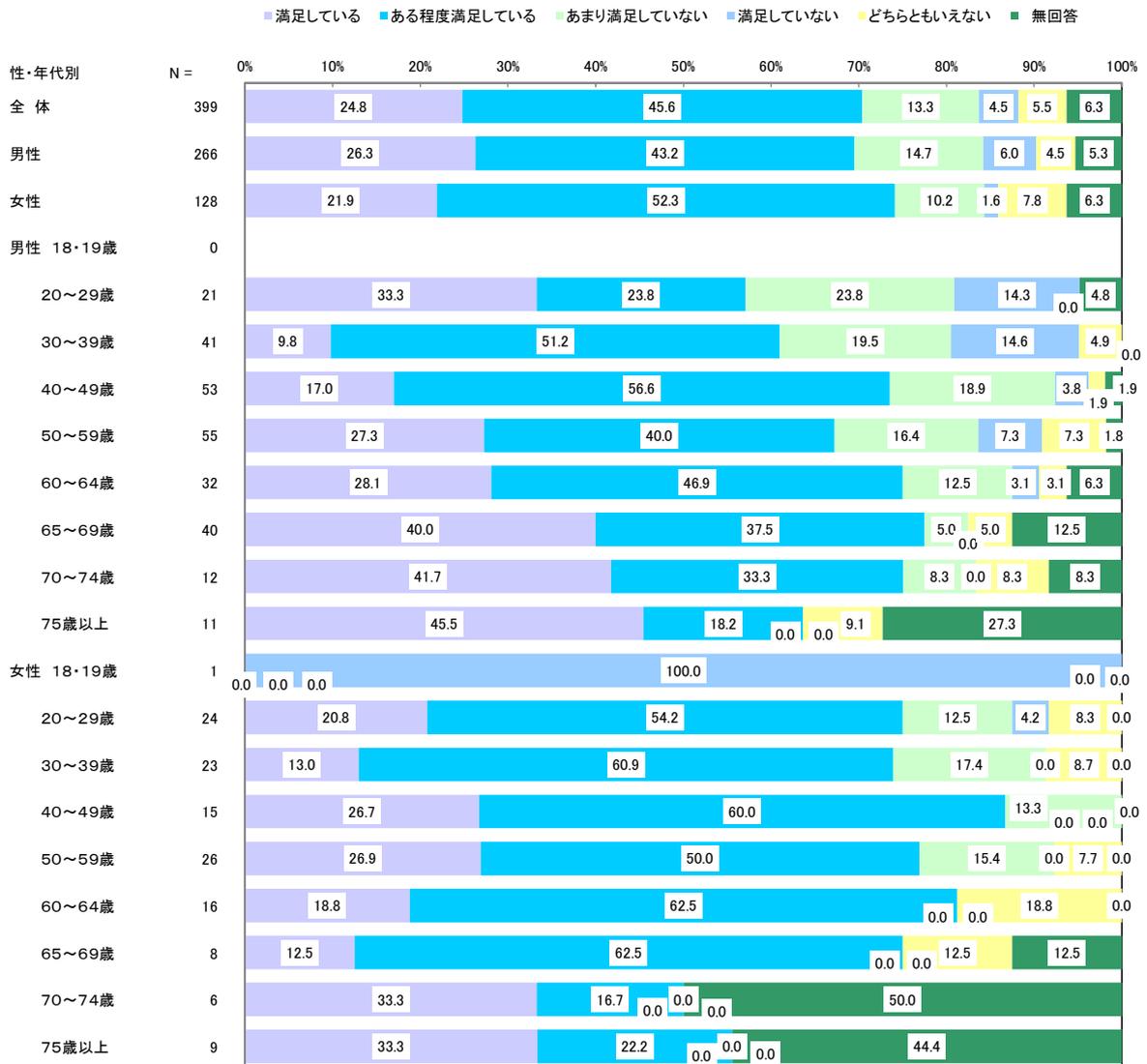


N = 399

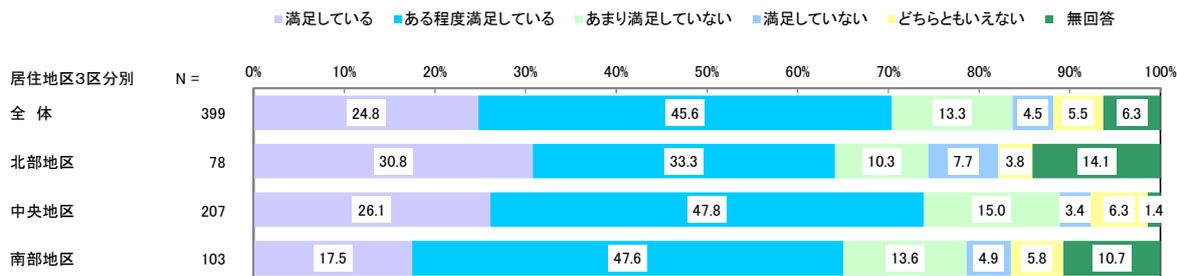
%

《属性別》

● 性・年代別



●地区別



現在働いている方に、仕事の満足度について聞いたところ、「満足している」と答えた人が24.8%、「ある程度満足している」と答えた人が45.6%で、これらを合わせると70.4%です。7割の人が仕事に満足していると回答しています。

性別では、「満足している」と「ある程度満足している」の合計（「満足度」）は女性で74.2%、男性で69.5%となっており、若干女性が上回っています。

性・年代別では、40～49歳の女性で「満足度」が86.7%と一番多くなっており、次いで60～64歳の女性が81.3%、65～69歳の男性が77.5%と続いています。

地区別では、中央地区が「満足度」が73.9%と最も高く、次いで南部地区が65.1%、北部地区が64.1%となっています。

「満足していない」と「あまり満足していない」の合計（「不満足度」）は17.8%となっており、性別では男性で20.7%、女性で11.8%となっており、若干男性が上回っています。

性・年代別では、20～29歳の男性で「不満足度」が38.1%、次いで30～39歳の男性で34.1%となっています。

地区別では、「不満足度」の地区ごとの差はみられませんでした。

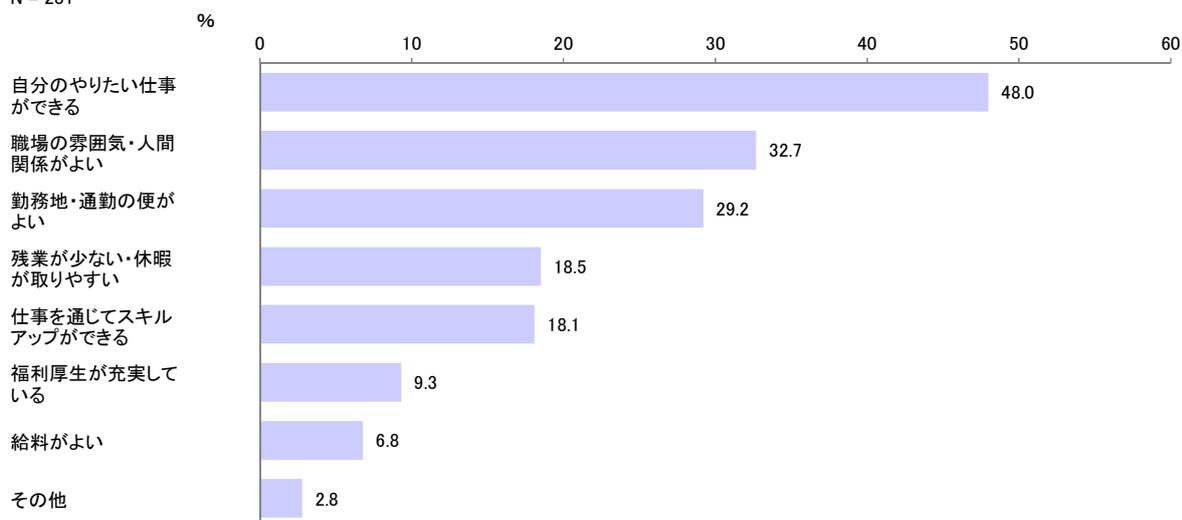
【3】 仕事の満足理由

問 14-1 満足している理由をご回答ください。(○は2つまで)

n = 281

	回答数	構成比
(1) 自分のやりたい仕事ができる	135	48.0%
(2) 職場の雰囲気・人間関係がよい	92	32.7%
(3) 勤務地・通勤の便がよい	82	29.2%
(4) 残業が少ない・休暇が取りやすい	52	18.5%
(5) 仕事を通じてスキルアップができる	51	18.1%
(6) 福利厚生が充実している	26	9.3%
(7) 給料がよい	19	6.8%
(8) その他	8	2.8%
計	465	100.0%

N = 281



《属性別》

●性・年代別／地区別

	n	自分のやりたい仕事ができる	職場の雰囲気・人間関係がよい	勤務地・通勤の便がよい	残業が取りやすい・休暇が取やすい	スキルアップができてできる	福利厚生が充実している	給料がよい	その他
全体	281	48.0	32.7	29.2	18.5	18.1	9.3	6.8	2.8
男性	185	50.3	29.2	24.9	18.9	20.5	10.8	8.6	3.8
女性	95	43.2	40.0	37.9	17.9	13.7	6.3	3.2	1.1
男性 18・19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	12	33.3	66.7	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	-
30～39歳	25	24.0	20.0	36.0	44.0	28.0	12.0	8.0	8.0
40～49歳	39	53.8	41.0	33.3	5.1	15.4	15.4	7.7	7.7
50～59歳	37	48.6	24.3	18.9	24.3	21.6	18.9	16.2	-
60～64歳	24	54.2	33.3	25.0	16.7	20.8	4.2	4.2	-
65～69歳	31	64.5	12.9	19.4	12.9	22.6	6.5	6.5	-
70～74歳	9	55.6	33.3	22.2	11.1	22.2	-	-	11.1
75歳以上	7	85.7	-	14.3	-	14.3	-	-	14.3
女性 18・19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	18	44.4	66.7	16.7	-	16.7	16.7	5.6	-
30～39歳	17	35.3	52.9	47.1	17.6	11.8	5.9	-	-
40～49歳	13	38.5	30.8	46.2	38.5	7.7	7.7	7.7	-
50～59歳	20	40.0	30.0	60.0	25.0	15.0	5.0	5.0	-
60～64歳	13	30.8	38.5	46.2	23.1	23.1	-	-	7.7
65～69歳	6	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-
70～74歳	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
75歳以上	5	100.0	-	-	-	20.0	-	-	-
北部地区	50	52.0	34.0	30.0	16.0	18.0	4.0	-	4.0
中央地区	153	45.8	32.7	32.0	19.6	16.3	12.4	9.2	2.0
南部地区	67	50.7	34.3	20.9	14.9	22.4	7.5	6.0	4.5

問 14 で仕事に満足していると回答した人に理由を2つまで聞いたところ、「自分のやりたい仕事ができる」が48.0%で最も高くなっています。次いで「職場の雰囲気・人間関係がよい」が32.7%、「勤務地・通勤の便がよい」が29.2%となっています。

性別では、「自分のやりたい仕事ができる」が男性で50.3%と、女性の43.2%よりも多くなっています。また、「仕事を通じてスキルアップができる」でも、男性の割合が女性よりも多くなっています。一方、「職場の雰囲気・人間関係がよい」は、女性で40.0%と、男性の29.2%よりも多くなっています。また、「勤務地・通勤の便がよい」でも、女性の割合が男性よりも多くなっています。

年代別では、「自分のやりたい仕事ができる」は65～69歳の男性が64.5%と最も高く、次いで40～49歳の男性が53.8%となっています。「職場の雰囲気・人間関係がよい」は20～29歳の男女ともに66.7%と高くなっています。「勤務地・通勤の便がよい」は30～39歳の女性が47.1%と最も高く、40～49歳と60～64歳の女性でも46.2%となっています。

地区別では、北部地区と南部地区で「自分のやりたい仕事ができる」が5割を超えており、中央地区より若干高くなっています。

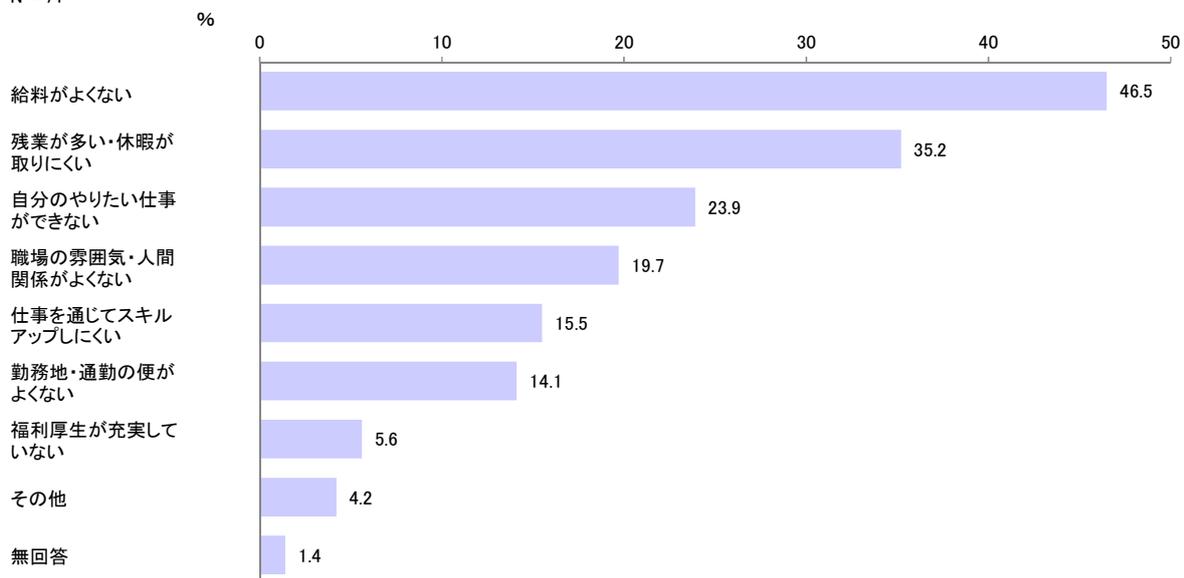
【4】 仕事の不満足理由

問 14-2 満足していない理由をご回答ください。(○は2つまで)

n = 71

	回答数	構成比
(1) 給料がよくない	33	46.5%
(2) 残業が多い・休暇が取りにくい	25	35.2%
(3) 自分のやりたい仕事ができない	17	23.9%
(4) 職場の雰囲気・人間関係がよくない	14	19.7%
(5) 仕事を通じてスキルアップしにくい	11	15.5%
(6) 勤務地・通勤の便がよくない	10	14.1%
(7) 福利厚生が充実していない	4	5.6%
(8) その他	3	4.2%
無回答	1	1.4%
計	118	100.0%

N = 71



《属性別》

●年代別／地区別

		(%)								
	n	給料が よくない	が 残業 が多い ・ 休暇 が 取り にくい	事 自 分 の や り た い 仕 事 が で き な い	間 職 場 の 雰 囲 気 ・ 人 間 関 係 が よ く な い	ル 仕 事 を 通 じ て く ス キ ア ッ プ し て く ス キ	が 勤 務 地 ・ 通 勤 の 便 が よ く な い	て 福 利 厚 生 が 充 実 し て い な い	そ の 他	無 回 答
全 体	71	46.5	35.2	23.9	19.7	15.5	14.1	5.6	4.2	1.4
男性	55	41.8	38.2	25.5	18.2	18.2	12.7	7.3	3.6	1.8
女性	15	66.7	26.7	13.3	20.0	6.7	20.0	-	6.7	-
18・19歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	12	58.3	50.0	8.3	8.3	25.0	25.0	8.3	-	-
30～39歳	18	44.4	44.4	11.1	33.3	16.7	5.6	5.6	5.6	-
40～49歳	14	35.7	50.0	21.4	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	-
50～59歳	18	44.4	22.2	33.3	11.1	22.2	27.8	5.6	-	-
60～64歳	5	60.0	-	80.0	20.0	-	-	-	20.0	-
65～69歳	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-
70～74歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北部地区	14	42.9	35.7	35.7	28.6	28.6	-	-	-	-
中央地区	38	44.7	26.3	23.7	18.4	15.8	10.5	10.5	7.9	2.6
南部地区	19	52.6	52.6	15.8	15.8	5.3	31.6	-	-	-

問 14 で仕事に満足していないと回答した人に理由を2つまで聞いたところ、「給料がよくない」が46.5%で最も高くなっています。次いで「残業が多い・休暇が取りにくい」が35.2%、「自分のやりたい仕事ができない」が23.9%となっています。

性別では、「給料がよくない」が女性で66.7%と、男性の41.8%よりも多くなっています。また、「勤務地・通勤の便がよくない」でも、女性の割合が男性よりも多くなっています。一方、「残業が多い・休暇が取りにくい」は、男性で38.2%と、女性の26.7%よりも多くなっています。また、「自分のやりたい仕事ができない」でも、男性の割合が女性よりも多くなっています。

年代別では、「給料がよくない」は20～29歳が58.3%と最も高くなっています。「残業が多い・休暇が取りにくい」は20～29歳と40～49歳で高く、ともに50.0%となっています。

地区別では、南部地区で「給料がよくない」と「残業が多い・休暇が取りにくい」がともに5割を超えており、他の地区よりも高くなっています。

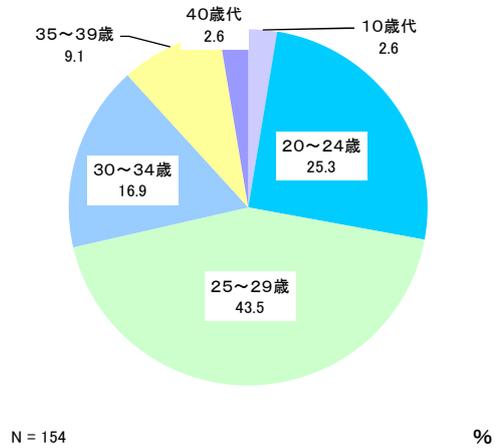
(3) 結婚観について (49歳以下の既婚者)

【1】初めて結婚した時の年齢

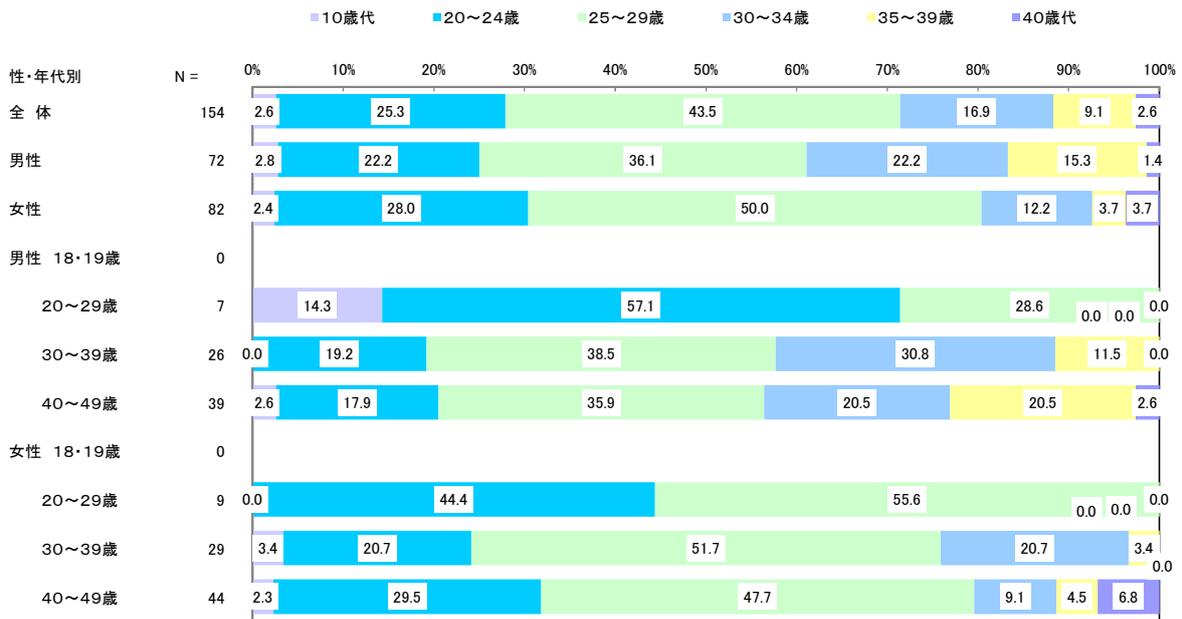
問 15～24 は、現在、49歳以下の方で結婚している方にうかがいます。

問 15 初めて結婚した時の年齢をご記入ください。

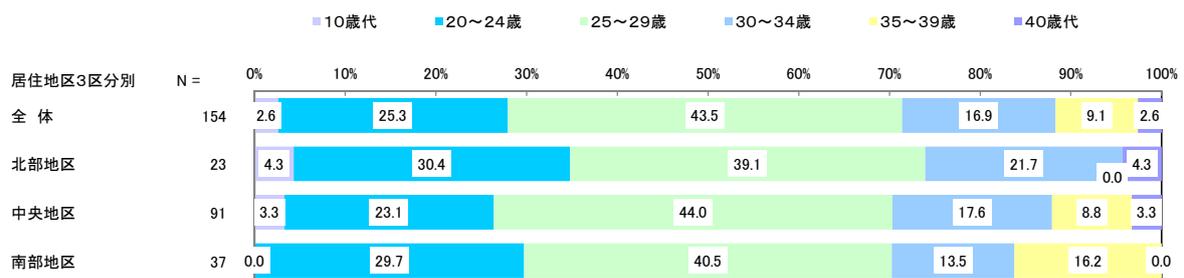
	回答数	構成比
(1) 10歳代	4	2.6%
(2) 20～24歳	39	25.3%
(3) 25～29歳	67	43.5%
(4) 30～34歳	26	16.9%
(5) 35～39歳	14	9.1%
(6) 40歳代	4	2.6%
計	154	100.0%



●性・年代別



●地区別



49歳以下で既婚者の方に、初めて結婚した時の年齢を聞いたところ、「25～29歳」と答えた人が43.5%、「20～24歳」と答えた人が25.3%で、これらを合わせると68.8%となっています。7割近い方が20歳代で初めて結婚しているという結果になっています。

性別では、女性の「20～24歳」、「25～29歳」の合計（「20歳代」）は78.0%、男性は58.3%で、女性が多くなっています。

性・年代別では、40～49歳の女性で「20歳代」が77.2%と高く、30～39歳の女性が72.4%となっています。

地区別では、南部地区の「20歳代」が70.2%と最も高く、北部地区が69.5%、中央地区が67.1%となっています。

一方、「30～34歳」、「35～39歳」の合計（「30歳代」）と回答した人は26.0%となっており、男性は37.5%、女性は15.9%で、男性が多くなっています。

性・年代別では、「30歳代」は30～39歳の男性で42.3%、40～49歳の男性で41.0%と高くなっています。

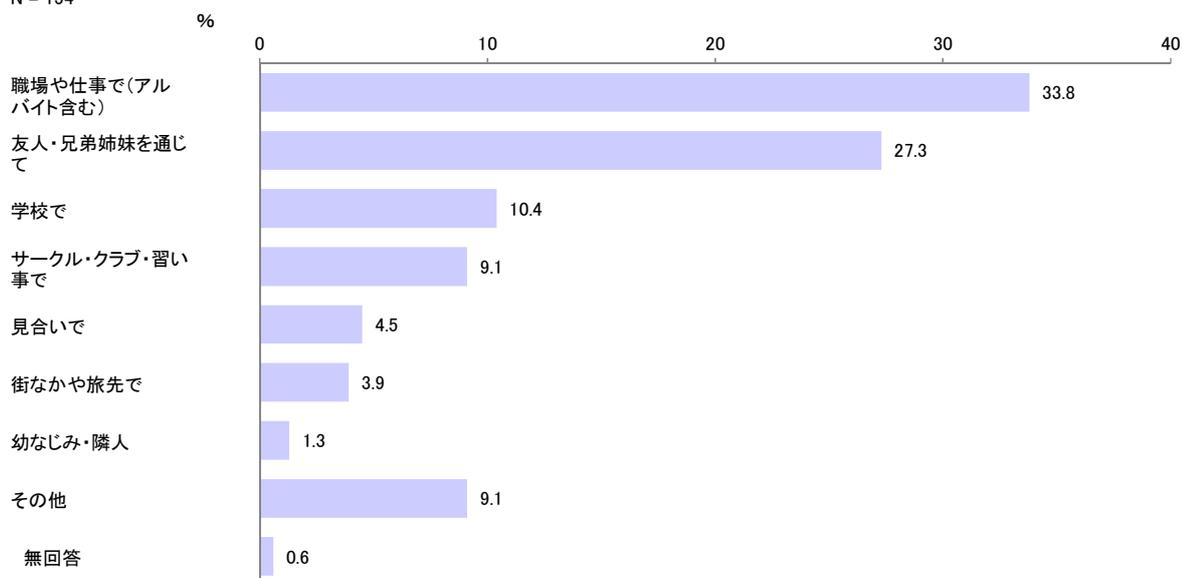
地区別では、南部地区で「30歳代」が29.7%と最も高くなっています。

【2】 知り合ったきっかけ

問 16 現在の結婚について知り合ったきっかけをご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 職場や仕事で(アルバイト含む)	52	33.8%
(2) 友人・兄弟姉妹を通じて	42	27.3%
(3) 学校で	16	10.4%
(4) サークル・クラブ・習い事で	14	9.1%
(5) 見合いで	7	4.5%
(6) 街なかや旅先で	6	3.9%
(7) 幼なじみ・隣人	2	1.3%
(8) その他	14	9.1%
無回答	1	0.6%
計	154	100.0%

N = 154



《属性別》

●年代別／地区別

		(%)								
	n	職場や仕事で (アルバイト含む)	友人・兄弟姉妹を 通じて	学校で	サークル・クラブ ・習い事で	見合いで	街なかや旅先で	幼なじみ・隣人	その他	無回答
全体	154	33.8	27.3	10.4	9.1	4.5	3.9	1.3	9.1	0.6
男性	72	31.9	27.8	13.9	6.9	4.2	6.9	1.4	5.6	1.4
女性	82	35.4	26.8	7.3	11.0	4.9	1.2	1.2	12.2	-
18・19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	16	18.8	25.0	31.3	-	-	6.3	-	18.8	-
30～39歳	55	36.4	25.5	10.9	7.3	1.8	5.5	1.8	9.1	1.8
40～49歳	83	34.9	28.9	6.0	12.0	7.2	2.4	1.2	7.2	-
北部地区	23	30.4	47.8	13.0	4.3	-	-	-	4.3	-
中央地区	91	36.3	26.4	6.6	9.9	7.7	3.3	1.1	7.7	1.1
南部地区	37	32.4	16.2	16.2	10.8	-	5.4	2.7	16.2	-

現在の結婚について、知り合ったきっかけを聞いたところ、「職場や仕事で(アルバイト含む)」が33.8%で最も高くなっています。次いで「友人・兄弟姉妹を通じて」が27.3%、「学校で」が10.4%となっています。

性別では、「職場や仕事で(アルバイト含む)」が女性で35.4%と、男性の31.9%よりも若干多くなっています。また、「サークル・クラブ・習い事で」でも、女性の割合が男性よりも若干多くなっています。一方、「学校で」は、男性で13.9%と、女性の7.3%よりも多くなっています。

年代別では、「職場や仕事で(アルバイト含む)」は30～39歳が36.4%と最も高くなっています。「学校で」は20～29歳が31.3%と高くなっています。

地区別では、中央地区で「職場や仕事で(アルバイト含む)」が36.3%と最も高くなっています。北部地区で「友人・兄弟姉妹を通じて」が47.8%と、他地区より高くなっています。

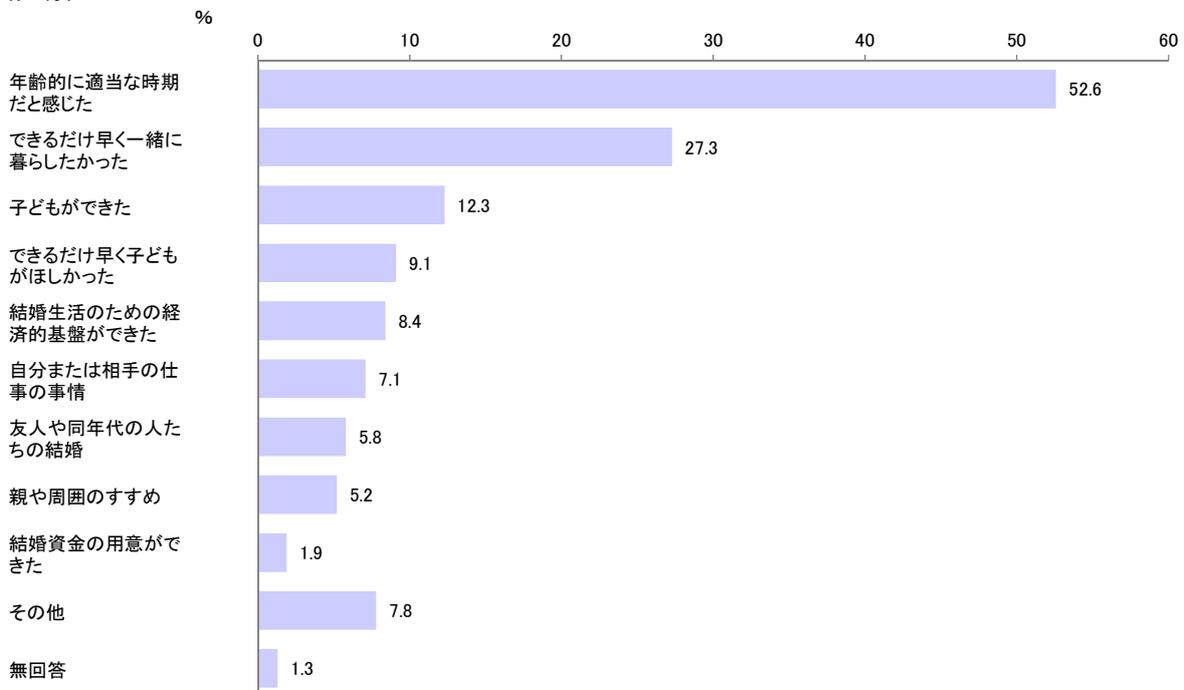
【3】 結婚を決めた理由

問 17 現在の結婚を決めたきっかけをご回答ください。(〇は2つまで)

n = 154

	回答数	構成比
(1) 年齢的に適当な時期だと感じた	81	52.6%
(2) できるだけ早く一緒に暮らしたかった	42	27.3%
(3) 子どもができた	19	12.3%
(4) できるだけ早く子どもがほしかった	14	9.1%
(5) 結婚生活のための経済的基盤ができた	13	8.4%
(6) 自分または相手の仕事の事情	11	7.1%
(7) 友人や同年代の人たちの結婚	9	5.8%
(8) 親や周囲のすすめ	8	5.2%
(9) 結婚資金の用意ができた	3	1.9%
(10) その他	12	7.8%
無回答	2	1.3%
計	214	100.0%

N = 154



《属性別》

●年代別／地区別

		(%)											
	n	年 期 だ と 感 じ た	年 齢 的 に 適 当 な 時 期 だ と 感 じ た	と 感 じ た									
全 体	154	52.6	27.3	12.3	9.1	8.4	7.1	5.8	5.2	1.9	7.8	1.3	
男性	72	47.2	30.6	11.1	9.7	9.7	5.6	6.9	5.6	4.2	8.3	1.4	
女性	82	57.3	24.4	13.4	8.5	7.3	8.5	4.9	4.9	-	7.3	1.2	
18・19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20～29歳	16	25.0	50.0	18.8	18.8	-	6.3	6.3	6.3	-	18.8	-	
30～39歳	55	56.4	32.7	10.9	7.3	14.5	1.8	1.8	3.6	1.8	7.3	1.8	
40～49歳	83	55.4	19.3	12.0	8.4	6.0	10.8	8.4	6.0	2.4	6.0	1.2	
北部地区	23	60.9	26.1	8.7	13.0	8.7	4.3	4.3	-	-	4.3	-	
中央地区	91	54.9	24.2	15.4	7.7	7.7	6.6	8.8	5.5	1.1	8.8	2.2	
南部地区	37	43.2	37.8	8.1	10.8	8.1	8.1	-	8.1	5.4	8.1	-	

現在の結婚を決めた理由を聞いたところ、「年齢的に適切な時期だと感じた」が52.6%で最も高くなっています。次いで「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が27.3%、「子どもができた」が12.3%となっています。

性別では、「年齢的に適切な時期だと感じた」が女性で57.3%と、男性の47.2%よりも多くなっています。一方、「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」は、男性で30.6%と、女性の24.4%よりも若干多くなっています。

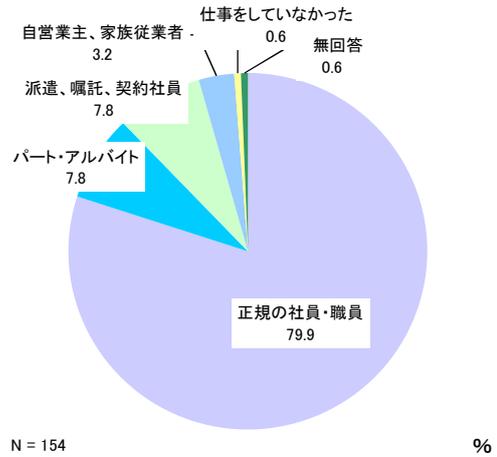
年代別では、「年齢的に適切な時期だと感じた」は30～39歳が56.4%と最も高く、次いで40～49歳で55.4%となっています。「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」は20～29歳が50.0%と高くなっています。

地区別では、北部地区で「年齢的に適切な時期だと感じた」が60.9%と最も高く、次いで中央地区で54.9%となっています。南部地区で「できるだけ早く一緒に暮らしたかった」が37.8%と、他地区より高くなっています。

【4】 結婚するまでの就労状況

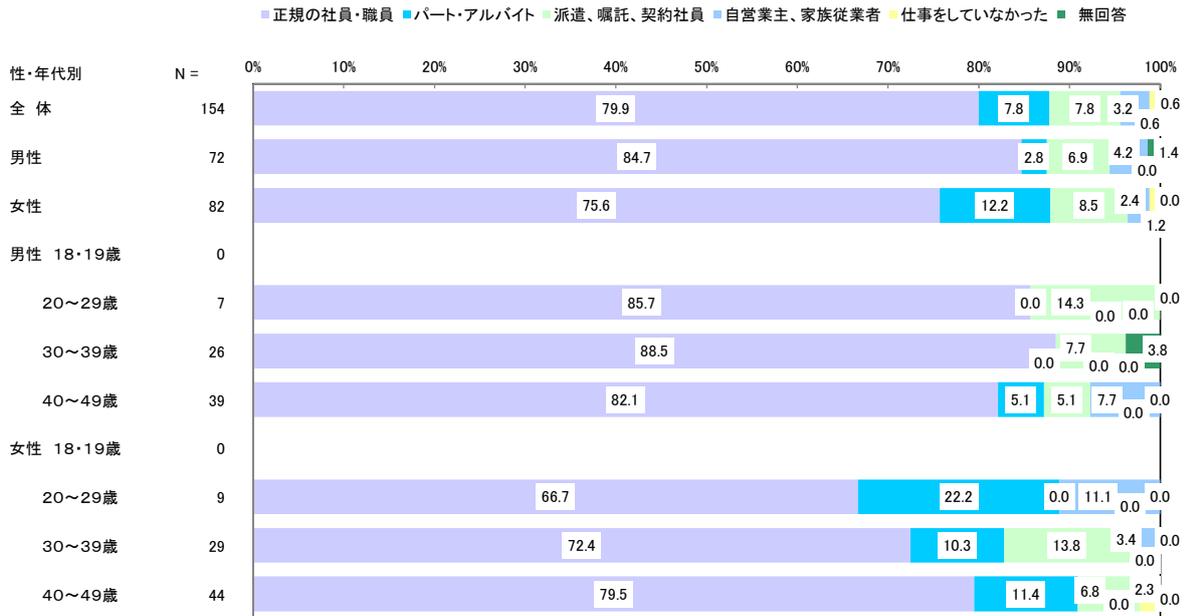
問 18 現在の結婚をするまでの就労状況をご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 正規の社員・職員	123	79.9%
(2) パート・アルバイト	12	7.8%
(3) 派遣、嘱託、契約社員	12	7.8%
(4) 自営業主、家族従業者	5	3.2%
(5) 仕事をしていたなかった	1	0.6%
無回答	1	0.6%
計	154	100.0%

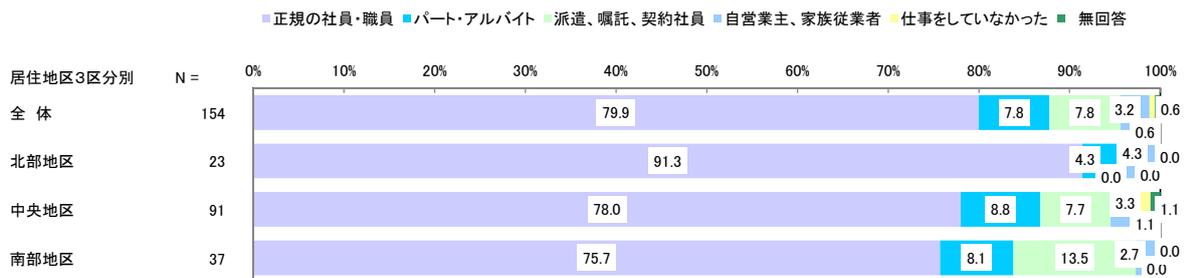


《属性別》

● 性・年代別



● 地区別



現在の結婚をするまでの就労状況を聞いたところ、「正規の社員・職員」と答えた人が 79.9%、「パート・アルバイト」、「派遣、嘱託、契約社員」と答えた人がともに 7.8%で、約 8 割の方が「正規の社員・職員」であるという結果になっています。

性別では、「正規の社員・職員」は男性が 84.7%、女性が 75.6%で、男性が多くなっています。「パート・アルバイト」は女性で 12.2%となっています。

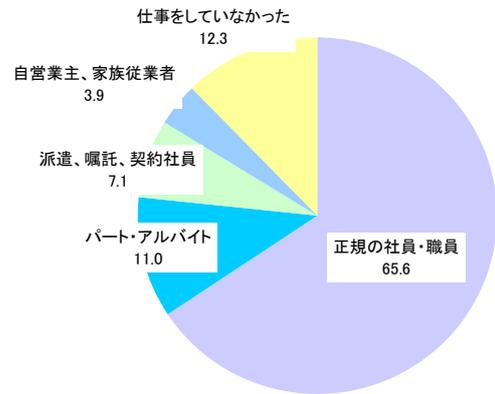
性・年代別では、30～39 歳の男性で「正規の社員・職員」が 88.5%と最も高く、女性では 40～49 歳で 79.5%となっています。「パート・アルバイト」は 20～29 歳の女性で 22.2%と高くなっています。

地区別では、北部地区の「正規の社員・職員」が 91.3%と最も高く、中央地区が 78.0%、南部地区が 75.7%となっています。南部地区では「派遣、嘱託、契約社員」が 13.5%と高くなっています。

【5】 結婚直後の就労状況

問 19 現在の結婚をした直後の就労状況をご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 正規の社員・職員	101	65.6%
(2) パート・アルバイト	17	11.0%
(3) 派遣、嘱託、契約社員	11	7.1%
(4) 自営業主、家族従業者	6	3.9%
(5) 仕事をしていたなかった	19	12.3%
計	154	100.0%

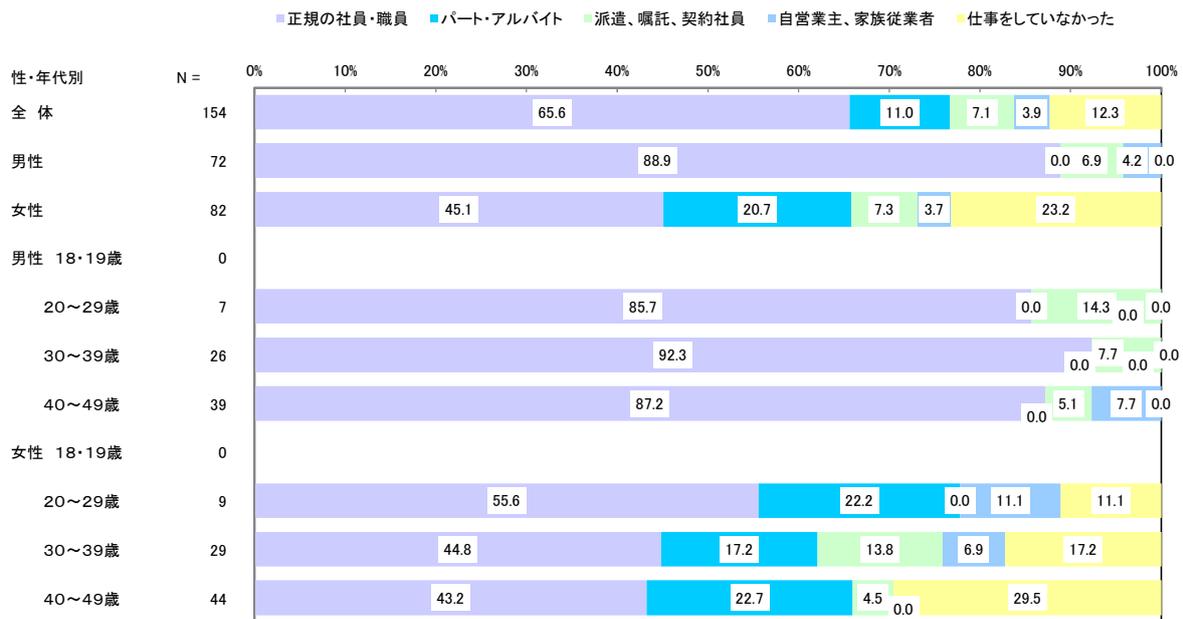


N = 154

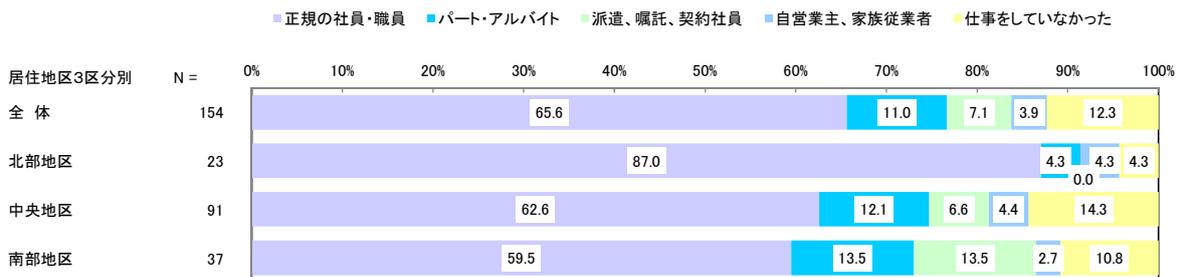
%

《属性別》

● 性・年代別



● 地区別



現在の結婚をした直後の就労状況を聞いたところ、「正規の社員・職員」と答えた人が 65.6%、「仕事をしていなかった」が 12.3%、「パート・アルバイト」が 11.0%、「派遣、嘱託、契約社員」が 7.1%で、6割以上の方が「正規の社員・職員」であるという結果になっています。

性別では、「正規の社員・職員」が男性で 88.9%、女性で 45.1%で、男性と女性の差が大きくなっています。女性では「パート・アルバイト」が 20.7%、「仕事をしていなかった」が 23.2%となっています。

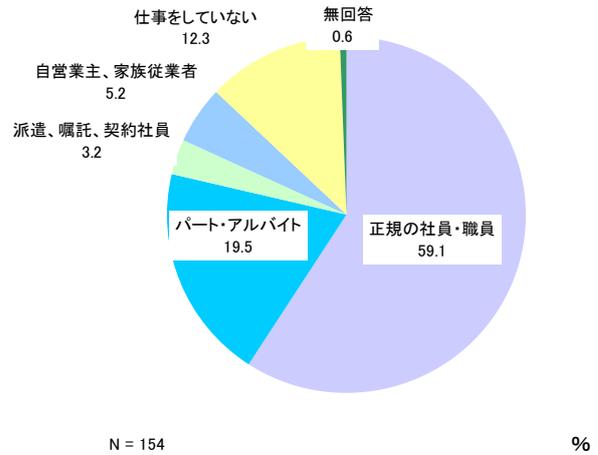
性・年代別では、30～39歳の男性で「正規の社員・職員」が 92.3%と最も高く、女性では 20～29歳で 55.6%となっています。「パート・アルバイト」は 40～49歳の女性で 22.7%、20～29歳の女性で 22.2%と高くなっています。「仕事をしていなかった」は 40～49歳の女性で 29.5%と高くなっています。

地区別では、北部地区の「正規の社員・職員」が 87.0%と最も高く、中央地区が 62.5%、南部地区が 59.5%となっています。南部地区では「パート・アルバイト」と「派遣、嘱託、契約社員」が 13.5%と高くなっています。

【6】 配偶者の現在の就労状況

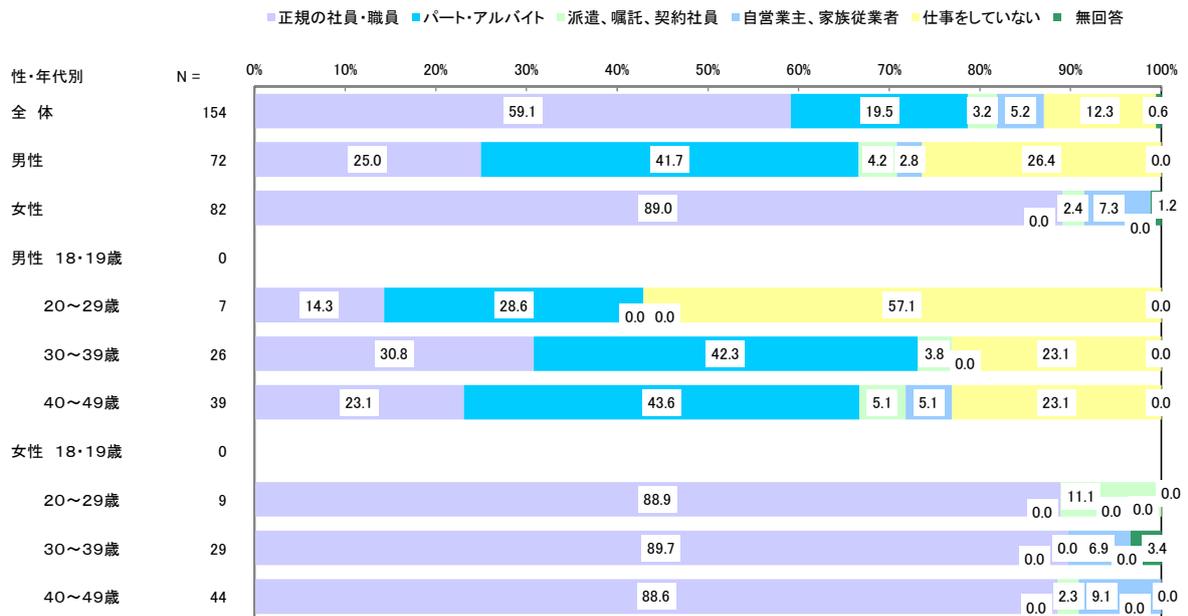
問 20 あなたの配偶者の現在の就労状況をご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 正規の社員・職員	91	59.1%
(2) パート・アルバイト	30	19.5%
(3) 派遣、嘱託、契約社員	5	3.2%
(4) 自営業主、家族従業者	8	5.2%
(5) 仕事をしていない	19	12.3%
無回答	1	0.6%
計	154	100.0%

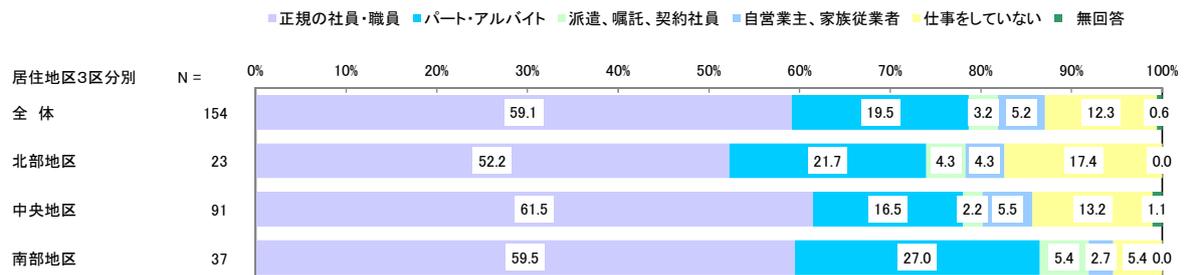


《属性別》

●性・年代別



●地区別



配偶者の現在の就労状況を聞いたところ、「正規の社員・職員」と答えた人が 59.1%、「パート・アルバイト」が 19.5%、「仕事をしていない」が 12.3%で、約 6 割の方が「正規の社員・職員」であるという結果になっています。

性別では、「正規の社員・職員」が女性で 89.0%、男性で 25.0%で、女性と男性の差が大きくなっています。男性では「パート・アルバイト」が 41.7%、「仕事をしていない」が 26.4%となっています。

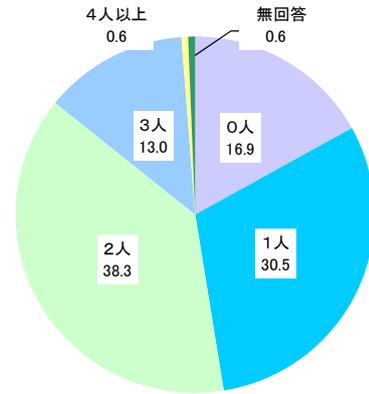
性・年代別では、20～29 歳から 40～49 歳の女性で「正規の社員・職員」が約 9 割と高く、男性では 30～39 歳で 30.8%となっています。「パート・アルバイト」は 40～49 歳の男性で 43.6%、30～39 歳の男性で 42.3%と高くなっています。「仕事をしていなかった」は 20～29 歳の男性で 57.1%と高くなっています。

地区別では、中央地区の「正規の社員・職員」が 61.5%と最も高く、南部地区が 59.5%、北部地区が 52.2%となっています。南部地区では「パート・アルバイト」が 27.0%、北部地区では「仕事をしていない」が 17.4%と高くなっています。

【7】 現在の子どもの人数

問 21 成年・未成年を問わず、あなたの子どもの人数をご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 0人	26	16.9%
(2) 1人	47	30.5%
(3) 2人	59	38.3%
(4) 3人	20	13.0%
(5) 4人以上	1	0.6%
無回答	1	0.6%
計	154	100.0%

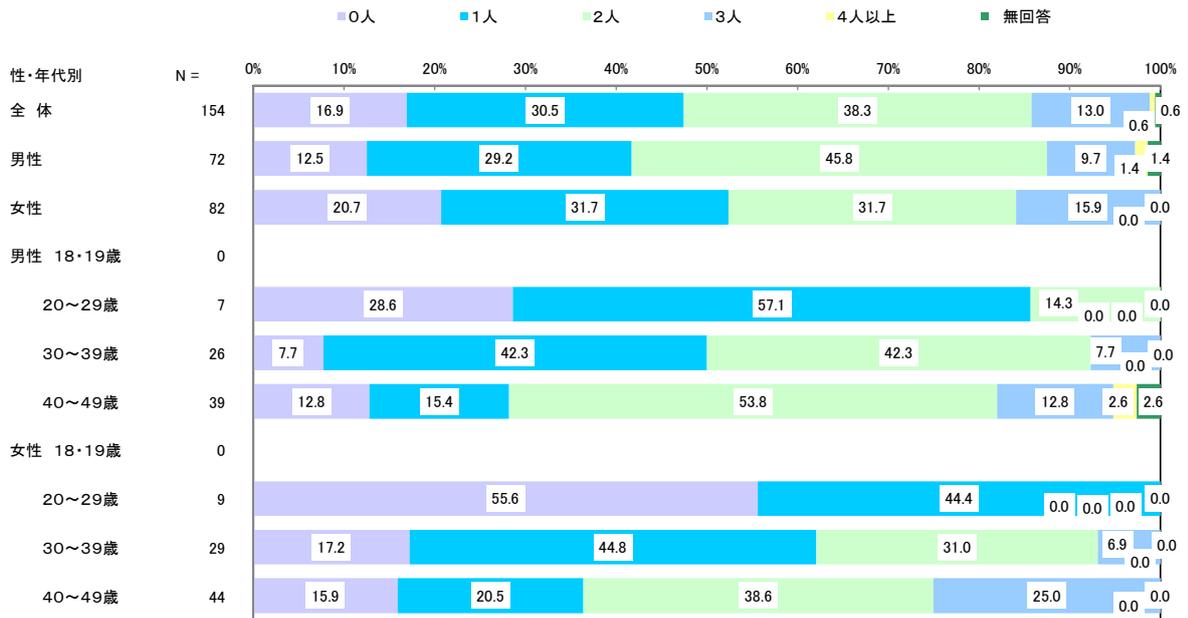


N = 154

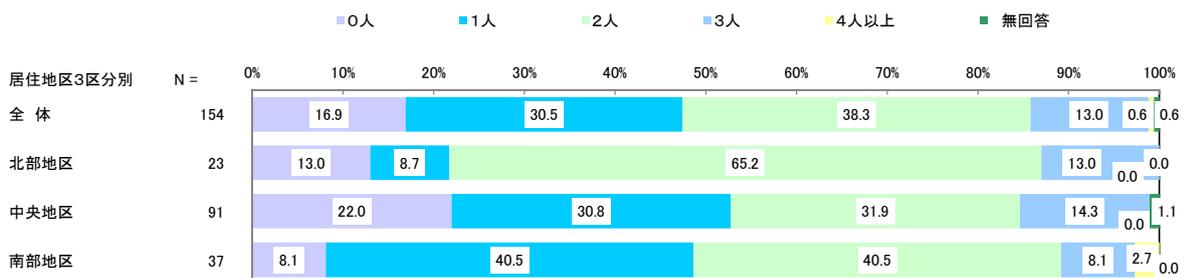
%

《属性別》

● 性・年代別



● 地区別



現在の子どもの人数を聞いたところ、「2人」と答えた人が38.3%、「1人」と答えた人が30.5%、「3人」と答えた人が13.0%となっています。また、「0人」と答えた人は16.9%となっています。

性別では、男性の「2人」は45.8%で、女性の31.7%よりも多くなっています。女性では「0人」が20.7%と男性の12.5%よりも多くなっています。

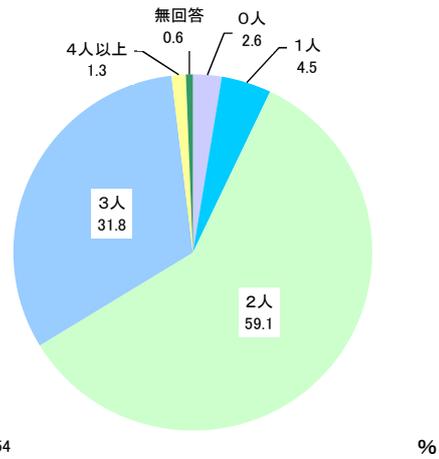
性・年代別では、40～49歳の男性で「2人」が53.8%と高く、30～39歳の男性が42.3%となっています。「1人」は男女ともに30～39歳で4割以上となっています。「0人」は20～29歳の女性で55.6%となっています。

地区別では、南部地区で「1人」が40.5%と高くなっています。北部地区で「2人」が65.2%と高くなっています。

【8】 理想の子ども的人数

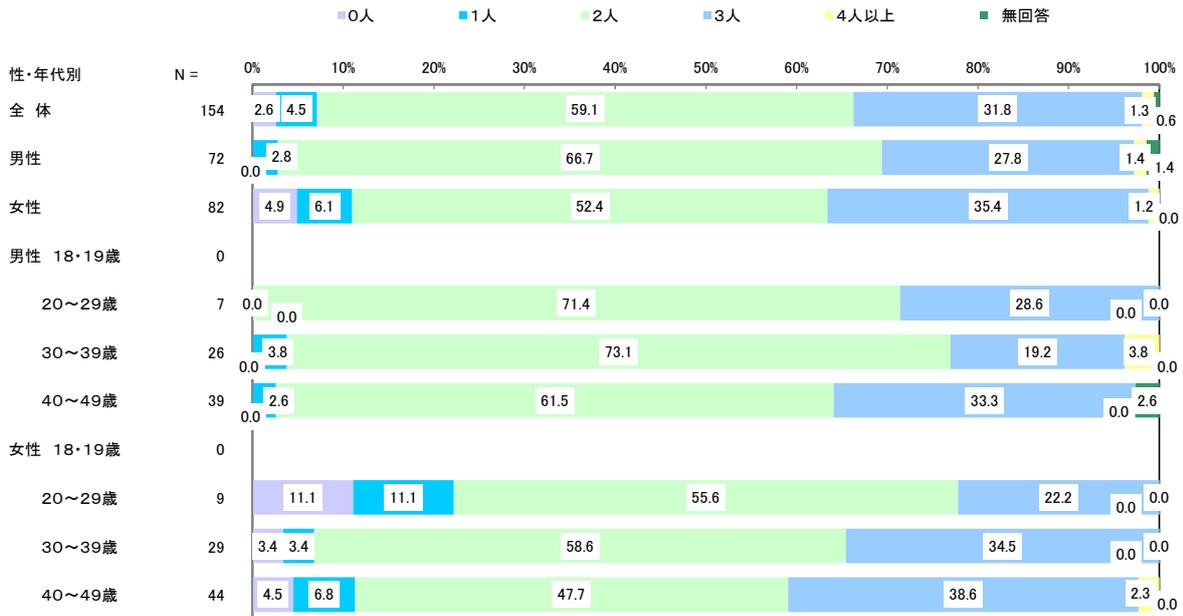
問 22 あなたの理想とする子ども的人数をご回答ください。(〇は1つ)

	回答数	構成比
(1) 0人	4	2.6%
(2) 1人	7	4.5%
(3) 2人	91	59.1%
(4) 3人	49	31.8%
(5) 4人以上	2	1.3%
無回答	1	0.6%
計	154	100.0%



《属性別》

● 性・年代別



● 地区別



理想とする子どもの人数を聞いたところ、「2人」と答えた人が 59.1%、「3人」と答えた人が 31.8% となっています。

性別では、男性の「2人」は 66.7%で、女性の 52.4%よりも多くなっています。女性では「3人」が 35.4%と男性の 27.8%よりも多くなっています。

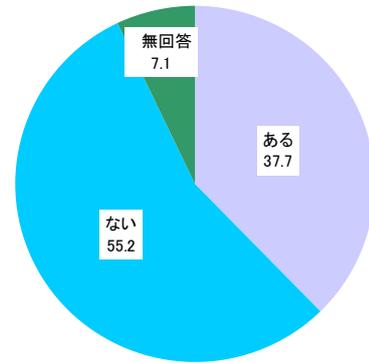
性・年代別では、30～39歳の男性で「2人」が 73.1%と最も高くなっています。「3人」は 40～49歳の女性で 38.6%と最も高くなっています。

地区別では、北部地区で「2人」が 69.6%と高くなっています。中央地区で「3人」が 34.1%と高くなっています。

【9】 理想の子ども人数を持つ考え

問 23 これから理想とする子どもの人数を持つ考えがありますか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) ある	58	37.7%
(2) ない	85	55.2%
無回答	11	7.1%
計	154	100.0%

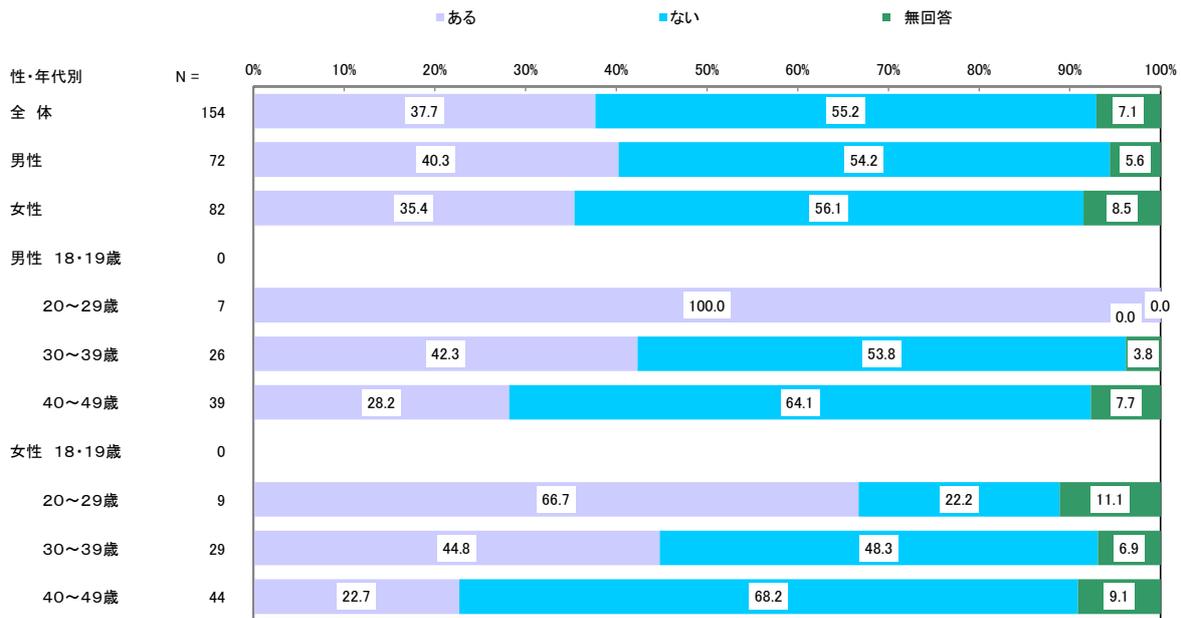


N = 154

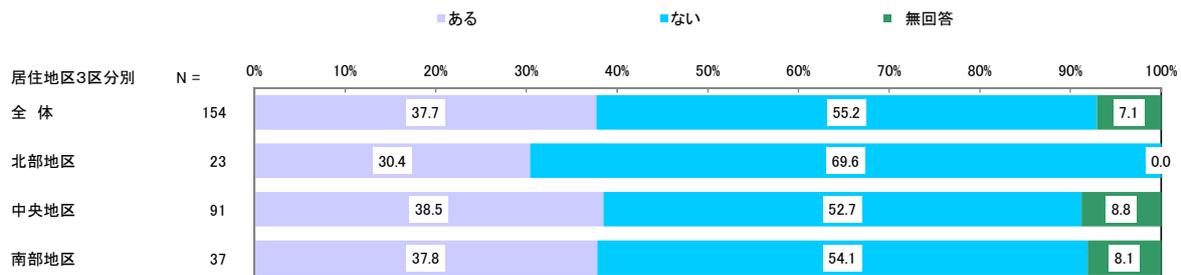
%

《属性別》

●性・年代別



●地区別



理想とする子どもの人数を持つ考えがあるか聞いたところ、「ある」と答えた人が 37.7%、「ない」と答えた人が 55.2%となっています。

性別では、男性の「ある」は 40.3%で、女性の 35.4%よりも若干多くなっています。「ない」は男女ともに半数を超えています。

性・年代別では、「ある」は男女ともに 20～29 歳で高くなっていますが、年齢が高くなるにつれ低下しています。一方、「ない」は 40～49 歳の女性で 68.2%、男性で 64.1%と高くなっています。

地区別では、北部地区で「ない」が 69.6%と最も高くなっています。

【10】持つ考えがない理由

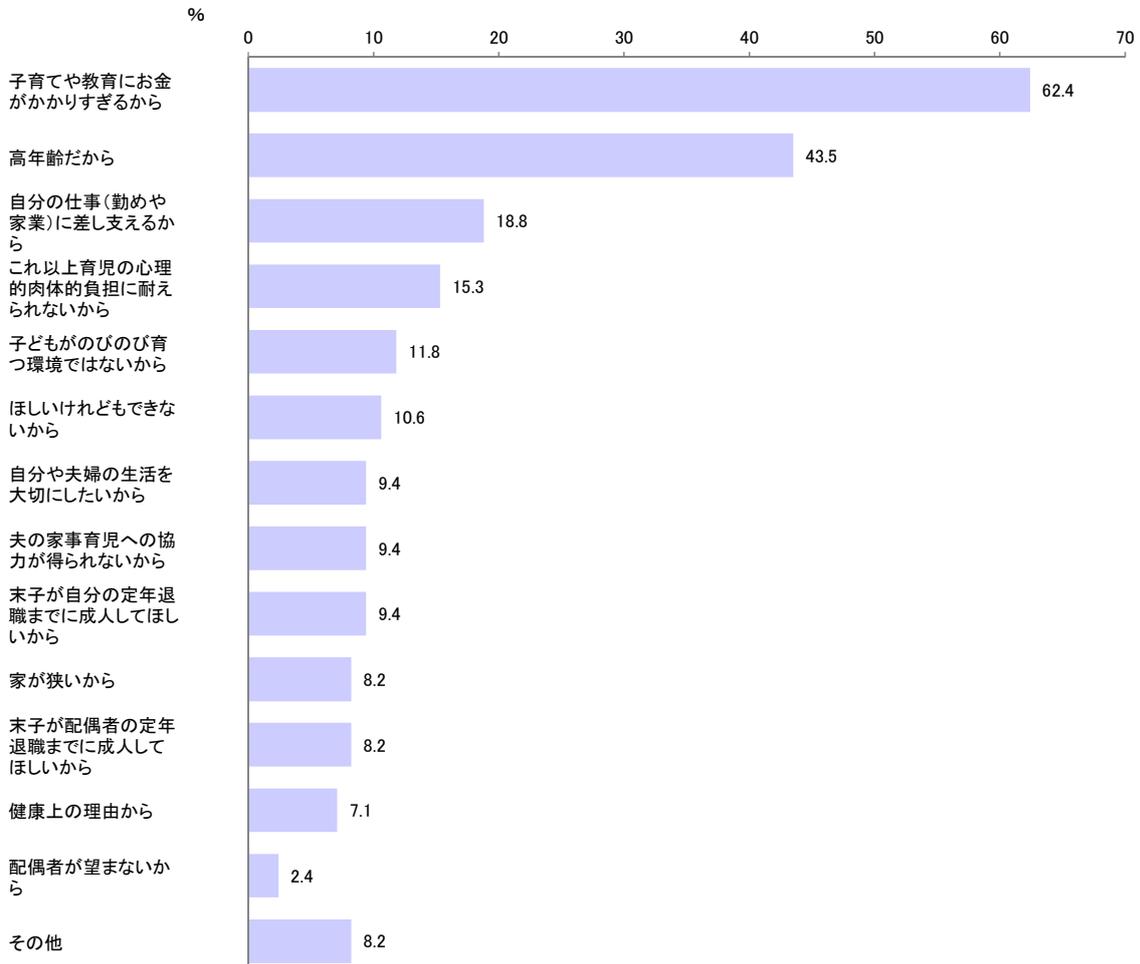
問 23-1 理想とする子どもの人数を持つ考えがない理由をご回答下さい。

(あてはまるものすべてに○)

n = 85

	回答数	構成比
(1) 子育てや教育にお金がかかりすぎるから	53	62.4%
(2) 高年齢だから	37	43.5%
(3) 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	16	18.8%
(4) これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから	13	15.3%
(5) 子どもがのびのび育つ環境ではないから	10	11.8%
(6) ほしいけれどもできないから	9	10.6%
(7) 自分や夫婦の生活を大切にしたいから	8	9.4%
(8) 夫の家事育児への協力が得られないから	8	9.4%
(9) 末子が自分の定年退職までに成人してほしいから	8	9.4%
(10) 家が狭いから	7	8.2%
(11) 末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから	7	8.2%
(12) 健康上の理由から	6	7.1%
(13) 配偶者が望まないから	2	2.4%
(14) その他	7	8.2%
計	191	100.0%

N = 85



《属性別》

●年代別／地区別

(%)

	n	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高年齢だから	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから	これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	ほしいけれどもできないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	夫の家事育児への協力が得られないから	しいから	末子が自分の定年退職までに成人してほしいから	家が狭いから	退職までに成人してほしいから	末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから	健康上の理由から	配偶者が望まないから	その他
全体	85	62.4	43.5	18.8	15.3	11.8	10.6	9.4	9.4	9.4	8.2	8.2	7.1	7.1	2.4	8.2	
男性	39	64.1	25.6	10.3	12.8	10.3	10.3	5.1	-	12.8	7.7	2.6	2.6	-	-	10.3	
女性	46	60.9	58.7	26.1	17.4	13.0	10.9	13.0	17.4	6.5	8.7	13.0	10.9	10.9	4.3	6.5	
18・19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20～29歳	2	100.0	-	100.0	-	50.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	
30～39歳	28	82.1	10.7	25.0	25.0	17.9	3.6	14.3	10.7	7.1	10.7	10.7	7.1	7.1	7.1	7.1	
40～49歳	55	50.9	61.8	12.7	10.9	7.3	14.5	5.5	7.3	10.9	5.5	7.3	7.3	-	-	9.1	
北部地区	16	68.8	43.8	37.5	18.8	-	25.0	12.5	12.5	18.8	-	18.8	12.5	6.3	6.3	-	
中央地区	48	58.3	47.9	14.6	10.4	14.6	6.3	10.4	12.5	4.2	8.3	8.3	6.3	2.1	2.1	12.5	
南部地区	20	70.0	30.0	15.0	20.0	15.0	10.0	5.0	-	15.0	15.0	-	5.0	-	-	5.0	

理想とする子どもの人数を持つ考えがない理由を聞いたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が62.4%で最も高くなっています。次いで「高年齢だから」が43.5%、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」が18.8%、「これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから」が15.3%となっています。

性別では、女性で「高年齢だから」が58.7%と高く、「これ以上育児の心理的肉体的負担に耐えられないから」が17.4%、「健康上の理由から」が10.9%と身体的理由を挙げている方が多くなっています。また、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」でも女性で26.1%と男性10.3%よりも多くなっています。「末子が自分の定年退職までに成人してほしいから」は男性で12.8%、「末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから」は女性で13.0%となっています。

年代別では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は30～39歳が82.1%と高くなっています。「高年齢だから」は40～49歳が61.8%と高くなっています。

地区別では、南部地区で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が70.0%と最も高く、次いで北部地区で68.8%となっています。北部地区で「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」が37.5%と、他地区より高くなっています。

【11】子育てで大変だと感じること

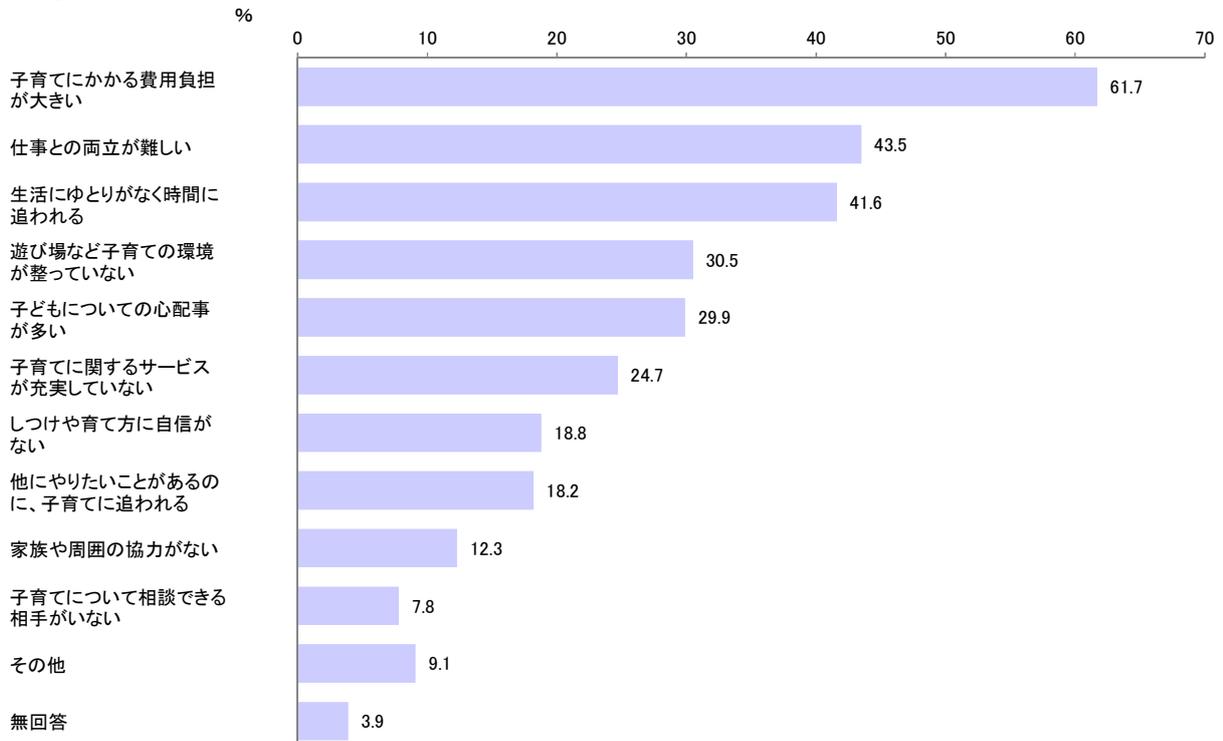
問 24 子育てにおいて大変だと感じることをご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

n = 154

	回答数	構成比
(1) 子育てにかかる費用負担が大きい	95	61.7%
(2) 仕事との両立が難しい	67	43.5%
(3) 生活にゆとりがなく時間に追われる	64	41.6%
(4) 遊び場など子育ての環境が整っていない	47	30.5%
(5) 子どもについての心配事が多い	46	29.9%
(6) 子育てに関するサービスが充実していない	38	24.7%
(7) しつけや育て方に自信がない	29	18.8%
(8) 他にやりたいことがあるのに、子育てに追われる	28	18.2%
(9) 家族や周囲の協力がいない	19	12.3%
(10) 子育てについて相談できる相手がいない	12	7.8%
(11) その他	14	9.1%
無回答	6	3.9%
計	465	100.0%

N = 154



《属性別》

●年代別／地区別

	n	子育てにかかる費用	仕事との両立が難しい	生活にゆとりがなく時間に追われる	遊び場など子育ての環境が整っていない	子どもについての心配事が多い	子育てに関するサービスが充実していない	自信がない	追われる	他にやりたいこと	家族や周囲の協力が	子育てについて相談できる相手がない	その他	無回答
全体	154	61.7	43.5	41.6	30.5	29.9	24.7	18.8	18.2	12.3	7.8	9.1	3.9	
男性	72	59.7	36.1	41.7	36.1	26.4	31.9	12.5	13.9	9.7	9.7	6.9	4.2	
女性	82	63.4	50.0	41.5	25.6	32.9	18.3	24.4	22.0	14.6	6.1	11.0	3.7	
18・19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20～29歳	16	56.3	43.8	37.5	31.3	31.3	18.8	18.8	31.3	18.8	18.8	25.0	6.3	
30～39歳	55	56.4	45.5	43.6	38.2	29.1	27.3	21.8	25.5	9.1	5.5	3.6	3.6	
40～49歳	83	66.3	42.2	41.0	25.3	30.1	24.1	16.9	10.8	13.3	7.2	9.6	3.6	
北部地区	23	65.2	52.2	56.5	39.1	43.5	39.1	30.4	21.7	8.7	-	4.3	-	
中央地区	91	56.0	44.0	38.5	25.3	28.6	16.5	17.6	18.7	16.5	9.9	9.9	6.6	
南部地区	37	70.3	40.5	43.2	37.8	24.3	35.1	16.2	16.2	5.4	8.1	10.8	-	

子育てで大変だと感じることを聞いたところ、「子育てにかかる費用負担が大きい」が61.7%で最も高くなっています。次いで「仕事との両立が難しい」が43.5%、「生活にゆとりがなく時間に追われる」が41.6%となっています。

性別では、「子育てにかかる費用負担が大きい」が女性で63.4%、男性で59.7%と男女ともに高くなっています。女性は「仕事との両立が難しい」が50.0%、「子どもについての心配事が多い」が32.9%などで男性よりも高くなっています。男性で「遊び場など子育ての環境が整っていない」が36.1%、「子育てに関するサービスが充実していない」が31.9%と女性よりも高くなっています。

年代別では、「子育てにかかる費用負担が大きい」は40～49歳が66.3%と高くなっています。「仕事との両立が難しい」は20～29歳から40～49歳までそれぞれ40%台となっています。

地区別では、南部地区で「子育てにかかる費用負担が大きい」が70.3%と最も高く、次いで北部地区で65.2%となっています。北部地区では「仕事との両立が難しい」が52.2%、「生活にゆとりがなく時間に追われる」が56.5%、「遊び場など子育ての環境が整っていない」が39.1%と、他地区より高い項目が多くなっています。

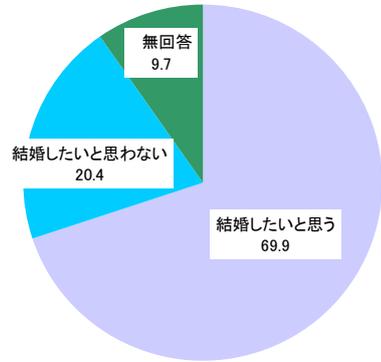
(4) 結婚観について (49歳以下の未婚者)

【1】 結婚の希望の有無

問 25～28 は、現在、49歳以下で結婚していない方にかがいます。

問 25 将来の結婚の希望についてご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 結婚したいと思う	79	69.9%
(2) 結婚したいと思わない	23	20.4%
無回答	11	9.7%
計	113	100.0%

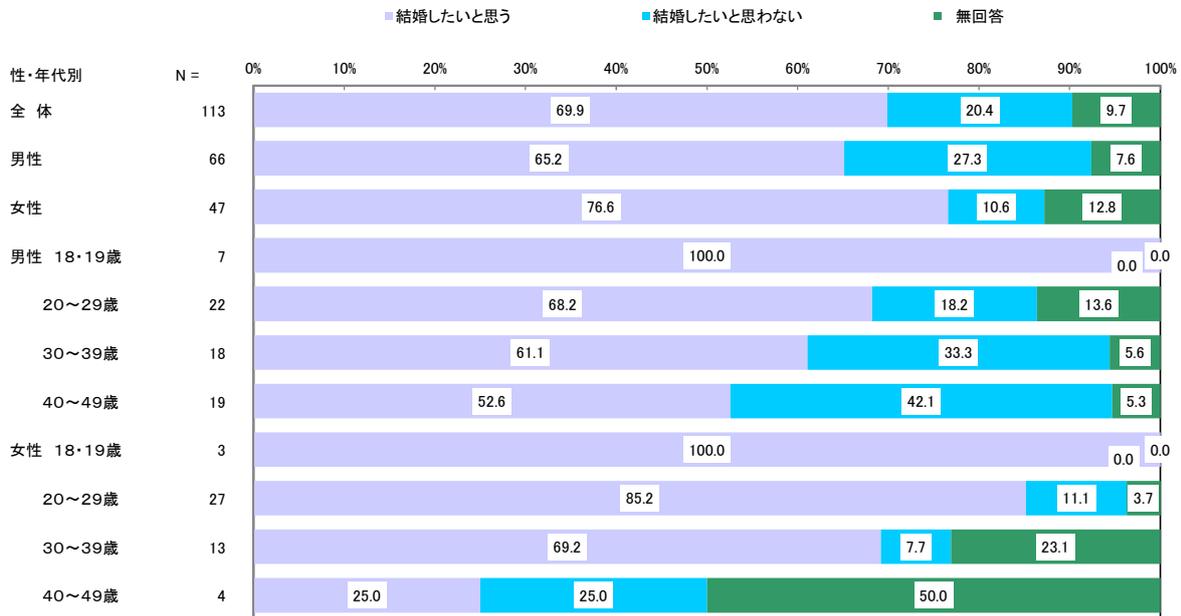


N = 113

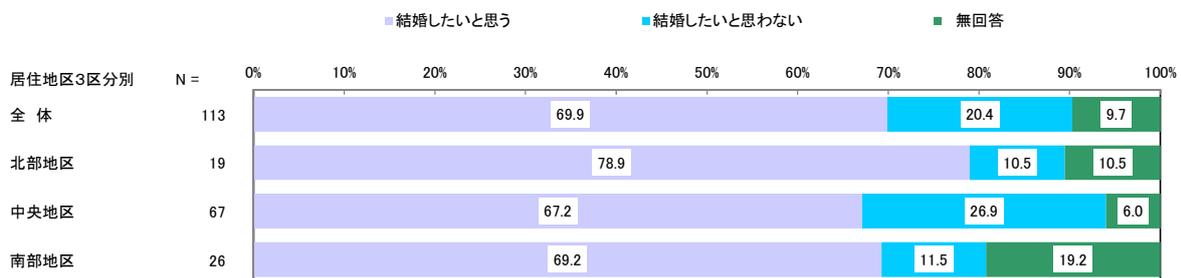
%

《属性別》

● 性・年代別



● 地区別



49歳以下で未婚者の方に、将来に結婚する希望を聞いたところ、「結婚したいと思う」と答えた人が69.9%、「結婚したいと思わない」と答えた人が20.4%となっています。

性別では、女性の「結婚したいと思う」は76.6%で、男性の65.2%よりも若干多くなっています。「結婚したいと思わない」は男性で27.3%と女性の10.6%よりも多くなっています。

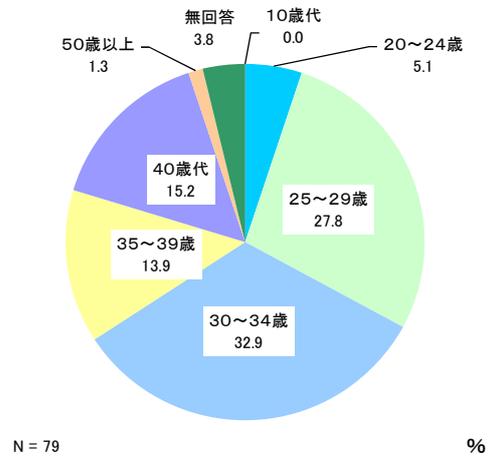
性・年代別では、「結婚したいと思う」は男女ともに18・19歳と20～29歳で高くなっていますが、年齢が高くなるにつれ低下しています。一方、「結婚したいと思わない」は40～49歳の男性で42.1%、30～39歳の男性で33.3%と高くなっています。

地区別では、北部地区で「結婚したいと思う」が78.9%と最も高くなっています。「結婚したいと思わない」は中央地区で26.9%と最も高くなっています。

【2】 理想の結婚年齢

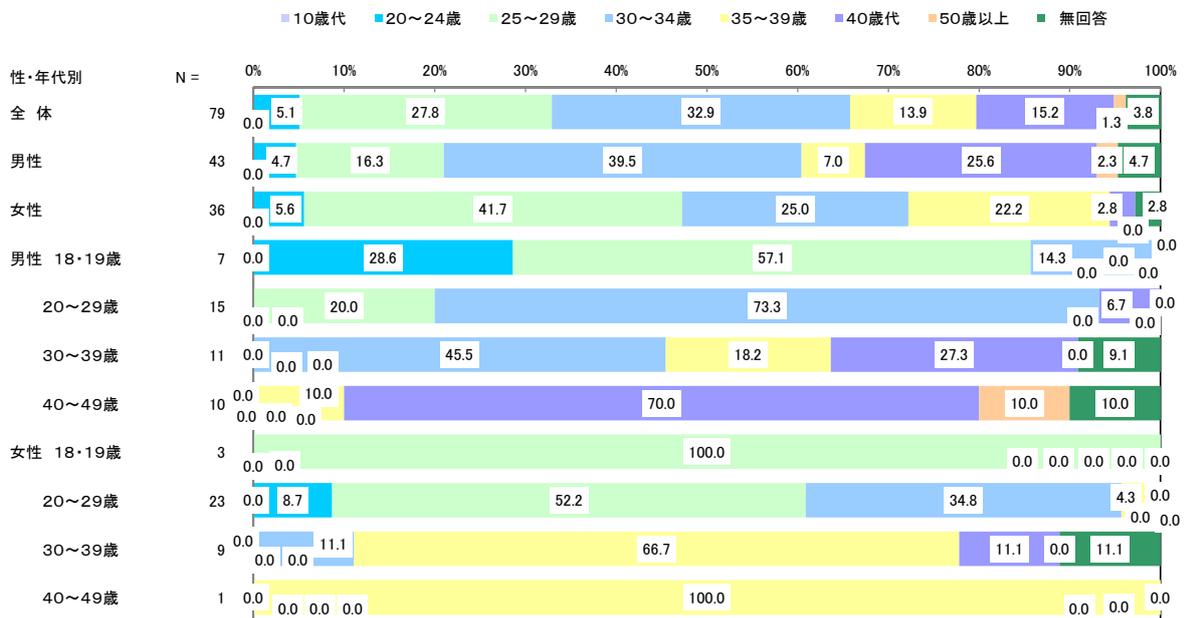
問 25-1 結婚したいと思う年齢をご記入下さい。

	回答数	構成比
(1) 10歳代	0	0.0%
(2) 20～24歳	4	5.1%
(3) 25～29歳	22	27.8%
(4) 30～34歳	26	32.9%
(5) 35～39歳	11	13.9%
(6) 40歳代	12	15.2%
(7) 50歳以上	1	1.3%
無回答	3	3.8%
計	79	100.0%

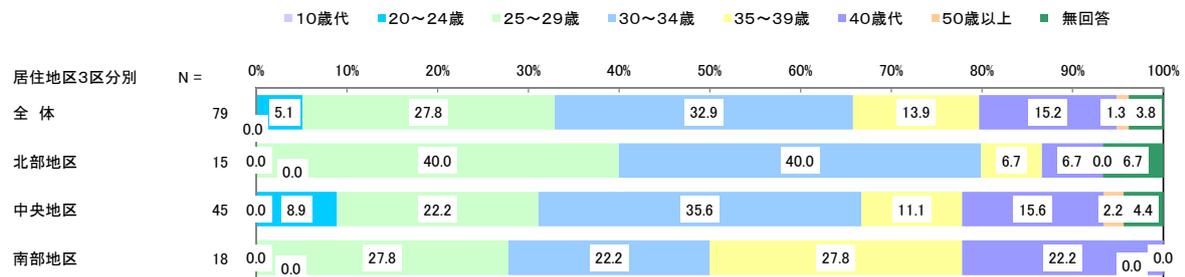


《属性別》

● 性・年代別



● 地区別



問 25 で「結婚したいと思う」と答えた方に、結婚したいと思う年齢を聞いたところ、「30～34 歳」と答えた人が 32.9%、「35～39 歳」と答えた人が 13.9%で、これらを合わせると 46.8%となっています。4 割以上の方が 30 歳代で結婚したいと考えているという結果になっています。

性別では、「30～34 歳」、「35～39 歳」の合計（「30 歳代」）は男性が 46.5%、女性が 47.2%で、男女ともに多くなっています。

性・年代別では、30～39 歳の女性で「30 歳代」が 77.8%と高く、20～29 歳の男性が 73.3%となっています。

地区別では、南部地区の「30 歳代」が 50.0%と最も高く、北部地区と中央地区が 46.7%となっています。

一方、「20～24 歳」、「25～29 歳」の合計（「20 歳代」）と回答した人は 32.9%となっており、女性は 47.3%、男性は 21.0 %で、女性が多くなっています。

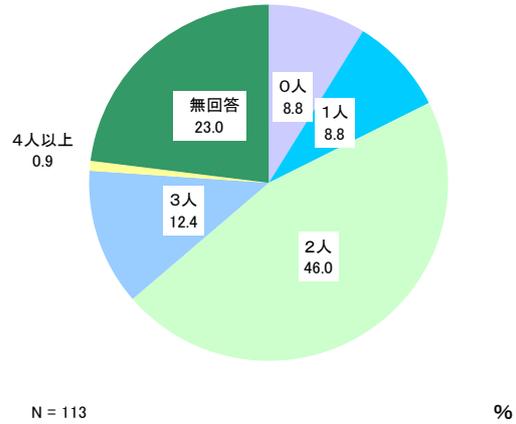
性・年代別では、20～29 歳の女性で「20 歳代」が 60.9%と高くなっています。

地区別では、北部地区で「20 歳代」が 40.0%と高くなっています。

【3】 理想の子どもの人数

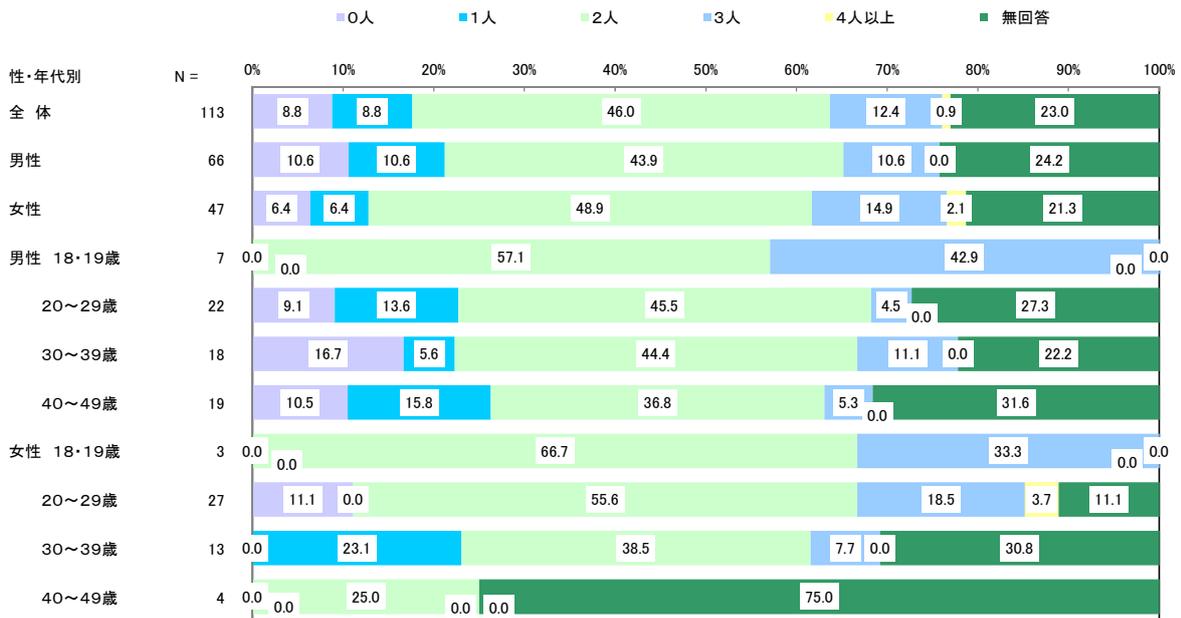
問 26 あなたの理想とする子どもの人数をご回答ください。(〇は1つ)

	回答数	構成比
(1) 0人	10	8.8%
(2) 1人	10	8.8%
(3) 2人	52	46.0%
(4) 3人	14	12.4%
(5) 4人以上	1	0.9%
無回答	26	23.0%
計	113	100.0%



《属性別》

●性・年代別



●地区別



理想とする子どもの人数を聞いたところ、「2人」と答えた人が46.0%、「3人」と答えた人が12.4%となっています。

性別では、女性の「2人」は48.9%で、男性の43.9%よりも若干多くなっています。女性では「3人」が14.9%と男性の10.6%よりも若干多くなっています。

性・年代別では、20～29歳の女性で「2人」が55.6%と高くなっています。「1人」は30～39歳の女性で23.1%と高くなっています。

地区別では、北部地区で「2人」が57.9%と高く、中央地区で46.3%、南部地区で38.5%となっています。

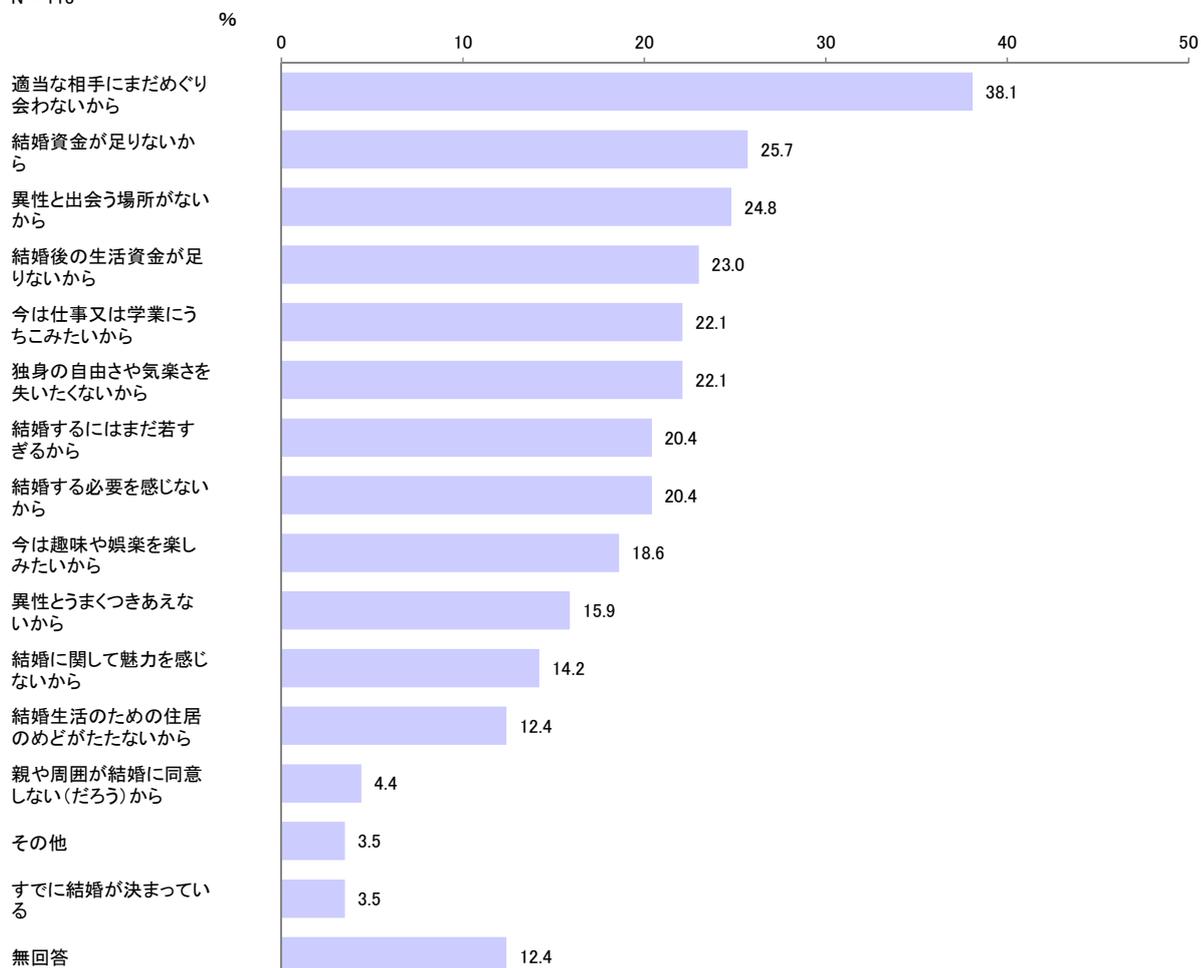
【4】 現在独身でいる理由

問 27 現在独身でいる理由についてご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

n = 113

	回答数	構成比
(1) 適当な相手にまだめぐり会わないから	43	38.1%
(2) 結婚資金が足りないから	29	25.7%
(3) 異性と出会う場所がないから	28	24.8%
(4) 結婚後の生活資金が足りないから	26	23.0%
(5) 今は仕事又は学業にうちこみたいから	25	22.1%
(6) 独身の自由さや気楽さを失いたくないから	25	22.1%
(7) 結婚するにはまだ若すぎるから	23	20.4%
(8) 結婚するのを感じないから	23	20.4%
(9) 今は趣味や娯楽を楽しみたいから	21	18.6%
(10) 異性とうまくつきあえないから	18	15.9%
(11) 結婚に関して魅力を感じないから	16	14.2%
(12) 結婚生活のための住居のめどがたたないから	14	12.4%
(13) 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	5	4.4%
(14) その他	4	3.5%
(15) すでに結婚が決まっている	4	3.5%
無回答	14	12.4%
計	318	100.0%

N = 113

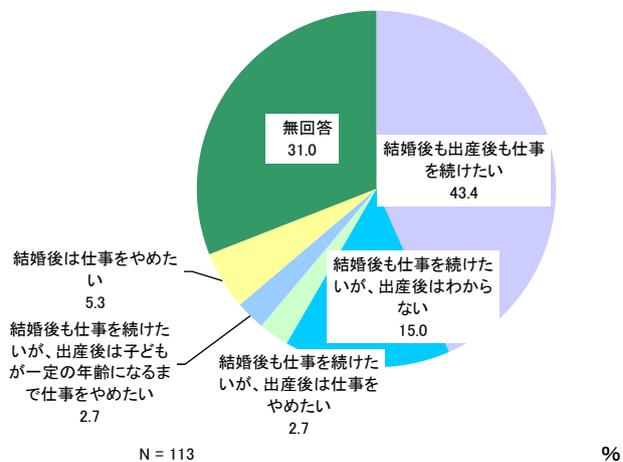


【5】 結婚後の理想の就労状況

問 28 結婚後のご自身及び配偶者の就労状況の希望をご回答ください。(○は1つ)

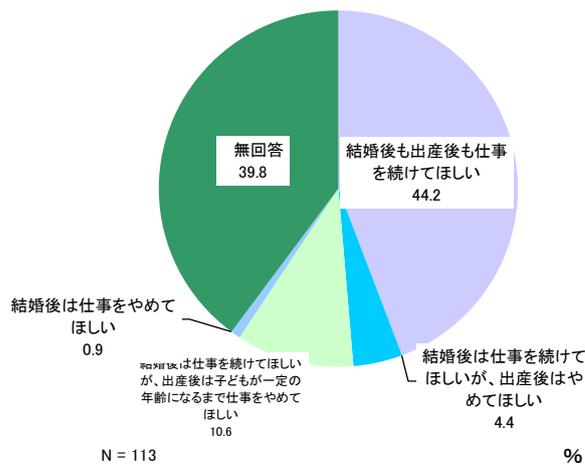
本人

	回答数	構成比
(1) 結婚後も出産後も仕事を続けたい	49	43.4%
(2) 結婚後も仕事を続けたいが、出産後はわからない	17	15.0%
(3) 結婚後も仕事を続けたいが、出産後は仕事をやめたい	3	2.7%
(4) 結婚後も仕事を続けたいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめたい	3	2.7%
(5) 結婚後は仕事をやめたい	6	5.3%
無回答	35	31.0%
計	113	100.0%



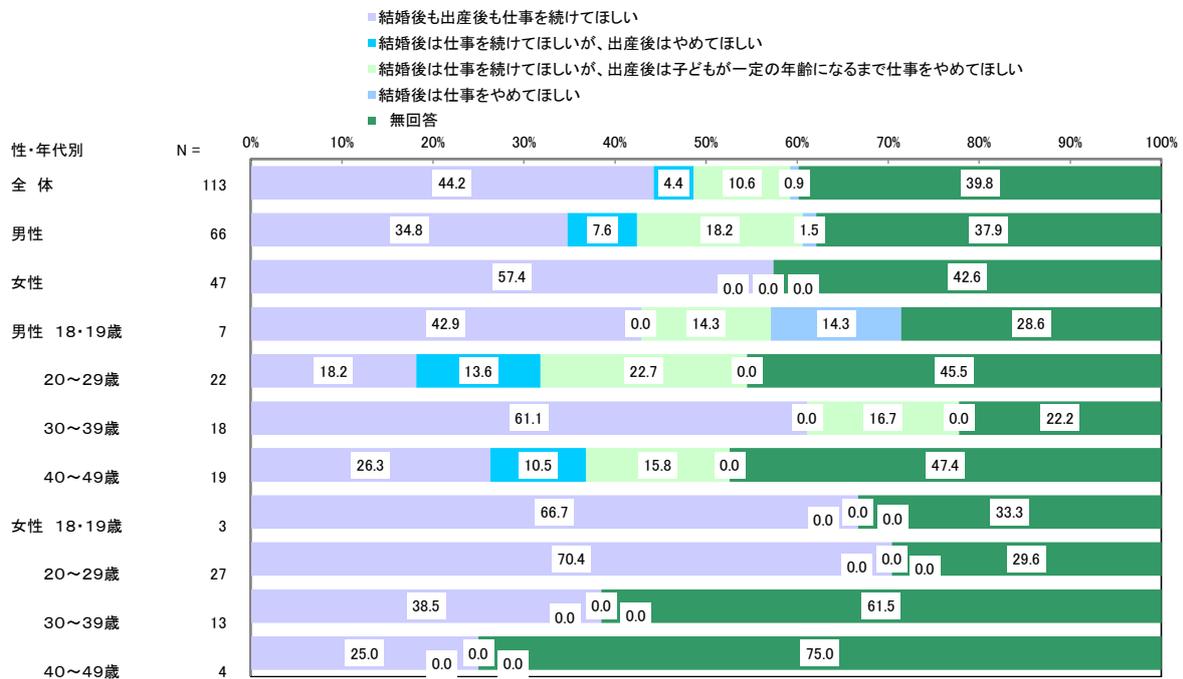
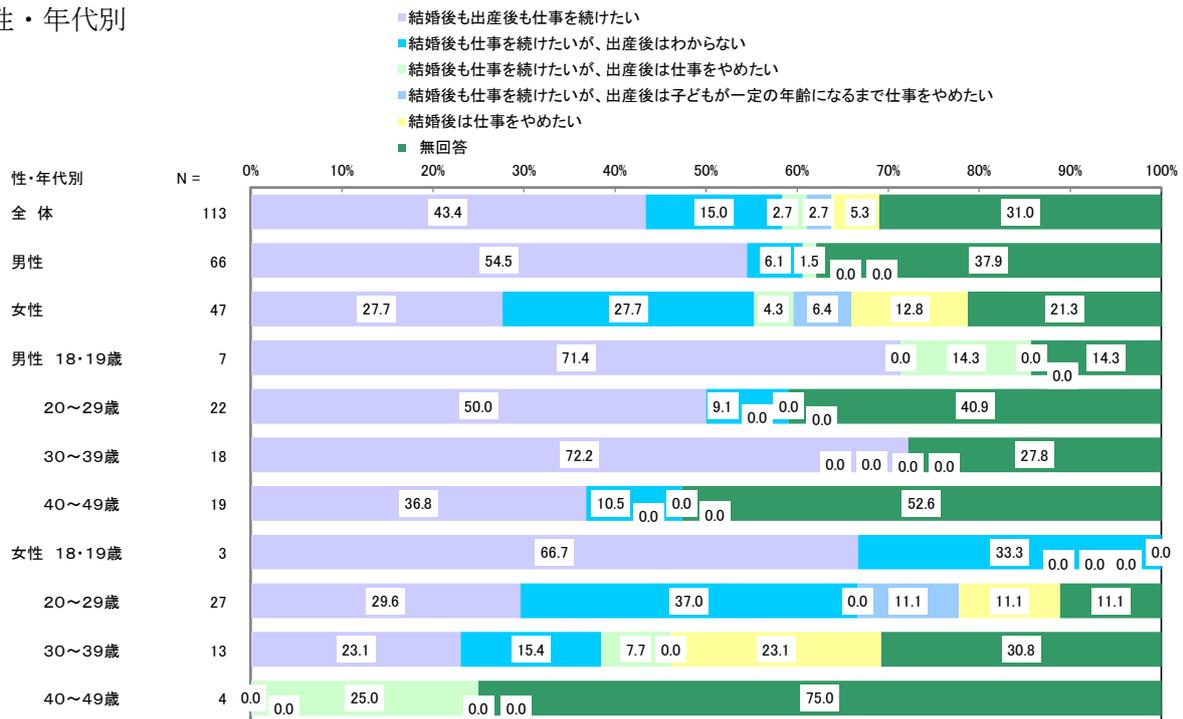
配偶者

	回答数	構成比
(1) 結婚後も出産後も仕事を続けてほしい	50	44.2%
(2) 結婚後は仕事を続けてほしいが、出産後はやめてほしい	5	4.4%
(3) 結婚後は仕事を続けてほしいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめてほしい	12	10.6%
(4) 結婚後は仕事をやめてほしい	1	0.9%
無回答	45	39.8%
計	113	100.0%

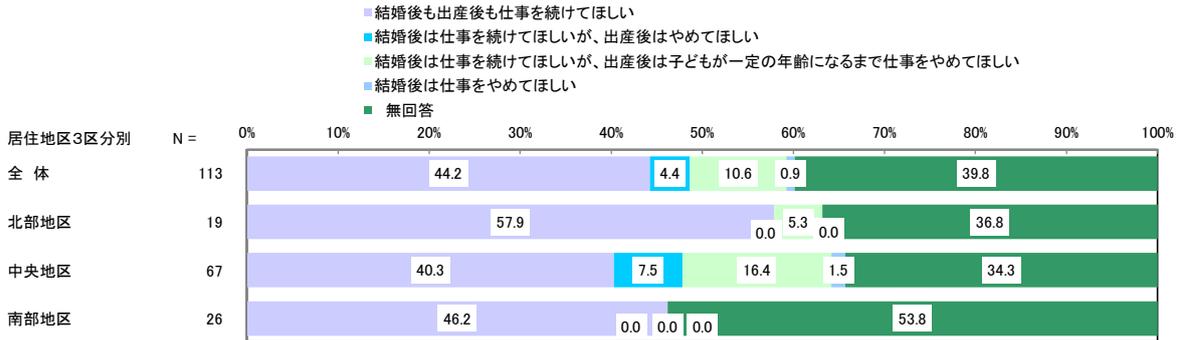
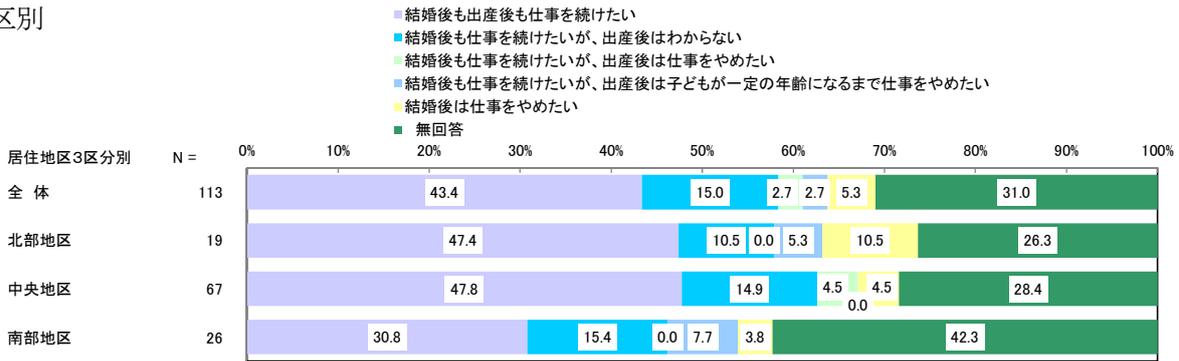


《属性別》

●性・年代別



●地区別



結婚後の本人に関して、就労状況の希望を聞いたところ、「結婚後も出産後も仕事を続けたい」と答えた人が43.4%、「結婚後も仕事を続けたいが、出産後はわからない」が15.0%となっています。

性別では、「結婚後も出産後も仕事を続けたい」は男性が54.5%、女性が27.7%で、男性と女性の差が大きくなっています。女性では「結婚後も仕事を続けたいが、出産後はわからない」が27.7%、「結婚後は仕事をやめたい」が12.8%となっています。

性・年代別では、30～39歳の男性で「結婚後も出産後も仕事を続けたい」が72.2%と最も高くなっています。「結婚後も仕事を続けたいが、出産後はわからない」は20～29歳の女性で37.0%、「結婚後は仕事をやめたい」は30～39歳の女性で23.1%と高くなっています。

地区別では、「結婚後も出産後も仕事を続けたい」が中央地区で47.8%、北部地区で47.4%と高くなっています。

結婚後の配偶者に関して、就労状況の希望を聞いたところ、「結婚後も出産後も仕事を続けてほしい」と答えた人が44.2%、「結婚後は仕事を続けてほしいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめてほしい」が10.6%となっています。

性別では、「結婚後も出産後も仕事を続けてほしい」は女性が57.4%、男性が34.8%で、女性の方が多くなっています。男性では「結婚後は仕事を続けてほしいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめてほしい」が18.2%となっています。

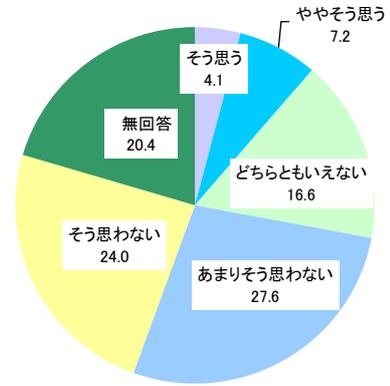
性・年代別では、20～29歳の女性で「結婚後も出産後も仕事を続けてほしい」が70.4%と最も高く、男性の30～39歳でも61.1%となっています。「結婚後は仕事を続けてほしいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめてほしい」は20～29歳の男性で22.7%と高くなっています。

地区別では、「結婚後も出産後も仕事を続けてほしい」が北部地区で57.9%と最も高く、南部地区で46.2%となっています。

(5) 子ども・子育てに関する日本社会の現状について

問 29 少子化社会対策基本法の規定に基づく大綱として定められた「子ども・子育てビジョン」では、「目指すべき社会の姿」を掲げています。あなたは、日本の社会が「安心して妊娠・出産できるような社会」になっていると思いますか。(〇は1つ)

	回答数	構成比
(1) そう思う	39	4.1%
(2) ややそう思う	69	7.2%
(3) どちらともいえない	159	16.6%
(4) あまりそう思わない	264	27.6%
(5) そう思わない	229	24.0%
無回答	195	20.4%
計	955	100.0%

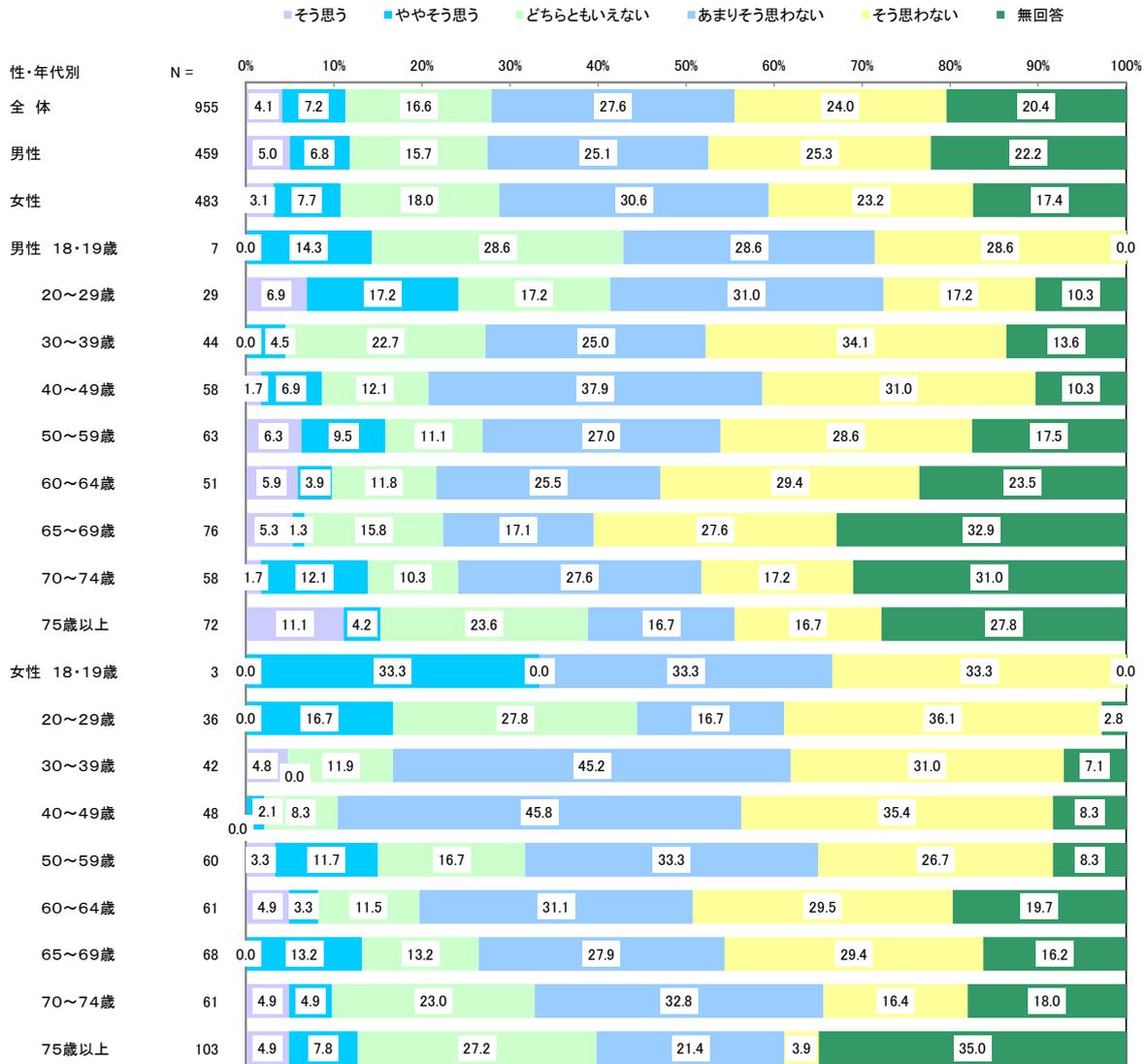


N = 955

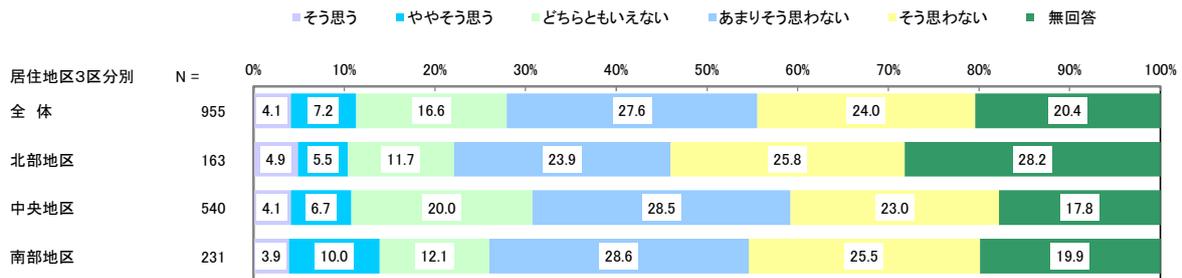
%

《属性別》

● 性・年代別



●地区別



現在の日本が安心して妊娠・出産できるような社会になっているか聞いたところ、「そう思わない」と答えた人が24.0%、「あまりそう思わない」と答えた人が27.6%で、これらを合わせると51.6%です。半数の人が安心して妊娠・出産できない回答しています。

性別では、「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計（「否定派」）は女性で53.8%、男性で50.4%となっており、男女ともに半数を超えています。

性・年代別では、40～49歳の女性で「否定派」が81.2%と一番多くなっており、次いで30～39歳の女性が76.2%、40～49歳の男性が68.9%と続いています。

地区別では、南部地区が「否定派」が54.1%と最も高く、次いで中央地区が51.5%、北部地区が49.7%となっています。

「そう思う」と「ややそう思う」の合計（「肯定派」）は11.3%となっており、性別では男性で11.8%、女性で10.8%となっており、男女ともに1割程度となっています。

性・年代別では、20～29歳の男性で「肯定派」が24.1%とやや高くなっています。

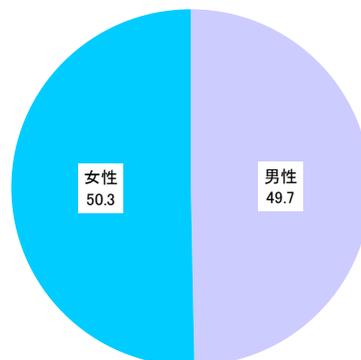
地区別では、南部地区で「肯定派」が13.9%とやや高くなっています。

Ⅲ. 進路希望に関する意識調査

1. 調査回答者の属性

(1) 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	75	49.7%
(2) 女性	76	50.3%
計	151	100.0%

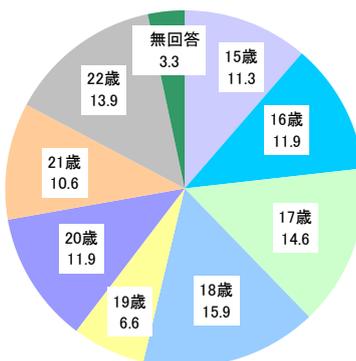


N = 151

%

(2) 年齢

	回答数	構成比
(1) 15歳	17	11.3%
(2) 16歳	18	11.9%
(3) 17歳	22	14.6%
(4) 18歳	24	15.9%
(5) 19歳	10	6.6%
(6) 20歳	18	11.9%
(7) 21歳	16	10.6%
(8) 22歳	21	13.9%
無回答	5	3.3%
計	151	100.0%

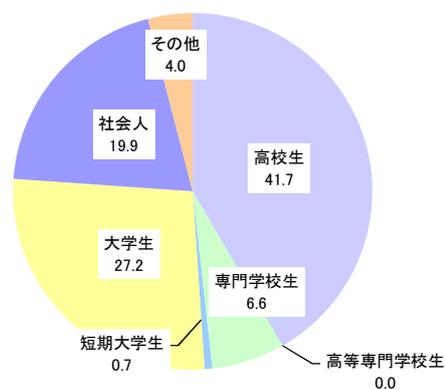


N = 151

%

(3) 就学状況

	回答数	構成比
(1) 高校生	63	41.7%
(2) 高等専門学校生	0	0.0%
(3) 専門学校生	10	6.6%
(4) 短期大学生	1	0.7%
(5) 大学生	41	27.2%
(6) 社会人	30	19.9%
(7) その他	6	4.0%
計	151	100.0%

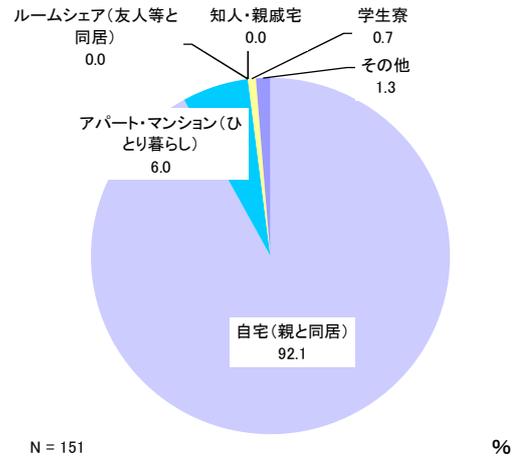


N = 151

%

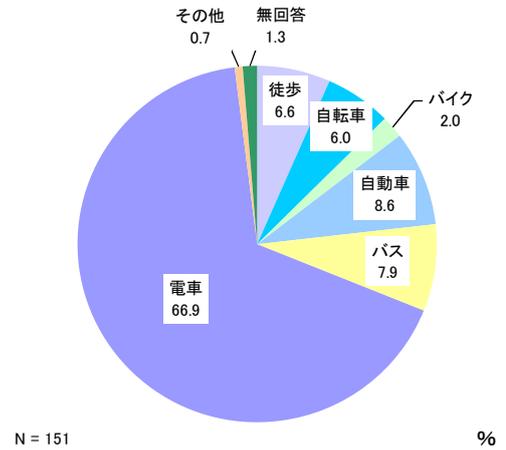
(4) 住居形態

	回答数	構成比
(1) 自宅(親と同居)	139	92.1%
(2) アパート・マンション (ひとり暮らし)	9	6.0%
(3) ルームシェア (友人等と同居)	0	0.0%
(4) 知人・親戚宅	0	0.0%
(5) 学生寮	1	0.7%
(6) その他	2	1.3%
計	151	100.0%



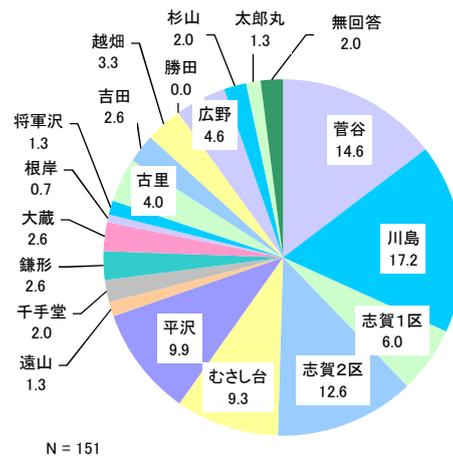
(5) 通勤・通学手段

	回答数	構成比
(1) 徒歩	10	6.6%
(2) 自転車	9	6.0%
(3) バイク	3	2.0%
(4) 自動車	13	8.6%
(5) バス	12	7.9%
(6) 電車	101	66.9%
(7) その他	1	0.7%
無回答	2	1.3%
計	151	100.0%



(6) 居住地区

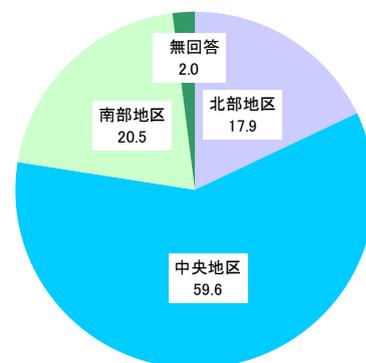
	回答数	構成比
(1) 菅谷	22	14.6%
(2) 川島	26	17.2%
(3) 志賀1区	9	6.0%
(4) 志賀2区	19	12.6%
(5) むさし台	14	9.3%
(6) 平沢	15	9.9%
(7) 遠山	2	1.3%
(8) 千手堂	3	2.0%
(9) 鎌形	4	2.6%
(10) 大蔵	4	2.6%
(11) 根岸	1	0.7%
(12) 将軍沢	2	1.3%
(13) 古里	6	4.0%
(14) 吉田	4	2.6%
(15) 越畑	5	3.3%
(16) 勝田	0	0.0%
(17) 広野	7	4.6%
(18) 杉山	3	2.0%
(19) 太郎丸	2	1.3%
無回答	3	2.0%
計	151	100.0%



%

居住地区3区分別

	回答数	構成比
(1) 北部地区	27	17.9%
(2) 中央地区	90	59.6%
(3) 南部地区	31	20.5%
無回答	3	2.0%
計	151	100.0%



N = 151

%

2. 回答結果の分析

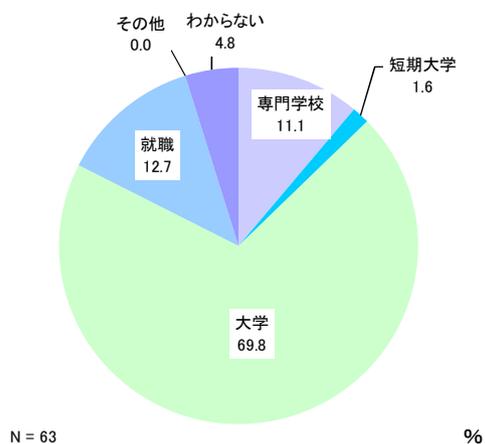
(1) 進路希望について

【1】 卒業後の希望進路

問7～13は、高校生、高等専門学校生の方にうかがいます。

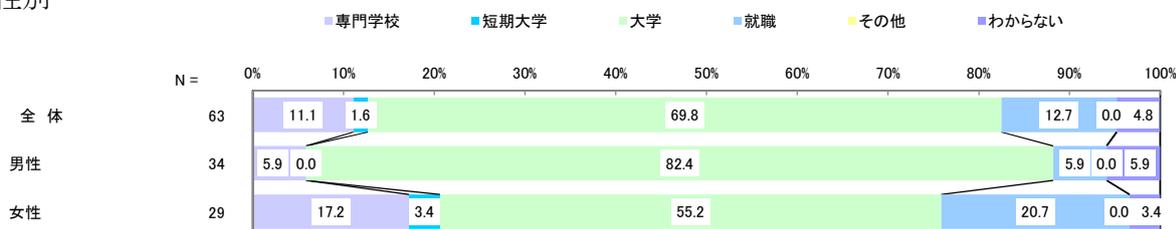
問7 高校、高等専門学校卒業後の希望進路をご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 専門学校	7	11.1%
(2) 短期大学	1	1.6%
(3) 大学	44	69.8%
(4) 就職	8	12.7%
(5) その他	0	0.0%
(6) わからない	3	4.8%
計	63	100.0%



《属性別》

●性別



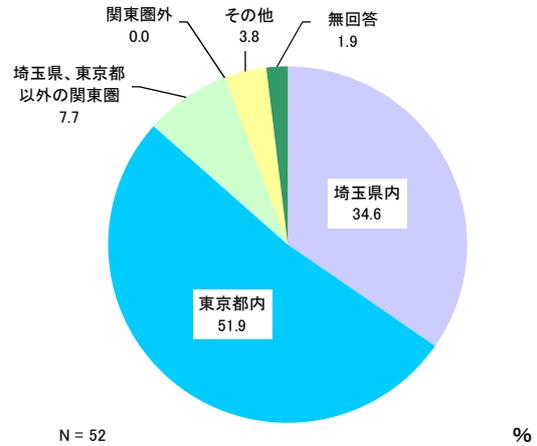
高校生、高等専門学校生の方に、卒業後の希望進路を聞いたところ、「大学」が69.8%、「専門学校」が11.1%、「短期大学」が1.6%で、合わせた「進学希望」は82.5%となっています。一方、「就職」が12.7%となっています。

性別では、「進学希望」は男性で88.3%、女性で75.8%と、男性の方が上回っています。また、「就職」は女性で20.7%、男性で5.9%となっています。

【2】 希望進路先の所在地

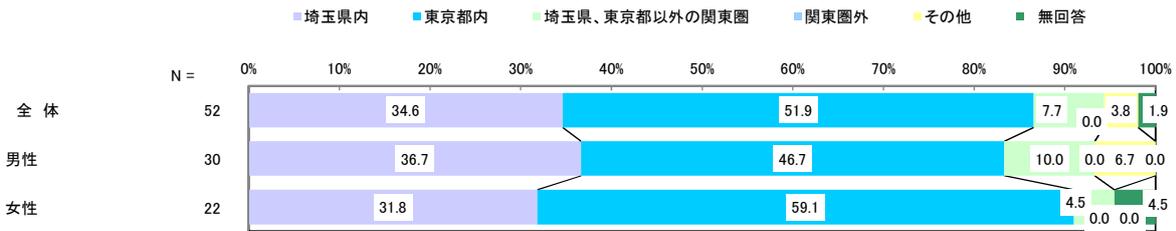
問8 希望進路先の所在地をご回答ください。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 埼玉県内	18	34.6%
(2) 東京都内	27	51.9%
(3) 埼玉県、東京都以外の関東圏	4	7.7%
(4) 関東圏外	0	0.0%
(5) その他	2	3.8%
無回答	1	1.9%
計	52	100.0%



《属性別》

●性別



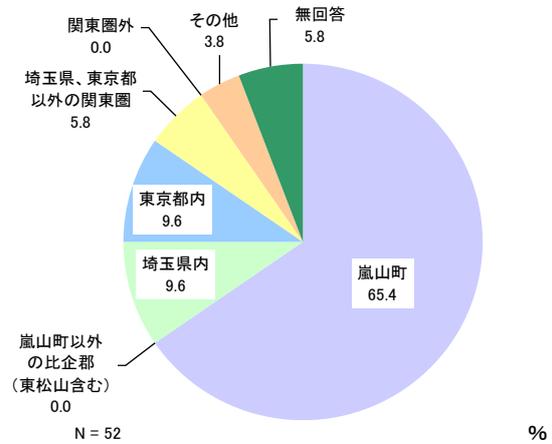
問7で進学希望と答えた方に、希望進路先の所在地を聞いたところ、「東京都内」が51.9%、「埼玉県内」が34.6%、「埼玉県、東京都以外の関東圏」が7.7%となっています。

性別では、「東京都内」は女性で59.1%、男性で46.7%と、女性の方が上回っています。また、「埼玉県内」は男性で36.7%、女性で31.8%となっています。

【3】 進学時の居住予定地

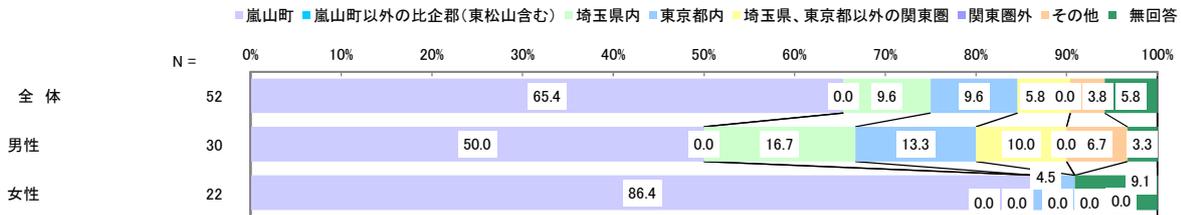
問9 進学した場合、どこに住む予定ですか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 嵐山町	34	65.4%
(2) 嵐山町以外の比企郡 (東松山含む)	0	0.0%
(3) 埼玉県内	5	9.6%
(4) 東京都内	5	9.6%
(5) 埼玉県、東京都以外の 関東圏	3	5.8%
(6) 関東圏外	0	0.0%
(7) その他	2	3.8%
無回答	3	5.8%
計	52	100.0%



《属性別》

●性別



問7で進学希望と答えた方に、進学時の居住予定地を聞いたところ、「嵐山町」が65.4%、「埼玉県内」と「東京都内」がともに9.6%、「埼玉県、東京都以外の関東圏」が5.8%となっています。

性別では、「嵐山町」は女性で86.4%、男性で50.0%と、女性の方が上回っています。また、男性で「埼玉県内」が16.7%、「東京都内」が13.3%、「埼玉県、東京都以外の関東圏」が10.0%となっています。

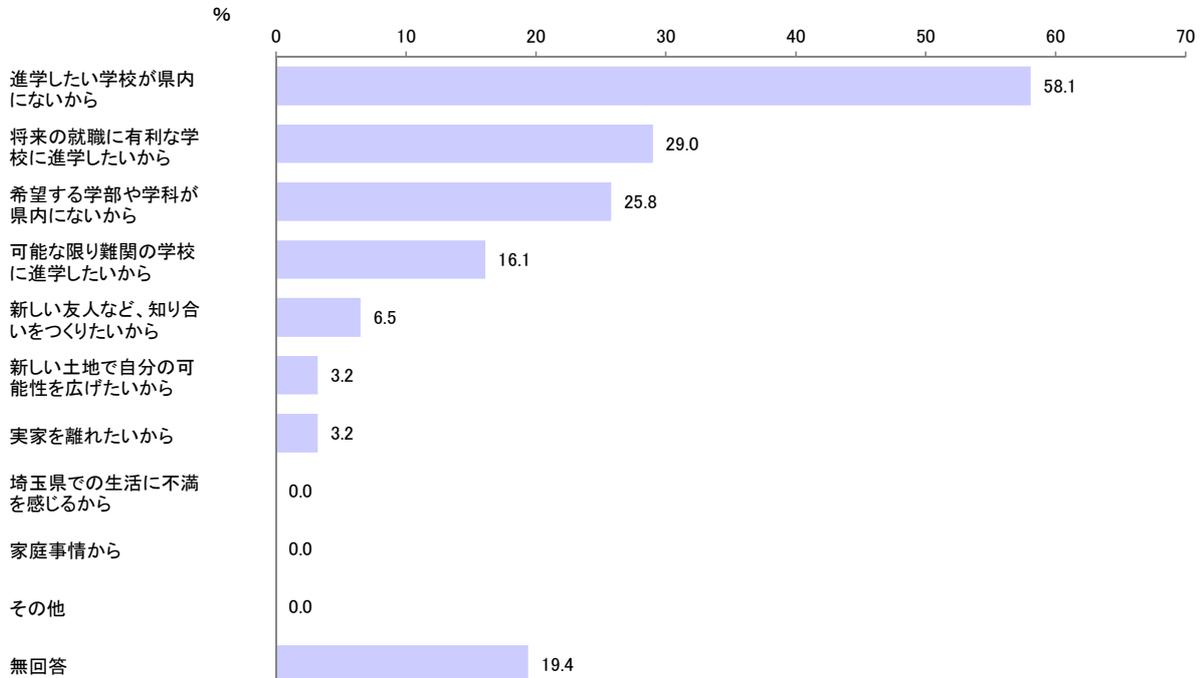
【4】 埼玉県外への進学希望理由

問 10 埼玉県外に進学したい理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

n = 31

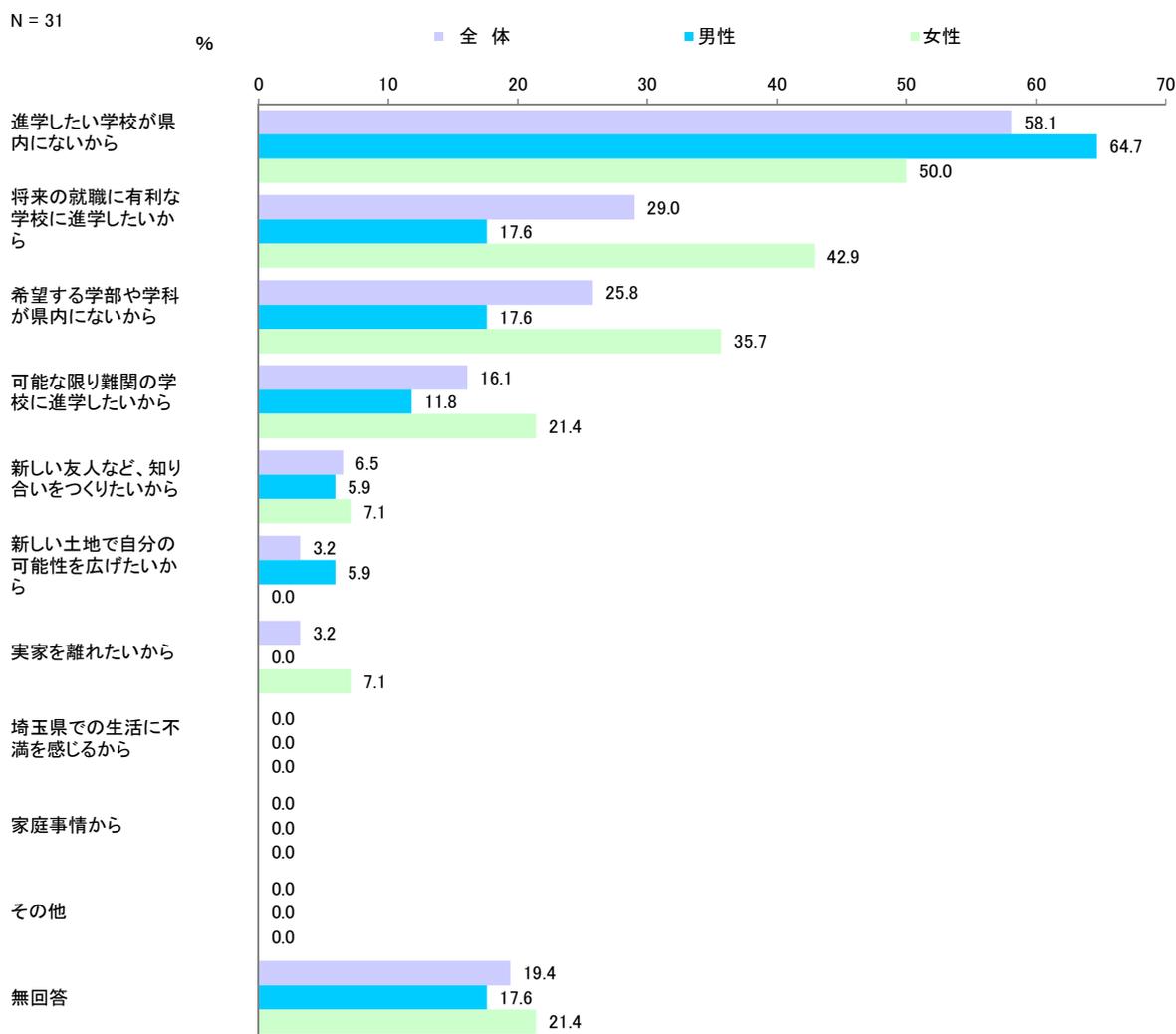
	回答数	構成比
(1) 進学したい学校が県内にないから	18	58.1%
(2) 将来の就職に有利な学校に進学したいから	9	29.0%
(3) 希望する学部や学科が県内にないから	8	25.8%
(4) 可能な限り難関の学校に進学したいから	5	16.1%
(5) 新しい友人など、知り合いをつくりたいから	2	6.5%
(6) 新しい土地で自分の可能性を広げたいから	1	3.2%
(7) 実家を離れたいから	1	3.2%
(8) 埼玉県での生活に不満を感じるから	0	0.0%
(9) 家庭事情から	0	0.0%
(10) その他	0	0.0%
無回答	6	19.4%
計	50	100.0%

N = 31



《属性別》

●性別



問8で進学先として埼玉県外を回答した方に、その理由を聞いたところ、「進学したい学校が県内にないから」が58.1%で最も高くなっています。次いで「将来の就職に有利な学校に進学したいから」が29.0%、「希望する学部や学科が県内にないから」が25.8%、「可能な限り難関の学校に進学したいから」が16.1%となっています。

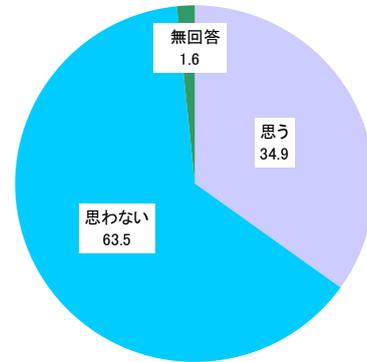
性別では、「進学したい学校が県内にないから」が男性で64.7%、女性で50.0%と男女ともに最も高くなっています。女性は「将来の就職に有利な学校に進学したいから」が42.9%、「希望する学部や学科が県内にないから」が35.7%、「可能な限り難関の学校に進学したいから」が21.4%で、男性よりも高くなっています。

【5】 卒業後の嵐山町内居住意思

問 11 大学などを卒業したあとに嵐山町内に居住して、就職したいと思いますか。(○は1つ)

※就職先は問いません

	回答数	構成比
(1) 思う	22	34.9%
(2) 思わない	40	63.5%
無回答	1	1.6%
計	63	100.0%

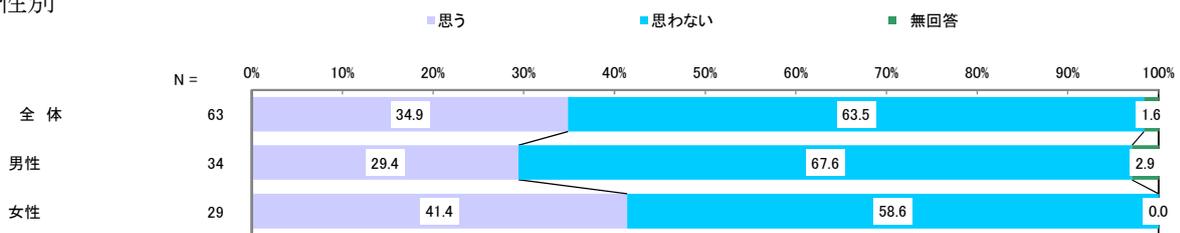


N = 63

%

《属性別》

●性別



高校生、高等専門学校生の方に、卒業後に嵐山町内に居住して就職したいか聞いたところ、「思わない」が63.5%、「思う」が34.9%となっています。

性別では、「思わない」は男性で67.6%、女性で58.6%と、男性の方が上回っています。また、「思う」は女性で41.4%、男性で29.4%となっています。

【6】 卒業後の嵐山町内居住・就職を希望する理由

(問 11 で「思う」を選択した方にうかがいます。)

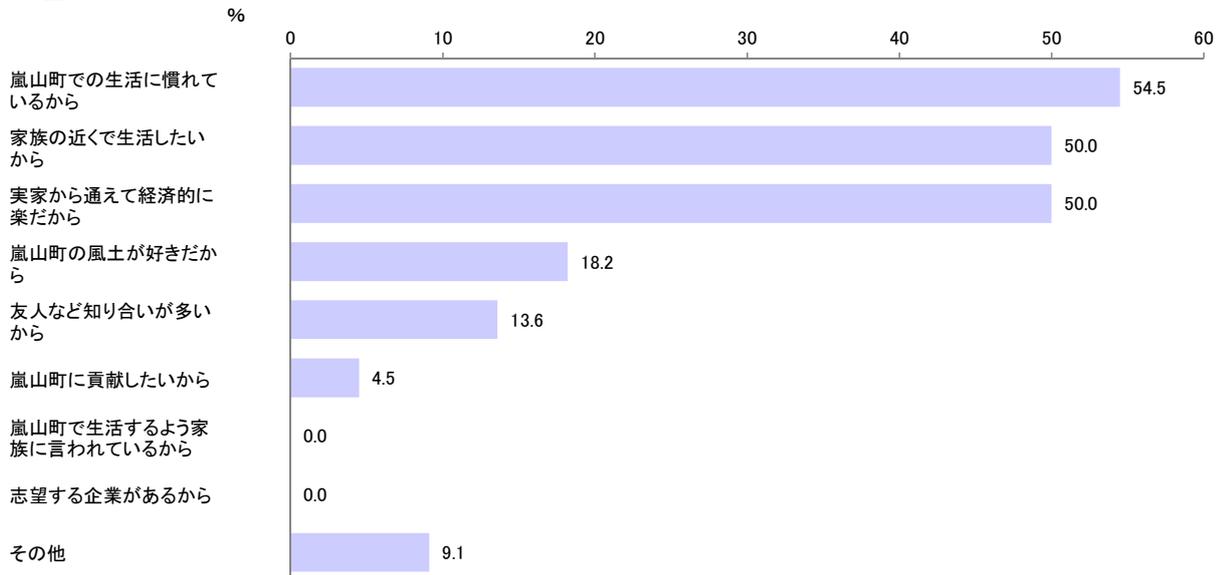
問 12 大学などを卒業したあとに嵐山町内に居住して、就職したいと思う理由をご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

n = 22

	回答数	構成比
(1) 嵐山町での生活に慣れているから	12	54.5%
(2) 家族の近くで生活したいから	11	50.0%
(3) 実家から通えて経済的に楽だから	11	50.0%
(4) 嵐山町の風土が好きだから	4	18.2%
(5) 友人など知り合いが多いから	3	13.6%
(6) 嵐山町に貢献したいから	1	4.5%
(7) 嵐山町で生活するよう家族に言われているから	0	0.0%
(8) 志望する企業があるから	0	0.0%
(9) その他	2	9.1%
計	44	100.0%

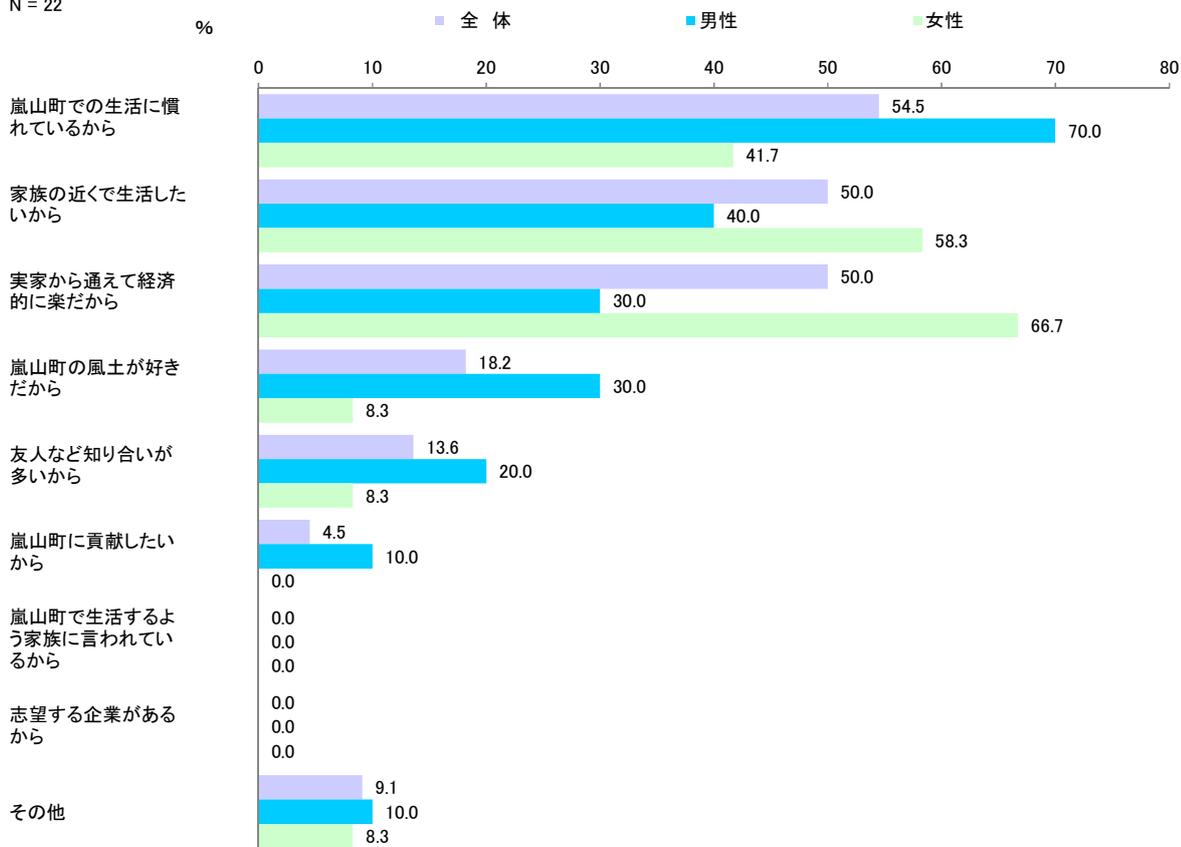
N = 22



《属性別》

●性別

N = 22



問 11 で卒業後に嵐山町内に居住して就職したいと思うと回答した方に、その理由を聞いたところ、「嵐山町での生活に慣れているから」が 54.5%で最も高くなっています。次いで「家族の近くで生活したいから」と「実家から通えて経済的に楽だから」がともに 50.0%、「嵐山町の風土が好きだから」が 18.2%、「友人など知り合いが多いから」が 13.6%となっています。

性別では、「嵐山町での生活に慣れているから」が男性で 70.0%、女性で 41.7%と、男性の方が女性を上回っています。また、男性では「嵐山町の風土が好きだから」が 30.0%と女性の 8.3%よりも高くなっています。女性は「家族の近くで生活したいから」が 58.3%、「実家から通えて経済的に楽だから」が 66.7%で、男性を大きく上回っています。

【7】 卒業後の嵐山町内居住・就職を希望しない理由

(問12で「思わない」を選択した方にかがいます。)

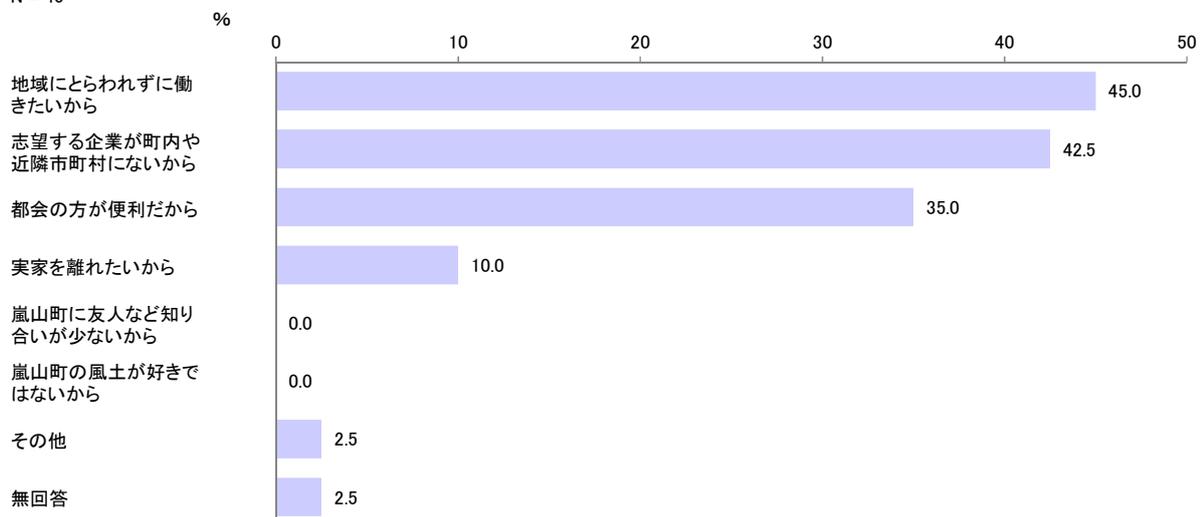
問13 大学などを卒業したあとに嵐山町内に居住して、就職したいと思わない理由をご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

n = 40

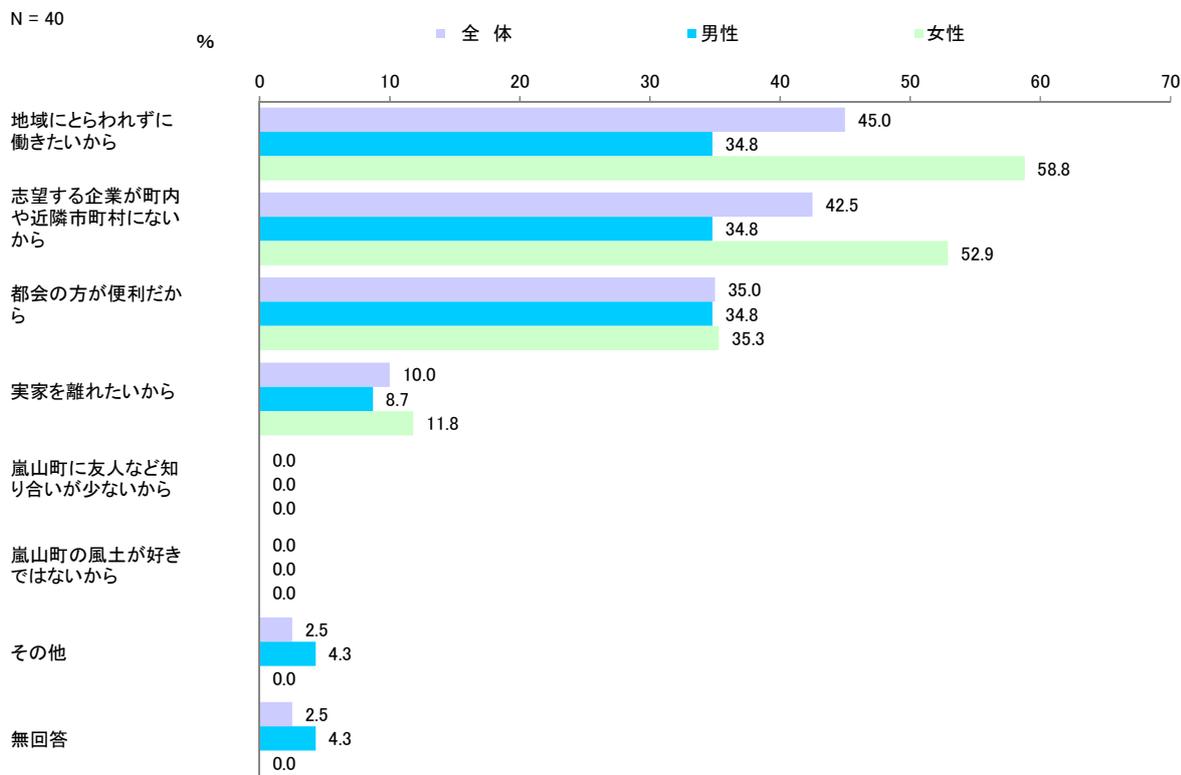
	回答数	構成比
(1) 地域にとらわれずに働きたいから	18	45.0%
(2) 志望する企業が町内や近隣市町村にないから	17	42.5%
(3) 都会の方が便利だから	14	35.0%
(4) 実家を離れたいから	4	10.0%
(5) 嵐山町に友人など知り合いが少ないから	0	0.0%
(6) 嵐山町の風土が好きではないから	0	0.0%
(7) その他	1	2.5%
無回答	1	2.5%
計	55	100.0%

N = 40



《属性別》

●性別



問 11 で卒業後に嵐山町内に居住して就職したいと思わないと回答した方に、その理由を聞いたところ、「地域にとらわれずに働きたいから」が 45.0%で最も高くなっています。次いで「志望する企業が町内や近隣市町村にないから」が 42.5%、「都会の方が便利だから」が 35.0%、「実家を離れたいから」が 10.0%となっています。

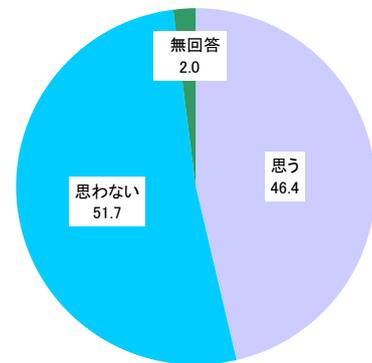
性別では、「地域にとらわれずに働きたいから」が女性で 58.8%、男性で 34.8%と、女性の方が男性を上回っています。また、女性では「志望する企業が町内や近隣市町村にないから」が 52.9%と男性の 34.8%よりも高くなっています。

(2) 嵐山町内での居住について

【1】 将来の嵐山町内居住意思

問 14 将来的に嵐山町内に居住したいと思いますか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 思う	70	46.4%
(2) 思わない	78	51.7%
無回答	3	2.0%
計	151	100.0%

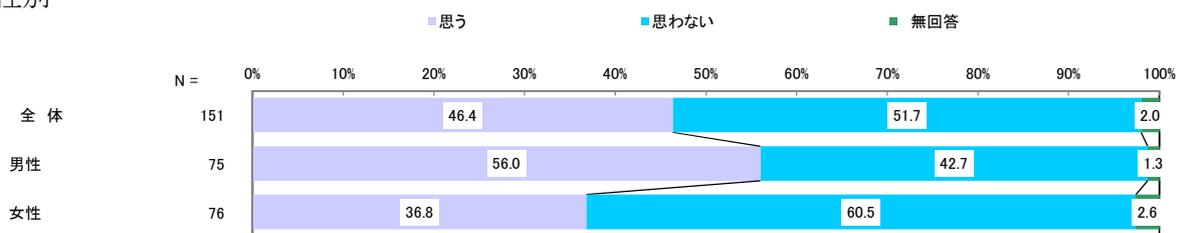


N = 151

%

《属性別》

●性別



すべての方に、将来的に嵐山町内に居住したいか聞いたところ、「思わない」が51.7%、「思う」が46.4%となっています。

性別では、「思わない」は女性で60.5%、男性で42.7%と、女性の方が上回っています。また、「思う」は男性で56.0%、女性で36.8%となっています。

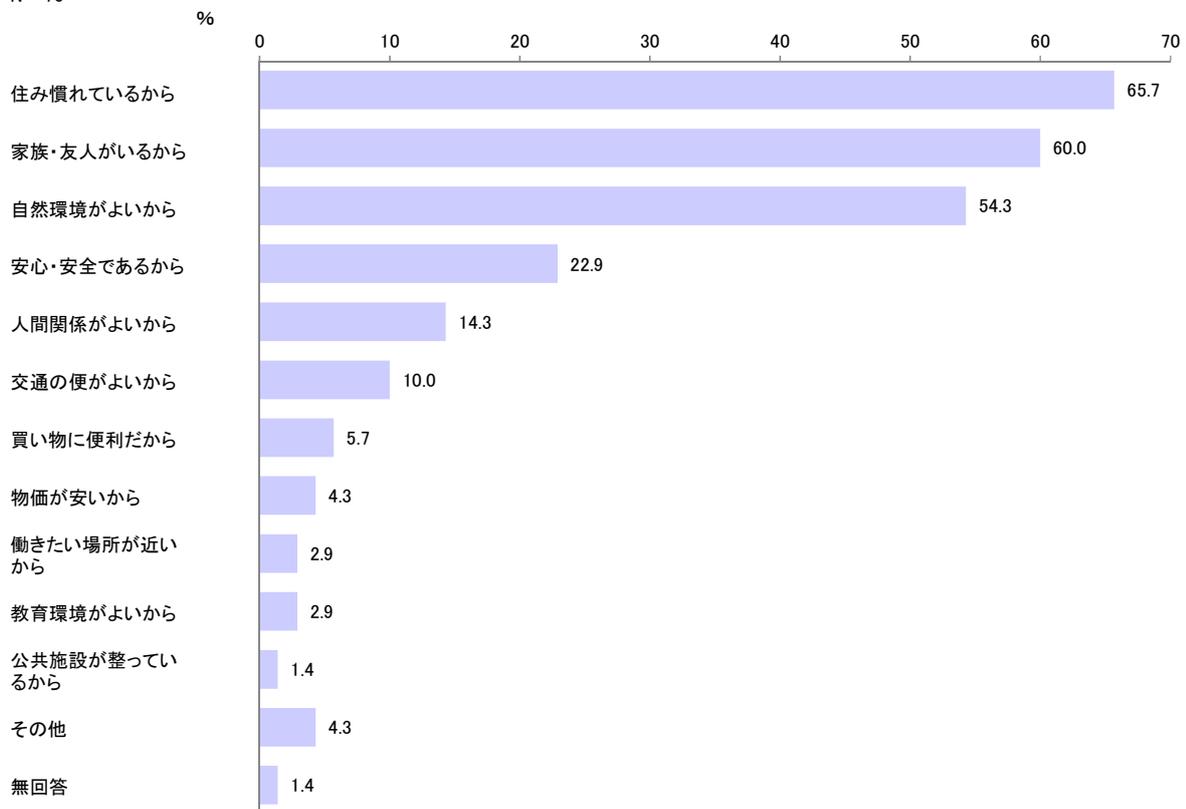
【2】 将来的に嵐山町内居住を希望する理由

問 15 将来的に嵐山町内に居住したいと思う理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

n = 70

	回答数	構成比
(1) 住み慣れているから	46	65.7%
(2) 家族・友人がいるから	42	60.0%
(3) 自然環境がよいから	38	54.3%
(4) 安心・安全であるから	16	22.9%
(5) 人間関係がよいから	10	14.3%
(6) 交通の便がよいから	7	10.0%
(7) 買い物に便利だから	4	5.7%
(8) 物価が安いから	3	4.3%
(9) 働きたい場所が近いから	2	2.9%
(10) 教育環境がよいから	2	2.9%
(11) 公共施設が整っているから	1	1.4%
(12) その他	3	4.3%
無回答	1	1.4%
計	175	100.0%

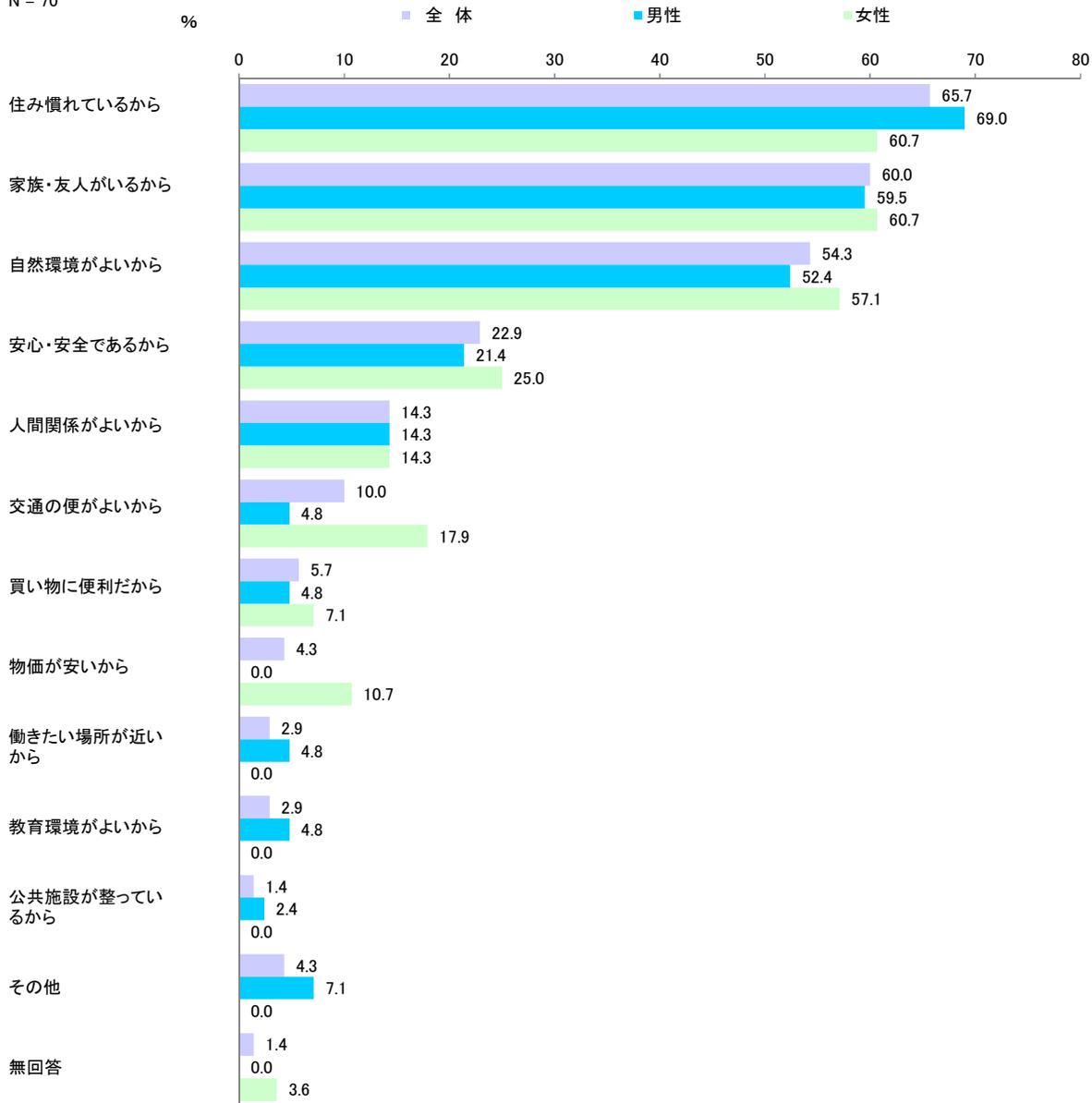
N = 70



《属性別》

●性別

N = 70



問 14 で嵐山町内に将来的に居住したいと思うと回答した方に、その理由を聞いたところ、「住み慣れているから」が 65.7%で最も高くなっています。次いで「家族・友人がいるから」が 60.0%、「自然環境がよいから」が 54.3%、「安心・安全であるから」が 22.9%、「人間関係がよいから」が 14.3%、「交通の便がよいから」が 10.0%となっています。

性別では、「住み慣れているから」が男性で 69.0%、女性で 60.7%と、男性の方が女性をやや上回っています。女性は「自然環境がよいから」が 57.1%で、男性の 52.4%をやや上回っています。また、「交通の便がよいから」が女性で 17.9%と男性を上回っています。

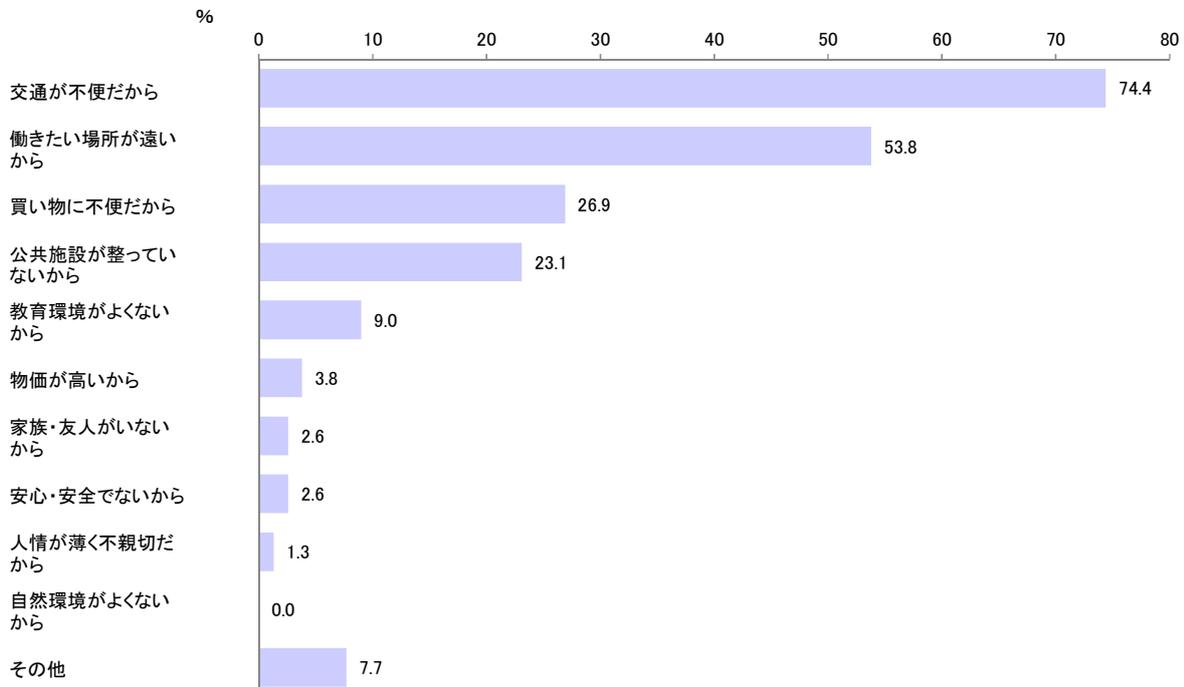
【3】 将来的に嵐山町内居住を希望しない理由

問 16 将来的に嵐山町内に居住したいと思わない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

n = 78

	回答数	構成比
(1) 交通が不便だから	58	74.4%
(2) 働きたい場所が遠いから	42	53.8%
(3) 買い物に不便だから	21	26.9%
(4) 公共施設が整っていないから	18	23.1%
(5) 教育環境がよくないから	7	9.0%
(6) 物価が高いから	3	3.8%
(7) 家族・友人がいないから	2	2.6%
(8) 安心・安全でないから	2	2.6%
(9) 人情が薄く不親切だから	1	1.3%
(10) 自然環境がよくないから	0	0.0%
(11) その他	6	7.7%
計	160	100.0%

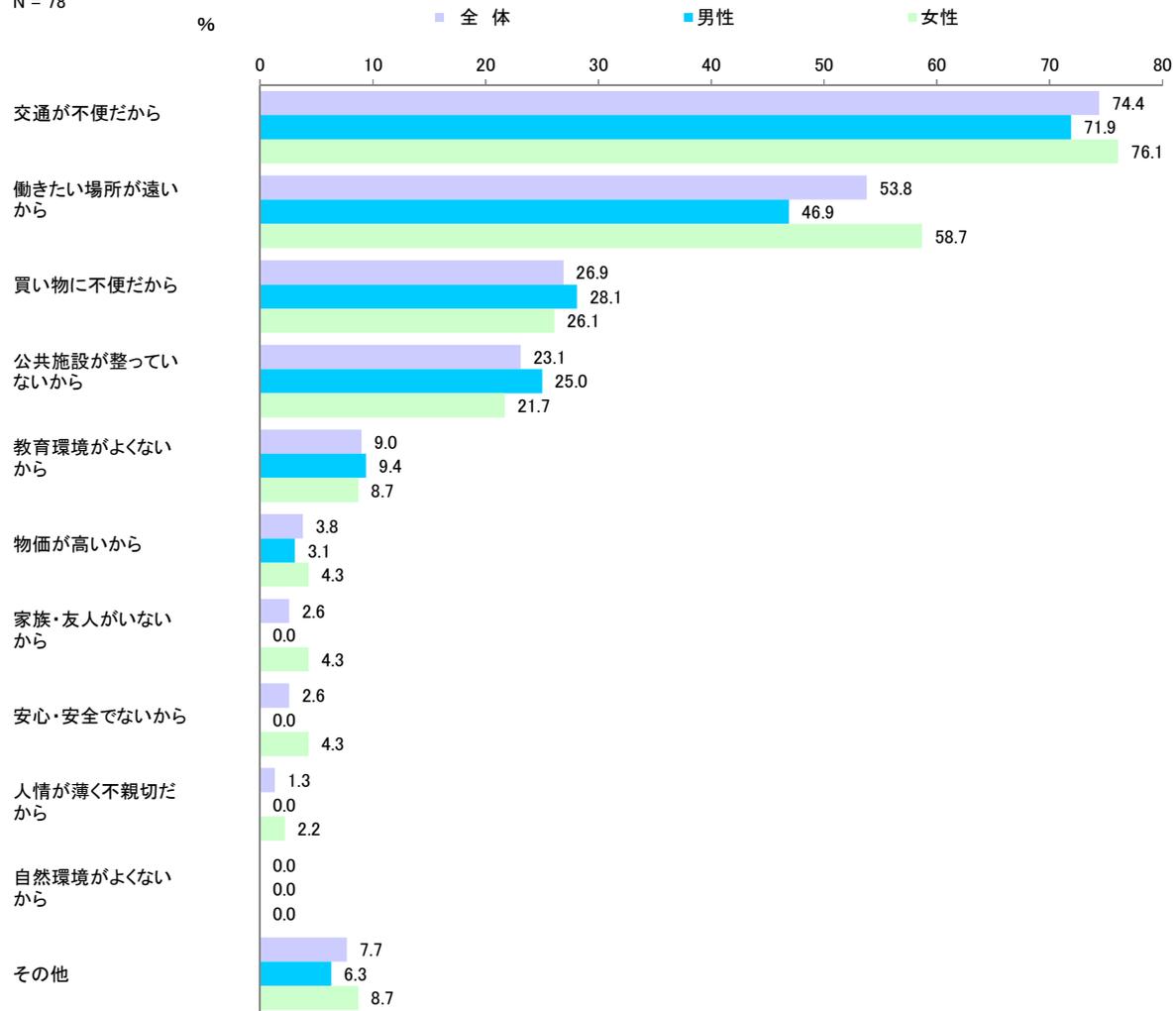
N = 78



《属性別》

●性別

N = 78



問 14 で嵐山町内に将来的に居住したいと思わないと回答した方に、その理由を聞いたところ、「交通が不便だから」が 74.4%で最も高くなっています。次いで「働きたい場所が遠いから」が 53.8%、「買い物に不便だから」が 26.9%、「公共施設が整っていないから」が 23.1%となっています。

性別では、「交通が不便だから」が女性で 76.1%、男性で 71.9%と、女性の方が男性をやや上回っています。また、「働きたい場所が遠いから」が女性で 58.7%と男性を上回っています。

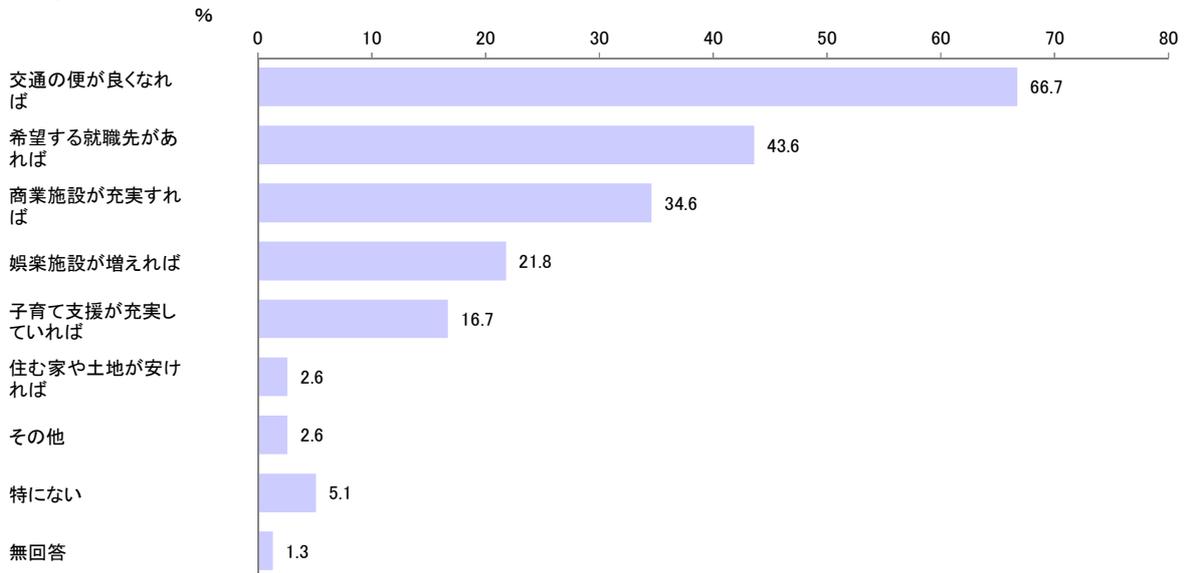
【4】 嵐山町に居住するための条件

問 17 どのようになれば嵐山町で暮らしたいと思いますか。(〇は3つまで)

n = 78

	回答数	構成比
(1) 交通の便が良くなれば	52	66.7%
(2) 希望する就職先があれば	34	43.6%
(3) 商業施設が充実すれば	27	34.6%
(4) 娯楽施設が増えれば	17	21.8%
(5) 子育て支援が充実していれば	13	16.7%
(6) 住む家や土地が安ければ	2	2.6%
(7) その他	2	2.6%
(8) 特にない	4	5.1%
無回答	1	1.3%
計	152	100.0%

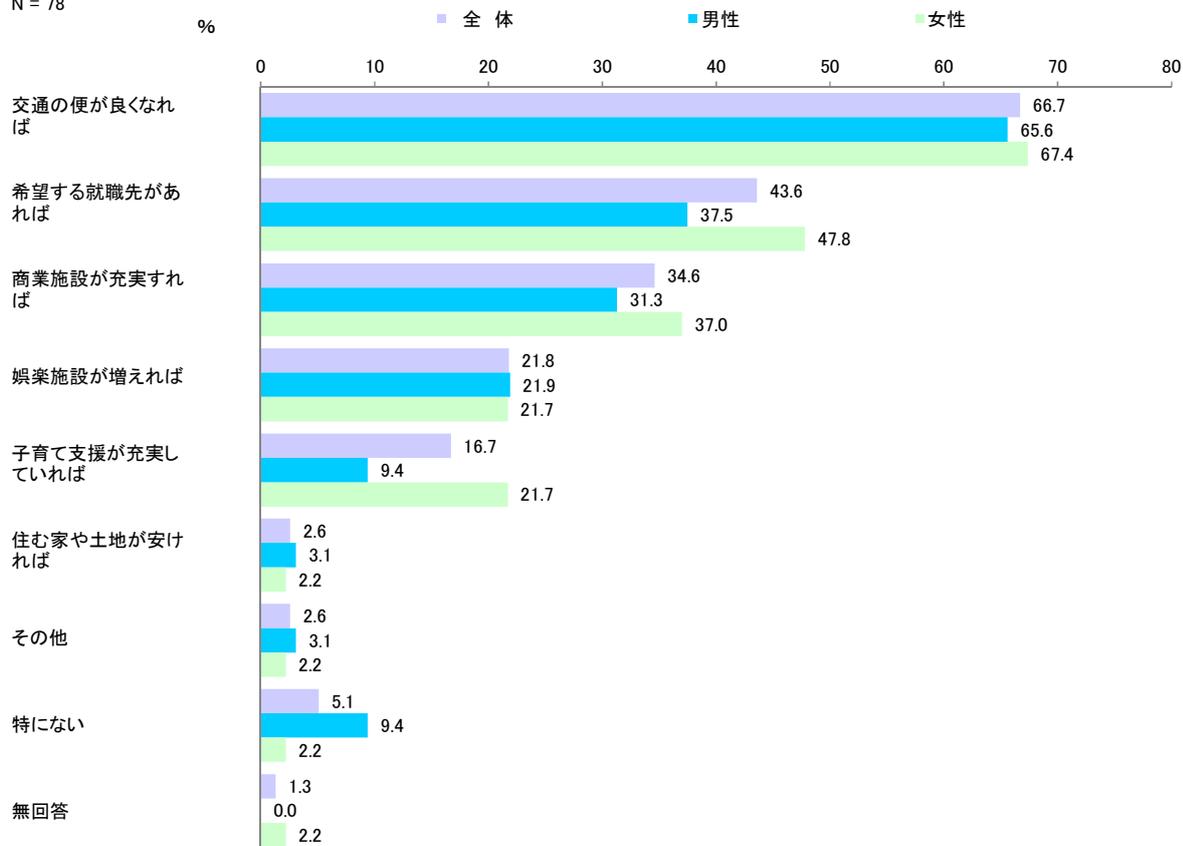
N = 78



《属性別》

●性別

N = 78



問 14 で嵐山町内に将来的に居住したいと思わないと回答した方に、嵐山町に居住するための条件を聞いたところ、「交通の便が良くなれば」が 66.7%で最も高くなっています。次いで「希望する就職先があれば」が 43.6%、「商業施設が充実すれば」が 34.6%、「娯楽施設が増えれば」が 21.8%、「子育て支援が充実していれば」が 16.7%となっています。

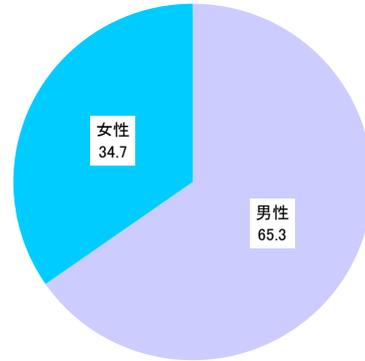
性別では、「交通の便が良くなれば」が女性で 67.4%、男性で 65.6%と男女ともに最も高くなっています。また、女性は「希望する就職先があれば」が 47.8%、「子育て支援が充実していれば」が 21.7%で、男性よりも高くなっています。

IV. 町外居住者に対するアンケート調査（Web 調査）

1. 調査回答者の属性

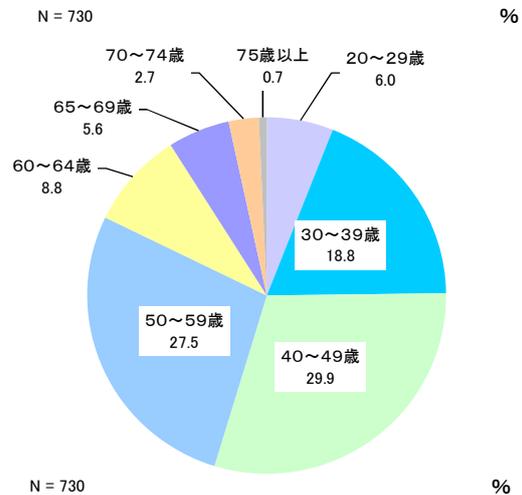
(1) 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	477	65.3%
(2) 女性	253	34.7%
計	730	100.0%



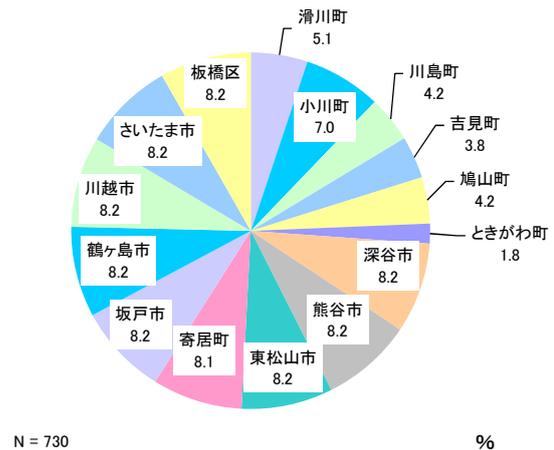
(2) 年齢別

	回答数	構成比
(1) 20～29歳	44	6.0%
(2) 30～39歳	137	18.8%
(3) 40～49歳	218	29.9%
(4) 50～59歳	201	27.5%
(5) 60～64歳	64	8.8%
(6) 65～69歳	41	5.6%
(7) 70～74歳	20	2.7%
(8) 75歳以上	5	0.7%
計	730	100.0%



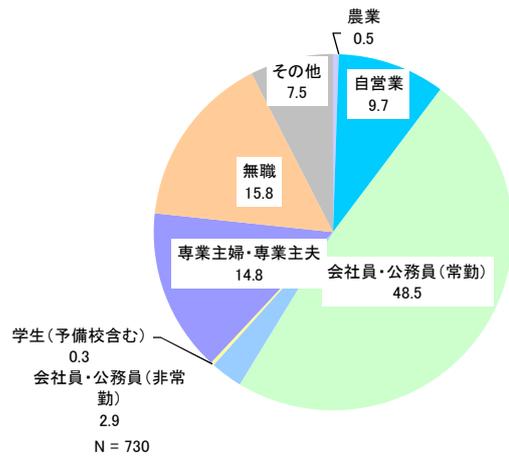
(3) 居住地

	回答数	構成比
(1) 滑川町	37	5.1%
(2) 小川町	51	7.0%
(3) 川島町	31	4.2%
(4) 吉見町	28	3.8%
(5) 鳩山町	31	4.2%
(6) ときがわ町	13	1.8%
(7) 深谷市	60	8.2%
(8) 熊谷市	60	8.2%
(9) 東松山市	60	8.2%
(10) 寄居町	59	8.1%
(11) 坂戸市	60	8.2%
(12) 鶴ヶ島市	60	8.2%
(13) 川越市	60	8.2%
(14) さいたま市	60	8.2%
(15) 板橋区	60	8.2%
計	730	100.0%



(4) 職業

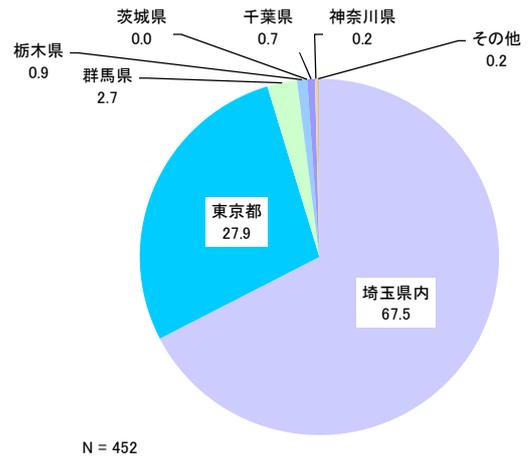
	回答数	構成比
(1) 農業	4	0.5%
(2) 自営業	71	9.7%
(3) 会社員・公務員(常勤)	354	48.5%
(4) 会社員・公務員(非常勤)	21	2.9%
(5) 学生(予備校含む)	2	0.3%
(6) 専業主婦・専業主夫	108	14.8%
(7) 無職	115	15.8%
(8) その他	55	7.5%
計	730	100.0%



%

(5) 通勤・通学先

	回答数	構成比
(1) 埼玉県内	305	67.5%
(2) 東京都	126	27.9%
(3) 群馬県	12	2.7%
(4) 栃木県	4	0.9%
(5) 茨城県	0	0.0%
(6) 千葉県	3	0.7%
(7) 神奈川県	1	0.2%
(8) その他	1	0.2%
計	452	100.0%



%

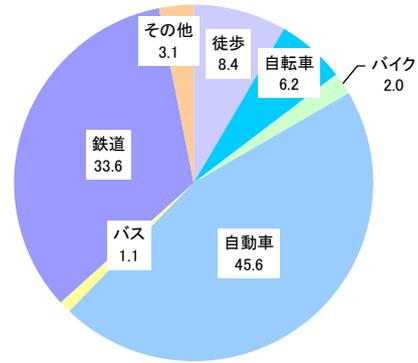
(6) 通勤・通学先（埼玉県内市町村）

	回答数	構成比
(1) 上尾市	2	0.7%
(2) 朝霞市	6	2.0%
(3) 伊奈町	0	0.0%
(4) 入間市	0	0.0%
(5) 小鹿野町	0	0.0%
(6) 小川町	14	4.6%
(7) 桶川市	0	0.0%
(8) 越生町	0	0.0%
(9) 春日部市	0	0.0%
(10) 加須市	0	0.0%
(11) 神川町	1	0.3%
(12) 上里町	1	0.3%
(13) 川口市	2	0.7%
(14) 川越市	35	11.5%
(15) 川島町	12	3.9%
(16) 北本市	1	0.3%
(17) 行田市	4	1.3%
(18) 久喜市	0	0.0%
(19) 熊谷市	28	9.2%
(20) 鴻巣市	1	0.3%
(21) 越谷市	0	0.0%
(22) さいたま市	32	10.5%
(23) 坂戸市	19	6.2%
(24) 幸手市	0	0.0%
(25) 狭山市	2	0.7%
(26) 志木市	2	0.7%
(27) 白岡市	0	0.0%
(28) 杉戸町	0	0.0%
(29) 草加市	0	0.0%
(30) 秩父市	0	0.0%
(31) 鶴ヶ島市	15	4.9%
(32) ときがわ町	7	2.3%

	回答数	構成比
(33) 所沢市	1	0.3%
(34) 戸田市	1	0.3%
(35) 長瀬町	1	0.3%
(36) 滑川町	13	4.3%
(37) 新座市	1	0.3%
(38) 蓮田市	1	0.3%
(39) 鳩山町	4	1.3%
(40) 羽生市	1	0.3%
(41) 飯能市	1	0.3%
(42) 東秩父村	0	0.0%
(43) 東松山市	24	7.9%
(44) 日高市	2	0.7%
(45) 深谷市	27	8.9%
(46) 富士見市	1	0.3%
(47) ふじみ野市	1	0.3%
(48) 本庄市	2	0.7%
(49) 松伏町	0	0.0%
(50) 三郷市	0	0.0%
(51) 美里町	1	0.3%
(52) 皆野町	1	0.3%
(53) 宮代町	0	0.0%
(54) 三芳町	1	0.3%
(55) 毛呂山町	2	0.7%
(56) 八潮市	0	0.0%
(57) 横瀬町	0	0.0%
(58) 吉川市	0	0.0%
(59) 吉見町	9	3.0%
(60) 寄居町	16	5.2%
(61) 嵐山町	6	2.0%
(62) 和光市	3	1.0%
(63) 蕨市	1	0.3%
計	305	100.0%

(7) 通勤・通学手段

	回答数	構成比
(1) 徒歩	38	8.4%
(2) 自転車	28	6.2%
(3) バイク	9	2.0%
(4) 自動車	206	45.6%
(5) バス	5	1.1%
(6) 鉄道	152	33.6%
(7) その他	14	3.1%
計	452	100.0%

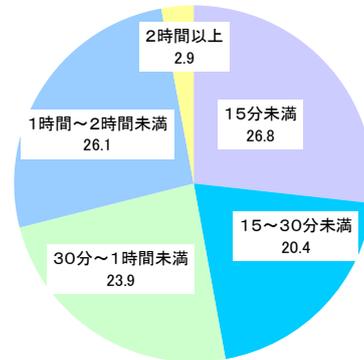


N = 452

%

(8) 通勤・通学時間

	回答数	構成比
(1) 15分未満	121	26.8%
(2) 15～30分未満	92	20.4%
(3) 30分～1時間未満	108	23.9%
(4) 1時間～2時間未満	118	26.1%
(5) 2時間以上	13	2.9%
計	452	100.0%

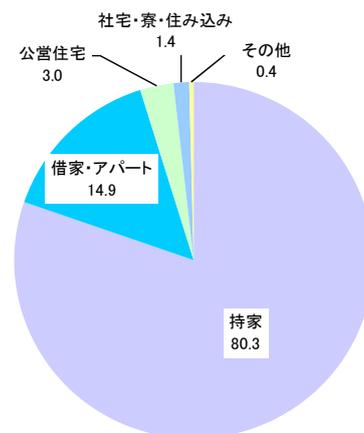


N = 452

%

(9) 住居形態

	回答数	構成比
(1) 持家	586	80.3%
(2) 借家・アパート	109	14.9%
(3) 公営住宅	22	3.0%
(4) 社宅・寮・住み込み	10	1.4%
(5) その他	3	0.4%
計	730	100.0%

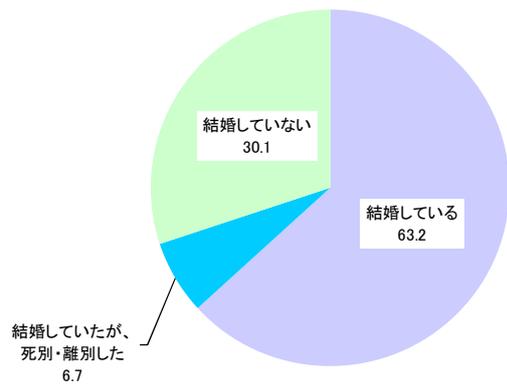


N = 730

%

(10) 婚姻状況

	回答数	構成比
(1) 結婚している	461	63.2%
(2) 結婚していたが、死別・離別した	49	6.7%
(3) 結婚していない	220	30.1%
計	730	100.0%

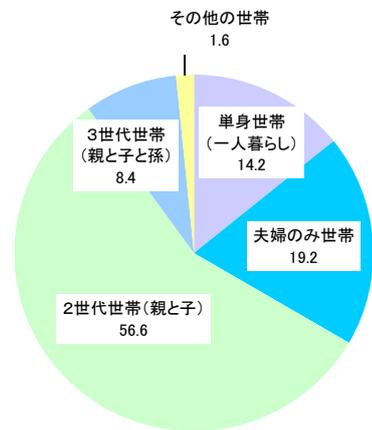


N = 730

%

(11) 世帯構成

	回答数	構成比
(1) 単身世帯(一人暮らし)	104	14.2%
(2) 夫婦のみ世帯	140	19.2%
(3) 2世代世帯(親と子)	413	56.6%
(4) 3世代世帯(親と子と孫)	61	8.4%
(5) その他の世帯	12	1.6%
計	730	100.0%



N = 730

%

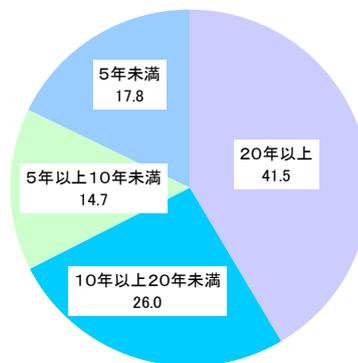
2. 回答結果の分析

(1) 居住観について

【1】 居住年数

問1 あなたは、現在お住まいのところに住んで何年くらいになりますか。(〇は1つ)

	回答数	構成比
(1) 20年以上	303	41.5%
(2) 10年以上20年未満	190	26.0%
(3) 5年以上10年未満	107	14.7%
(4) 5年未満	130	17.8%
計	730	100.0%

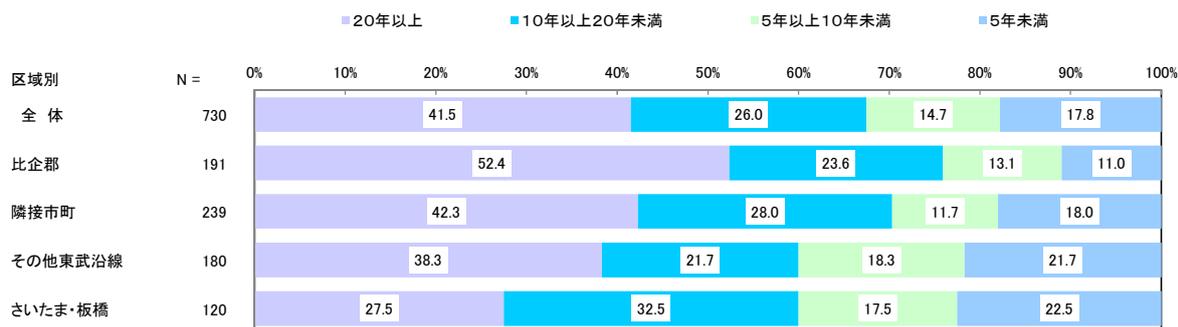


N = 730

%

《属性別》

● 区域別



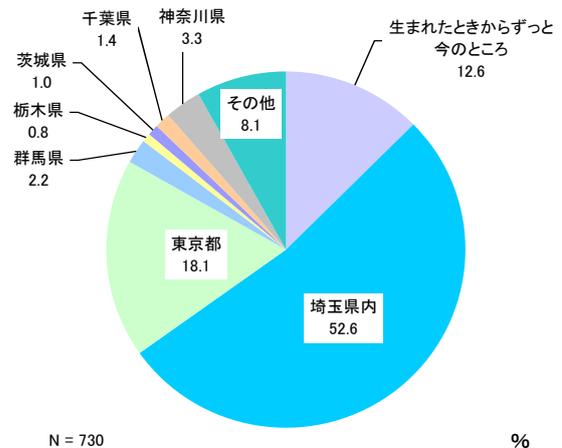
現在の住まいの居住年数を聞いたところ、「20年以上」と答えた人が41.5%、「10年以上20年未満」と答えた方が26.0%、「5年以上10年未満」と答えた人が14.7%、「5年未満」と答えた人が17.8%となっています。

区域別では、比企郡の「20年以上」が52.4%と最も高く、隣接市町が42.3%、その他東武沿線が38.3%となっています。さいたま・板橋では「10年以上20年未満」が32.5%と高くなっています。

【2】 前居住地

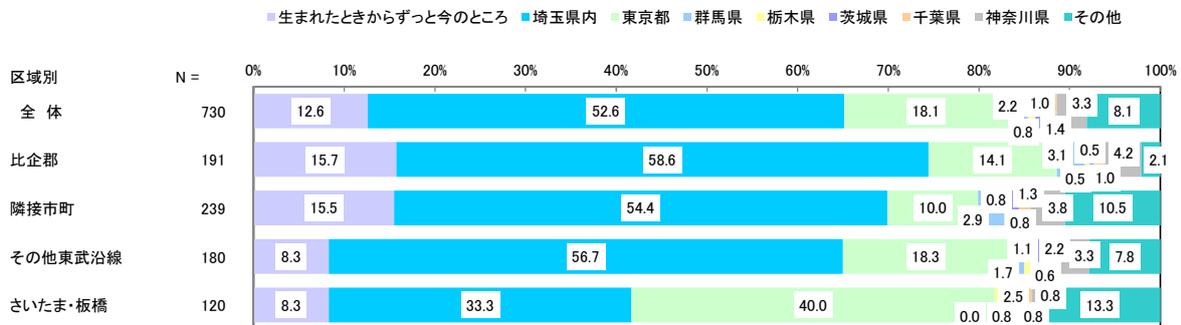
問2 あなたは、現在お住まいのところに住む前は、どちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

	回答数	構成比
(1) 生まれたときからずっと今のところ	92	12.6%
(2) 埼玉県内	384	52.6%
(3) 東京都	132	18.1%
(4) 群馬県	16	2.2%
(5) 栃木県	6	0.8%
(6) 茨城県	7	1.0%
(7) 千葉県	10	1.4%
(8) 神奈川県	24	3.3%
(9) その他	59	8.1%
計	730	100.0%



《属性別》

● 区域別



現在の住まいの前の居住地を聞いたところ、「生まれたときからずっと今のところ」と答えた人が12.6%となっています。また、「埼玉県内」と答えた人が52.6%、「東京都」と答えた方が18.1%となっています。

区域別では、「生まれたときからずっと今のところ」は比企郡で15.7%、隣接市町で15.5%と、他区域を上回っています。また、比企郡、隣接市町、その他東武沿線で「埼玉県内」がそれぞれ5割を超えています。さいたま・板橋では「東京都」が40.0%と4割になっています。

【3】 前居住地（埼玉県内市町村）

（問2で「2」に○をつけた方にかがいます。）

問2-1 具体的な市町村をご回答ください。（○は1つ）

	回答数	構成比
(1) 上尾市	9	2.3%
(2) 朝霞市	10	2.6%
(3) 伊奈町	0	0.0%
(4) 入間市	2	0.5%
(5) 小鹿野町	1	0.3%
(6) 小川町	18	4.7%
(7) 桶川市	1	0.3%
(8) 越生町	0	0.0%
(9) 春日部市	1	0.3%
(10) 加須市	0	0.0%
(11) 神川町	0	0.0%
(12) 上里町	0	0.0%
(13) 川口市	4	1.0%
(14) 川越市	49	12.8%
(15) 川島町	8	2.1%
(16) 北本市	3	0.8%
(17) 行田市	2	0.5%
(18) 久喜市	1	0.3%
(19) 熊谷市	38	9.9%
(20) 鴻巣市	5	1.3%
(21) 越谷市	1	0.3%
(22) さいたま市	38	9.9%
(23) 坂戸市	27	7.0%
(24) 幸手市	0	0.0%
(25) 狭山市	7	1.8%
(26) 志木市	3	0.8%
(27) 白岡市	0	0.0%
(28) 杉戸町	0	0.0%
(29) 草加市	3	0.8%
(30) 秩父市	3	0.8%
(31) 鶴ヶ島市	16	4.2%
(32) ときがわ町	5	1.3%

	回答数	構成比
(33) 所沢市	10	2.6%
(34) 戸田市	0	0.0%
(35) 長瀨町	1	0.3%
(36) 滑川町	4	1.0%
(37) 新座市	2	0.5%
(38) 蓮田市	2	0.5%
(39) 鳩山町	5	1.3%
(40) 羽生市	2	0.5%
(41) 飯能市	1	0.3%
(42) 東秩父村	1	0.3%
(43) 東松山市	32	8.3%
(44) 日高市	3	0.8%
(45) 深谷市	23	6.0%
(46) 富士見市	4	1.0%
(47) ふじみ野市	6	1.6%
(48) 本庄市	3	0.8%
(49) 松伏町	0	0.0%
(50) 三郷市	0	0.0%
(51) 美里町	0	0.0%
(52) 皆野町	1	0.3%
(53) 宮代町	0	0.0%
(54) 三芳町	0	0.0%
(55) 毛呂山町	6	1.6%
(56) 八潮市	0	0.0%
(57) 横瀬町	0	0.0%
(58) 吉川市	0	0.0%
(59) 吉見町	5	1.3%
(60) 寄居町	11	2.9%
(61) 嵐山町	5	1.3%
(62) 和光市	2	0.5%
(63) 蕨市	0	0.0%
計	384	100.0%

問2で前居住地が埼玉県内と答えた方に、具体的な市町村を聞いたところ、「川越市」が 12.8%（49人）で最も高く、「熊谷市」と「さいたま市」がともに 9.9%（38人）、東松山市が 8.3%（32人）、坂戸市が 7.0%（27人）と続いています。

【4】 転居のきっかけ

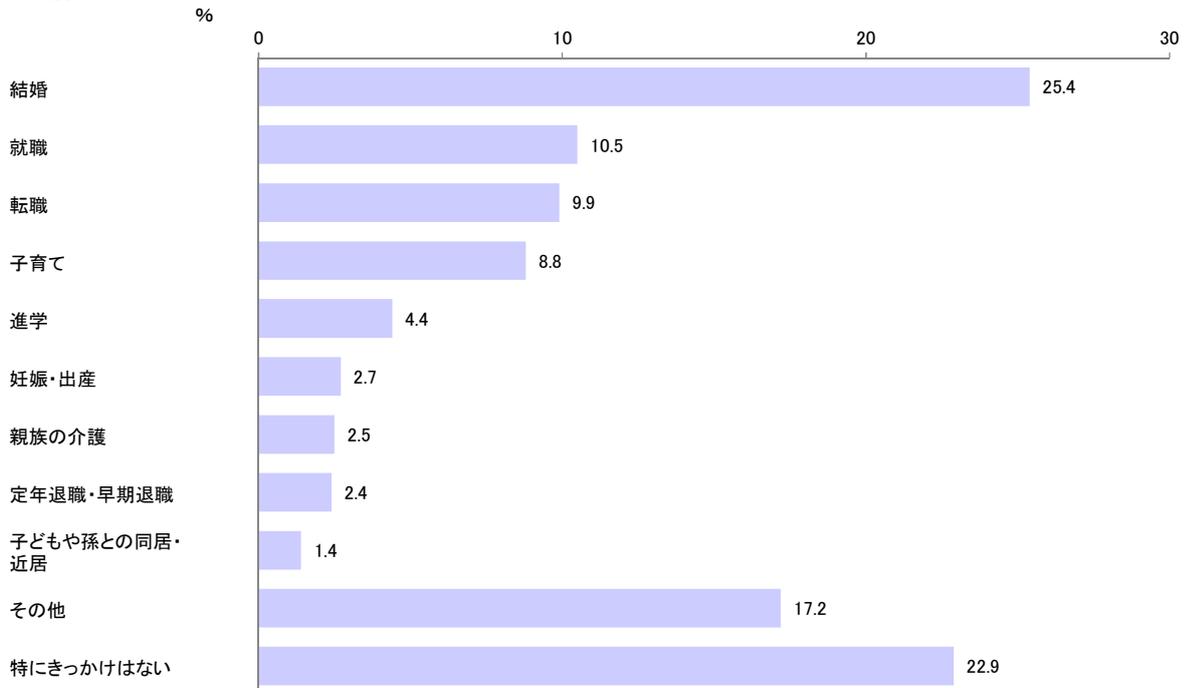
(問2で「2～9」に○をつけた方にうかがいます。)

問3 転居のきっかけはなんですか。(○はいくつでも)

n = 638

	回答数	構成比
(1) 結婚	162	25.4%
(2) 就職	67	10.5%
(3) 転職	63	9.9%
(4) 子育て	56	8.8%
(5) 進学	28	4.4%
(6) 妊娠・出産	17	2.7%
(7) 親族の介護	16	2.5%
(8) 定年退職・早期退職	15	2.4%
(9) 子どもや孫との同居・近居	9	1.4%
(10) その他	110	17.2%
(11) 特にきっかけはない	146	22.9%
計	689	100.0%

N = 638



《属性別》

●年代別／区域別

		(%)										
	n	結婚	就職	転職	子育て	進学	妊娠・出産	親族の介護	職定 年退職 ・早期退	居・近 子ども や孫との 同居	その他	い特 にき っか けは な
全体	638	25.4	10.5	9.9	8.8	4.4	2.7	2.5	2.4	1.4	17.2	22.9
男性	411	18.0	13.9	10.7	9.2	4.1	1.7	3.4	2.7	1.2	17.3	24.6
女性	227	38.8	4.4	8.4	7.9	4.8	4.4	0.9	1.8	1.8	17.2	19.8
20～29歳	31	16.1	9.7	16.1	9.7	12.9	12.9	3.2	-	6.5	12.9	16.1
30～39歳	109	29.4	11.9	15.6	6.4	5.5	6.4	1.8	-	1.8	8.3	24.8
40～49歳	196	28.6	12.8	11.7	9.2	3.1	3.1	1.5	1.5	1.0	16.8	20.4
50～59歳	178	26.4	8.4	6.2	9.6	4.5	-	3.4	1.7	-	20.2	24.2
60～64歳	61	23.0	8.2	6.6	8.2	4.9	-	3.3	4.9	3.3	13.1	29.5
65～69歳	39	15.4	10.3	7.7	10.3	2.6	-	-	5.1	2.6	38.5	15.4
70～74歳	20	10.0	10.0	-	10.0	-	-	10.0	15.0	-	20.0	25.0
75歳以上	4	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	50.0
比企郡	161	29.2	9.9	8.7	8.7	4.3	3.7	3.1	1.2	1.2	16.8	22.4
隣接市町	202	23.8	11.9	11.4	7.4	4.0	2.0	2.0	3.0	2.5	12.9	24.3
その他東武沿線	165	25.5	9.7	10.9	10.3	2.4	1.8	3.0	3.0	-	23.6	21.2
さいたま・板橋	110	22.7	10.0	7.3	9.1	8.2	3.6	1.8	1.8	1.8	16.4	23.6

問2で別の地域から転居したと答えた方に、転居のきっかけを聞いたところ、「結婚」が25.4%で最も高くなっています。次いで「就職」が10.5%、「転職」が9.9%、「子育て」が8.8%となっています。また、「特にきっかけはない」が22.9%となっています。

性別では、「結婚」が女性で38.8%、男性で18.0%と、女性の方が男性を大きく上回っています。「就職」が男性で13.9%、女性で4.4%と、男性の方が女性を上回っています。

年代別では、「結婚」は30～39歳が29.4%、40～49歳が28.6%、50～59歳が26.4%と高くなっています。「転職」は20～29歳が16.1%、30～39歳が15.6%と高くなっています。また、20～29歳では「進学」と「妊娠・出産」がともに12.9%と、他の年代に比べて高くなっています。

区域別では、比企郡で「結婚」が29.2%と最も高く、次いでその他東武沿線が25.5%となっています。

【5】 転居の決め手

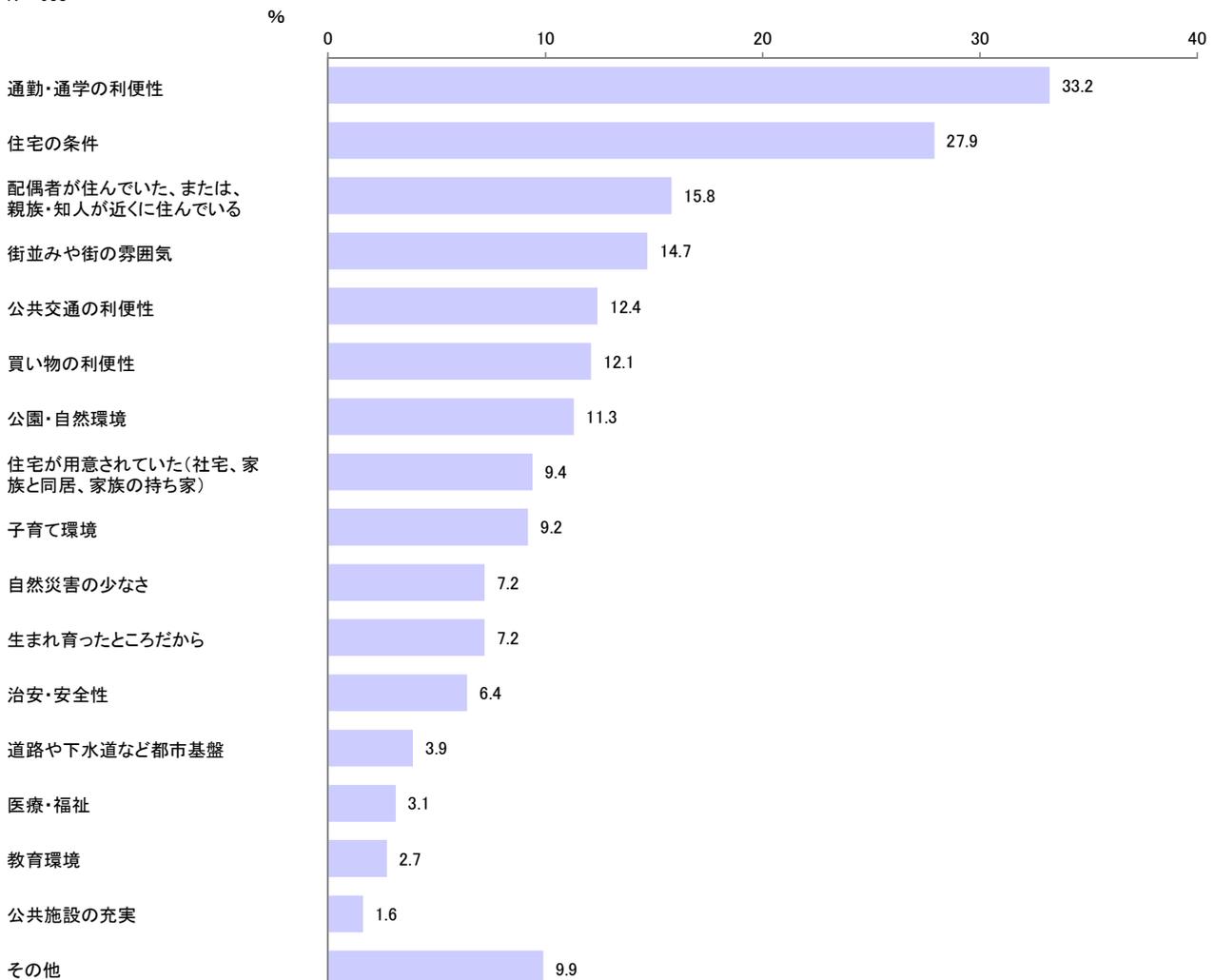
(問2で「2～9」に○をつけた方にうかがいます。)

問4 転居の決め手となったものはなんですか。(○はいくつでも)

n = 638

	回答数	構成比		回答数	構成比
(1) 通勤・通学の利便性	212	33.2%	(9) 子育て環境	59	9.2%
(2) 住宅の条件	178	27.9%	(10) 自然災害の少なさ	46	7.2%
(3) 配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる	101	15.8%	(11) 生まれ育ったところだから	46	7.2%
(4) 街並みや街の雰囲気	94	14.7%	(12) 治安・安全性	41	6.4%
(5) 公共交通の利便性	79	12.4%	(13) 道路や下水道など都市基盤	25	3.9%
(6) 買い物の利便性	77	12.1%	(14) 医療・福祉	20	3.1%
(7) 公園・自然環境	72	11.3%	(15) 教育環境	17	2.7%
(8) 住宅が用意されていた(社宅、家族と同居、家族の持ち家)	60	9.4%	(16) 公共施設の充実	10	1.6%
			(17) その他	63	9.9%
			計	1,200	100.0%

N = 638



《属性別》

●年代別／区域別

	n	通勤・通学の 利便性	住宅の 条件	近くに 住んで いる 親族・ 知人が	配偶者 が住ん でいた が、	街並み や街の 雰囲気	公共交 通の利 便性	買い物 の利便 性	公園・ 自然環 境	家族の 持ち家 と同居 、	住宅が 用意さ れてい た	子育て 環境
全体	638	33.2	27.9	15.8	14.7	12.4	12.1	11.3	9.4	9.2		
男性	411	35.3	31.4	9.7	16.3	13.4	10.7	12.2	7.8	8.8		
女性	227	29.5	21.6	26.9	11.9	10.6	14.5	9.7	12.3	10.1		
20～29歳	31	16.1	6.5	12.9	16.1	12.9	12.9	9.7	32.3	16.1		
30～39歳	109	40.4	24.8	14.7	15.6	12.8	11.9	10.1	10.1	7.3		
40～49歳	196	40.8	27.0	18.9	11.2	15.3	12.8	7.1	6.6	8.7		
50～59歳	178	28.1	31.5	16.3	17.4	11.8	12.9	12.9	10.7	9.0		
60～64歳	61	29.5	21.3	14.8	13.1	3.3	6.6	14.8	4.9	8.2		
65～69歳	39	25.6	38.5	12.8	17.9	12.8	15.4	17.9	5.1	15.4		
70～74歳	20	20.0	45.0	5.0	15.0	15.0	5.0	15.0	10.0	5.0		
75歳以上	4	25.0	75.0	-	25.0	-	25.0	50.0	-	25.0		
比企郡	161	24.8	33.5	13.0	16.8	7.5	5.0	16.1	12.4	11.2		
隣接市町	202	31.2	19.3	17.8	8.4	10.4	9.9	8.9	9.9	6.9		
その他東武沿線	165	38.8	32.1	14.5	13.9	13.3	15.8	9.7	7.9	10.9		
さいたま・板橋	110	40.9	29.1	18.2	24.5	21.8	20.9	10.9	6.4	8.2		

	n	自然 災害の 少な さ	生ま れ育つ た	治安・ 安全 性	道 路や 下水 基盤	医 療・ 福祉	教 育環 境	実 公共 施設 の充 つ	そ の他
全体	638	7.2	7.2	6.4	3.9	3.1	2.7	1.6	9.9
男性	411	8.5	8.0	6.1	3.9	2.9	2.7	1.0	8.3
女性	227	4.8	5.7	7.0	4.0	3.5	2.6	2.6	12.8
20～29歳	31	9.7	9.7	6.5	6.5	3.2	3.2	-	6.5
30～39歳	109	2.8	4.6	6.4	2.8	7.3	4.6	0.9	8.3
40～49歳	196	4.6	8.2	6.6	3.1	2.0	2.6	1.5	10.2
50～59歳	178	7.3	7.3	6.2	3.9	1.1	2.2	1.1	9.0
60～64歳	61	11.5	8.2	3.3	3.3	1.6	-	1.6	11.5
65～69歳	39	20.5	5.1	12.8	10.3	5.1	5.1	5.1	10.3
70～74歳	20	5.0	10.0	-	-	5.0	-	-	25.0
75歳以上	4	50.0	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
比企郡	161	5.0	5.6	5.0	3.1	2.5	1.2	0.6	10.6
隣接市町	202	5.0	10.4	5.0	4.0	2.0	1.0	0.5	9.9
その他東武沿線	165	11.5	5.5	8.5	5.5	5.5	4.2	3.0	10.3
さいたま・板橋	110	8.2	6.4	8.2	2.7	2.7	5.5	2.7	8.2

問2で別の地域から転居したと答えた方に、転居の決め手となったものを聞いたところ、「通勤・通学の利便性」が33.2%で最も高くなっています。次いで「住宅の条件」が27.9%、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる」が15.8%となっています。

性別では、「通勤・通学の利便性」が男性で35.3%、女性で29.5%と、男性の方が女性を上回っています。また、「住宅の条件」が男性で31.4%、女性で21.6%と、男性の方が女性を上回っています。一方、「配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる」が女性で26.9%、男性で9.7%と、女性の方が男性を上回っています。

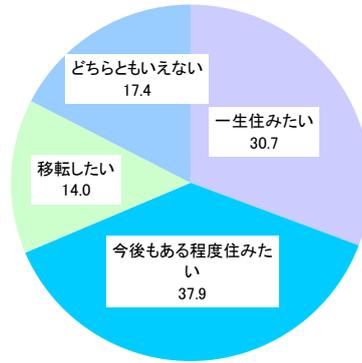
年代別では、「通勤・通学の利便性」は40～49歳が40.8%、30～39歳が40.4%と高くなっています。「住宅の条件」は70～74歳が45.0%、65～69歳が38.5%と高くなっています。

区域別では、さいたま・板橋で「通勤・通学の利便性」が40.9%と最も高く、次いでその他東武沿線が38.8%となっています。「住宅の条件」は比企郡で33.5%、その他東武沿線で32.1%と高くなっています。

【6】 居住継続の意思

問5 あなたは、今後も現在お住まいのところに住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 一生住みたい	224	30.7%
(2) 今後もある程度住みたい	277	37.9%
(3) 移転したい	102	14.0%
(4) どちらともいえない	127	17.4%
計	730	100.0%

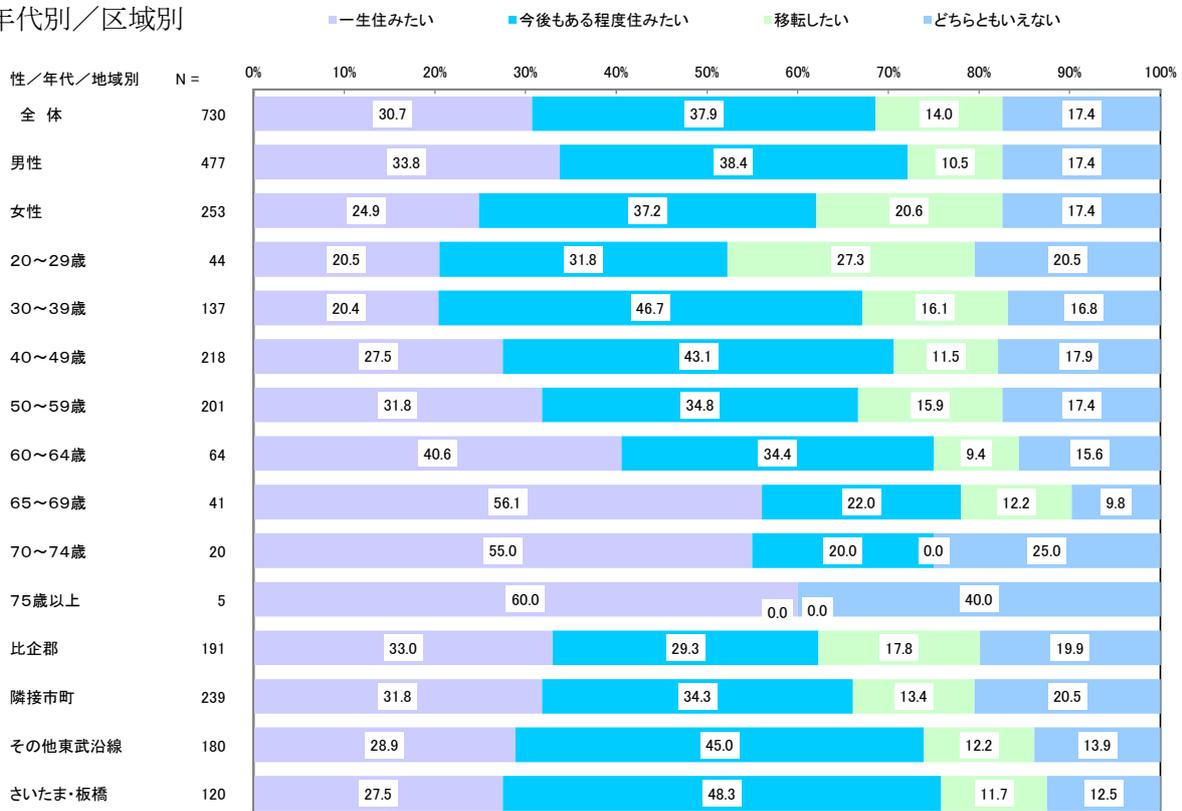


N = 730

%

《属性別》

●年代別／区域別



現在居住地の継続の意思について聞いたところ、「一生住みたい」と答えた人が 30.7%、「今後もある程度住みたい」と答えた人が 37.9%で、これらを合わせると 68.6%となっています。7割近い方に定住志向があるという結果になっています。一方、「移転したい」は 14.0%となっています。

性別では、男性の「一生住みたい」、「今後もある程度住みたい」の合計（「定住志向」）は 72.2%、女性は 62.1%で、男性が多くなっています。

年代別では、65～69歳で「定住志向」が 78.1%と最も高く、次いで 60～64歳と 70～74歳がそれぞれ 75.0%、40～49歳が 70.6%となっています。

区域別では、さいたま・板橋の「定住志向」が 75.8%と最も高く、その他東武沿線が 73.9%、隣接市町が 66.1%、比企郡が 62.3%となっています。

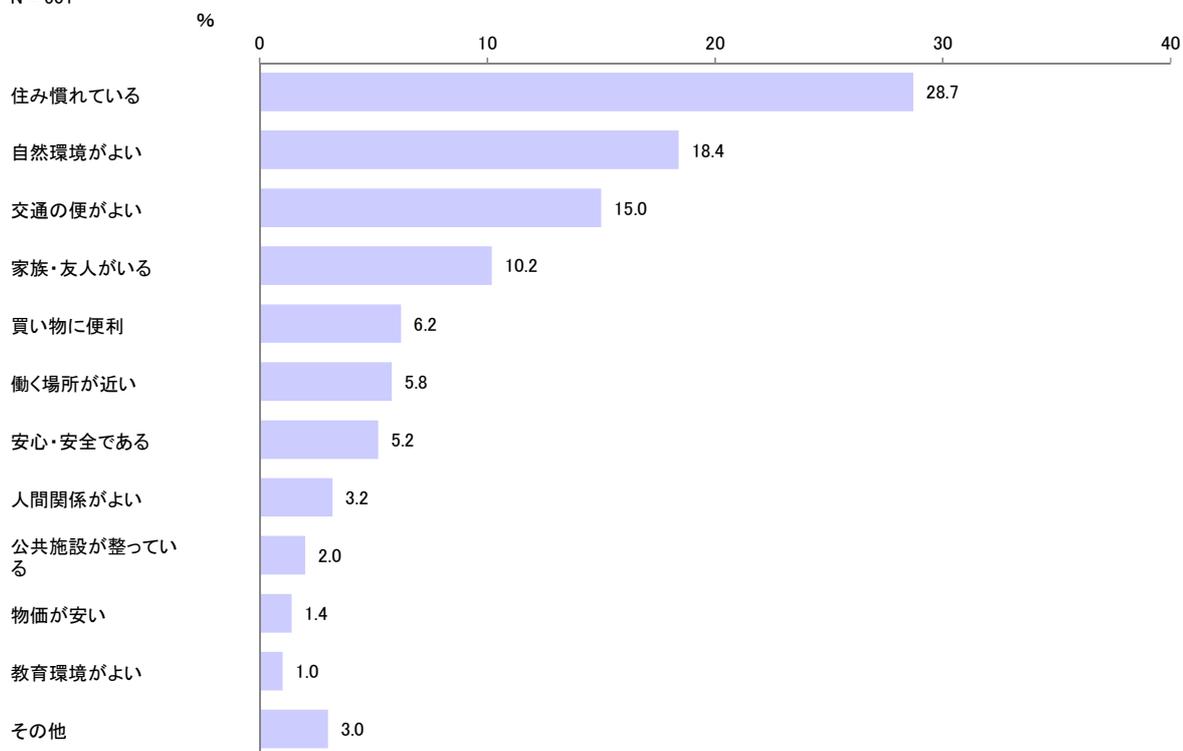
【7】 居住を希望する理由

(問5で「1」「2」を選択した方にうかがいます。)

問5-1 住みたいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(〇は1つ)

	回答数	構成比
(1) 住み慣れている	144	28.7%
(2) 自然環境がよい	92	18.4%
(3) 交通の便がよい	75	15.0%
(4) 家族・友人がいる	51	10.2%
(5) 買い物に便利	31	6.2%
(6) 働く場所が近い	29	5.8%
(7) 安心・安全である	26	5.2%
(8) 人間関係がよい	16	3.2%
(9) 公共施設が整っている	10	2.0%
(10) 物価が安い	7	1.4%
(11) 教育環境がよい	5	1.0%
(11) その他	15	3.0%
計	501	100.0%

N = 501



《属性別》

●年代別／区域別

	n	住み慣れている	自然環境がよい	交通の便がよい	家族・友人がいる	買い物に便利	働く場所が近い	安心・安全である	人間関係がよい	公共施設が整っている	物価が安い	教育環境がよい	その他
全体	501	28.7	18.4	15.0	10.2	6.2	5.8	5.2	3.2	2.0	1.4	1.0	3.0
男性	344	30.2	21.8	15.1	5.5	6.4	5.2	4.7	4.1	2.3	0.6	0.3	3.8
女性	157	25.5	10.8	14.6	20.4	5.7	7.0	6.4	1.3	1.3	3.2	2.5	1.3
20～29歳	23	26.1	8.7	21.7	8.7	-	8.7	8.7	-	4.3	4.3	8.7	-
30～39歳	92	19.6	18.5	21.7	13.0	2.2	12.0	3.3	4.3	1.1	1.1	2.2	1.1
40～49歳	154	27.9	18.8	13.6	9.7	9.1	7.1	4.5	3.2	1.3	1.3	0.6	2.6
50～59歳	134	29.1	20.9	18.7	6.7	5.2	3.7	4.5	4.5	1.5	1.5	-	3.7
60～64歳	48	27.1	22.9	2.1	16.7	8.3	-	6.3	2.1	8.3	2.1	-	4.2
65～69歳	32	43.8	12.5	6.3	6.3	12.5	-	15.6	-	-	-	-	3.1
70～74歳	15	60.0	-	6.7	20.0	-	-	-	-	-	-	-	13.3
75歳以上	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比企郡	119	27.7	32.8	3.4	12.6	0.8	5.9	3.4	5.0	-	1.7	2.5	4.2
隣接市町	158	27.8	19.0	10.1	11.4	7.0	6.3	7.0	3.8	2.5	1.3	-	3.8
その他東武沿線	133	29.3	13.5	22.6	10.5	6.8	5.3	4.5	1.5	0.8	0.8	1.5	3.0
さいたま・板橋	91	30.8	5.5	27.5	4.4	11.0	5.5	5.5	2.2	5.5	2.2	-	-

問5で今後も現在地に居住したいと思うと回答した方に、その理由を聞いたところ、「住み慣れている」が28.7%で最も高くなっています。次いで「自然環境がよい」が18.4%、「交通の便がよい」が15.0%、「家族・友人がいる」が10.2%となっています。

性別では、「住み慣れている」が男性で30.2%、女性で25.5%と、男性の方が女性をやや上回っています。また、「自然環境がよいから」が21.8%で、男性の10.8%を上回っています。一方、「家族・友人がいる」が女性で20.4%、男性で5.5%と女性の方が男性を大きく上回っています。

年代別では、「住み慣れている」は70～74歳で60.0%と最も高く、65～69歳で43.8%と高くなっています。「自然環境がよい」は60～64歳で22.9%と最も高く、50～59歳で20.9%と高くなっています。「交通の便がよい」は20～29歳と30～39歳とともに21.7%と高くなっています。

区域別では、さいたま・板橋で「住み慣れている」が30.8%、「交通の便がよい」が27.5%と最も高くなっています。「自然環境がよい」は比企郡で32.8%と他の区域を大きく上回っています。

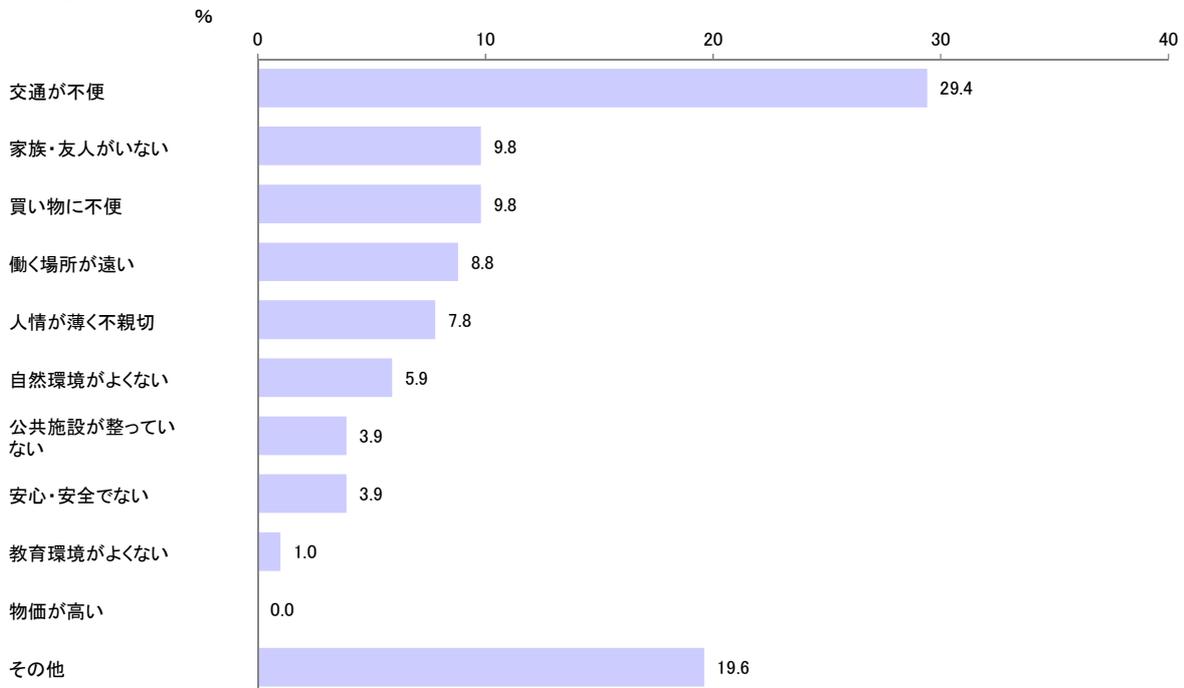
【8】 移転を希望する理由

(問5で「3」を選択した方にうかがいます。)

問5-2 移転したいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 交通が不便	30	29.4%
(2) 家族・友人がいない	10	9.8%
(3) 買い物に不便	10	9.8%
(4) 働く場所が遠い	9	8.8%
(5) 人情が薄く不親切	8	7.8%
(6) 自然環境がよくない	6	5.9%
(7) 公共施設が整っていない	4	3.9%
(8) 安心・安全でない	4	3.9%
(9) 教育環境がよくない	1	1.0%
(10) 物価が高い	0	0.0%
(11) その他	20	19.6%
計	102	100.0%

N = 102



《属性別》

●年代別／区域別

	n	交通が不便	い家族・友人がいない	買い物に不便	働く場所が遠い	人情が薄く不親切	い自然環境がよくな	い公共施設が整っていない	安心・安全でない	い教育環境がよくな	物価が高い	その他
全体	102	29.4	9.8	9.8	8.8	7.8	5.9	3.9	3.9	1.0	-	19.6
男性	50	26.0	12.0	6.0	6.0	6.0	8.0	4.0	4.0	-	-	28.0
女性	52	32.7	7.7	13.5	11.5	9.6	3.8	3.8	3.8	1.9	-	11.5
20～29歳	12	25.0	8.3	25.0	25.0	-	-	8.3	-	8.3	-	-
30～39歳	22	18.2	13.6	4.5	13.6	18.2	-	4.5	4.5	-	-	22.7
40～49歳	25	36.0	12.0	-	4.0	4.0	4.0	4.0	12.0	-	-	24.0
50～59歳	32	40.6	9.4	9.4	6.3	9.4	6.3	3.1	-	-	-	15.6
60～64歳	6	16.7	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	16.7
65～69歳	5	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	60.0
70～74歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
比企郡	34	38.2	11.8	14.7	8.8	8.8	-	-	-	-	-	17.6
隣接市町	32	21.9	6.3	6.3	12.5	3.1	12.5	6.3	6.3	3.1	-	21.9
その他東武沿線	22	27.3	13.6	4.5	4.5	13.6	-	9.1	4.5	-	-	22.7
さいたま・板橋	14	28.6	7.1	14.3	7.1	7.1	14.3	-	7.1	-	-	14.3

問5で今後は現在地から転居したいと回答した方に、その理由を聞いたところ、「交通が不便」が29.4%で最も高くなっています。次いで「家族・友人がいない」と「買い物に不便」がともに9.8%、「働く場所が遠い」が8.8%となっています。

性別では、「交通が不便」が女性で32.7%、男性で26.0%と、女性の方が男性をやや上回っています。また、「買い物に不便」が13.5%で、男性の6.0%を上回っています。一方、「家族・友人がいない」が男性で12.0%、女性で7.7%と、男性の方が女性を上回っています。

年代別では、「交通が不便」は50～59歳で40.6%と最も高く、40～49歳で36.0%と高くなっています。

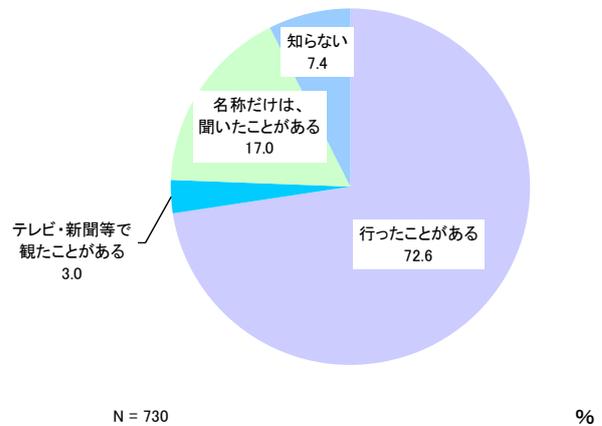
区域別では、「交通が不便」は比企郡で38.2%と最も高くなっています。

(2) 嵐山町について

【1】 嵐山町の認知度

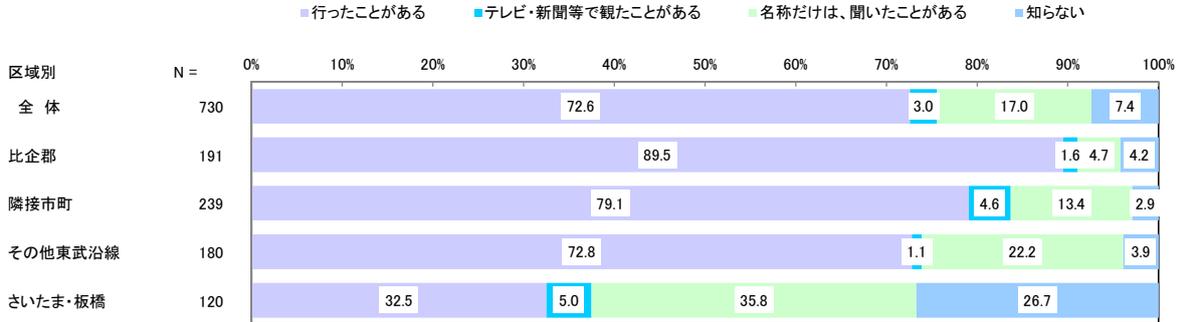
問6 あなたは、今回のアンケート以前に「埼玉県嵐山町」を知っていましたか。(○は1つ)

	回答数	構成比
(1) 行ったことがある	530	72.6%
(2) テレビ・新聞等で観たことがある	22	3.0%
(3) 名称だけは、聞いたことがある	124	17.0%
(4) 知らない	54	7.4%
計	730	100.0%



《属性別》

● 区域別



嵐山町の認知度を聞いたところ、「行ったことがある」と答えた人が72.6%、「名称だけは、聞いたことがある」と答えた方が17.0%、「テレビ・新聞等で観たことがある」と答えた人が3.0%となっています。一方、「知らない」と答えた人が7.4%となっています。

区域別では、比企郡の「行ったことがある」が89.5%と最も高く、隣接市町が79.1%、その他東武沿線が72.8%となっています。さいたま・板橋では「行ったことがある」が32.5%と他区域より低くなっており、「名称だけは、聞いたことがある」が35.8%、「知らない」が26.7%と高くなっています。

【2】 嵐山町のイメージ

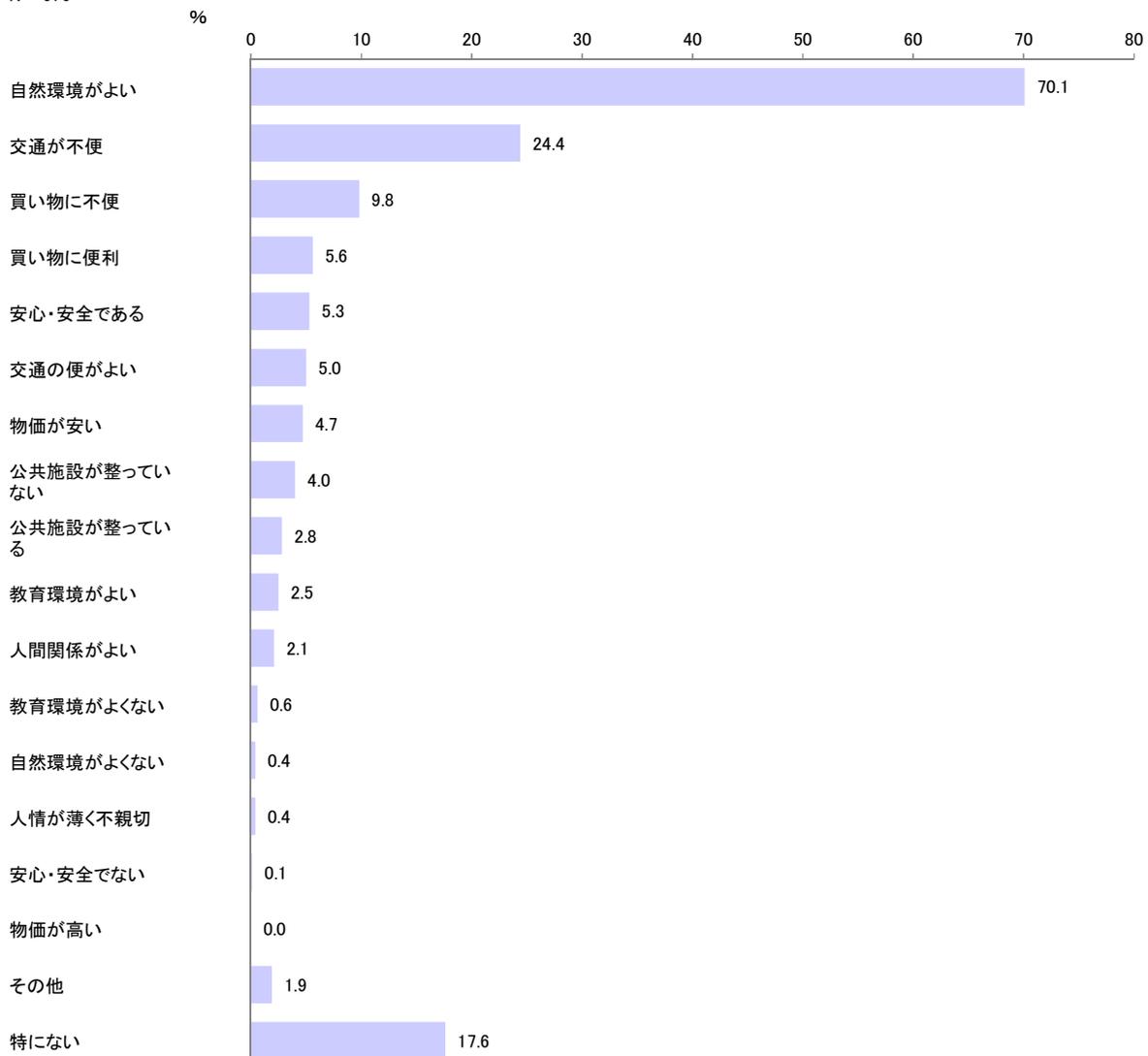
(問6で「1～3」を選択した方にかがいます。)

問7 嵐山町についてどのような印象・イメージをお持ちですか。(〇はいくつでも)

n = 676

	回答数	構成比		回答数	構成比
(1) 自然環境がよい	474	70.1%	(10) 教育環境がよい	17	2.5%
(2) 交通が不便	165	24.4%	(11) 人間関係がよい	14	2.1%
(3) 買い物に不便	66	9.8%	(12) 教育環境がよくない	4	0.6%
(4) 買い物に便利	38	5.6%	(13) 自然環境がよくない	3	0.4%
(5) 安心・安全である	36	5.3%	(14) 人情が薄く不親切	3	0.4%
(6) 交通の便がよい	34	5.0%	(15) 安心・安全でない	1	0.1%
(7) 物価が安い	32	4.7%	(16) 物価が高い	0	0.0%
(8) 公共施設が整っていない	27	4.0%	(17) その他	13	1.9%
(9) 公共施設が整っている	19	2.8%	(18) 特にない	119	17.6%
			計	1,065	100.0%

N = 676



《属性別》

● 区域別

		(%)									
	n	自然環境がよい	交通が不便	買い物に不便	買い物に便利	安心・安全である	交通の便がよい	物価が安い	公共施設が整っていない	公共施設が整っている	
全体	676	70.1	24.4	9.8	5.6	5.3	5.0	4.7	4.0	2.8	
比企郡	183	72.1	23.5	5.5	13.7	6.6	6.6	9.8	3.8	3.3	
隣接市町	232	71.1	20.3	12.1	4.3	6.5	6.9	3.4	5.6	1.7	
その他東武沿線	173	72.8	33.5	12.7	1.2	4.0	2.9	3.5	2.3	4.0	
さいたま・板橋	88	58.0	19.3	6.8	1.1	2.3	1.1	-	3.4	2.3	

	n	教育環境がよい	人間関係がよい	教育環境がよくない	自然環境がよくない	人情が薄く不親切	安心・安全でない	物価が高い	その他	特にない
全体	676	2.5	2.1	0.6	0.4	0.4	0.1	-	1.9	17.6
比企郡	183	4.4	2.2	1.1	-	0.5	0.5	-	1.1	13.1
隣接市町	232	3.0	1.7	-	0.4	-	-	-	2.2	17.2
その他東武沿線	173	1.2	2.3	0.6	0.6	0.6	-	-	1.7	15.0
さいたま・板橋	88	-	2.3	1.1	1.1	1.1	-	-	3.4	33.0

問6で嵐山町を知っていると回答した方に、町の印象・イメージを聞いたところ、「自然環境がよい」が70.1%で最も高くなっています。次いで「交通が不便」が24.4%、「買い物に不便」が9.8%、「買い物に便利」が5.6%、「安心・安全である」が5.3%、「交通の便がよい」が5.0%となっています。また、「特にない」が17.6%となっています。

区域別では、「自然環境がよい」がその他東武沿線で72.8%、比企郡が72.1%、隣接市町が71.1%とともに7割を超えています。「交通が不便」はその他東武沿線で33.5%と最も高くなっています。「買い物に不便」はその他東武沿線で12.7%、隣接市町で12.1%となっているものの、「買い物に便利」は比企郡で13.7%となっています。また、「特にない」がさいたま・板橋で33.0%と高くなっています。

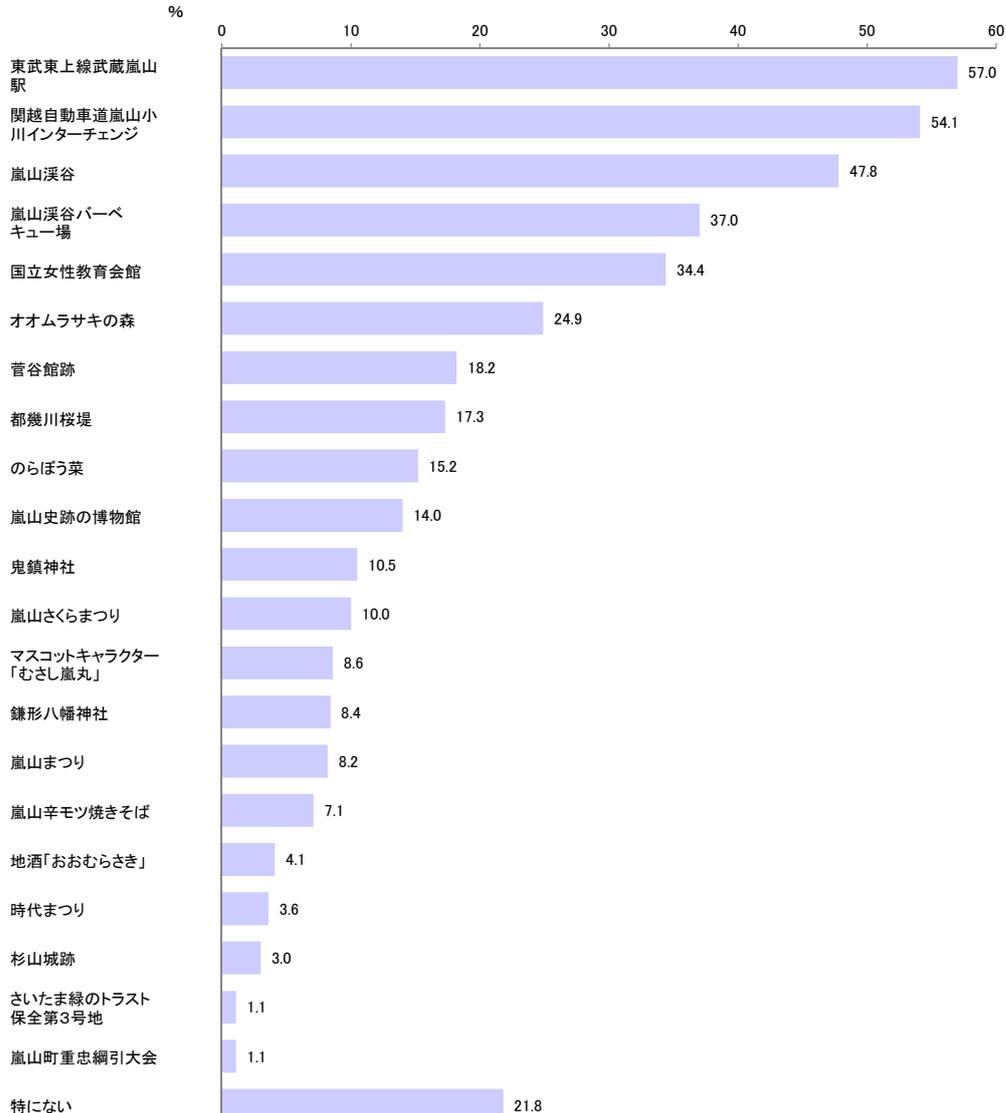
【3】 嵐山町の景勝地等の認知度

問8 嵐山の景勝地・施設・特産品・イベント等でご存じのものはありますか。(〇はいくつでも)

n = 730

	回答数	構成比		回答数	構成比
(1) 東武東上線武蔵嵐山駅	416	57.0%	(13) マスコットキャラクター「むさし嵐丸」	63	8.6%
(2) 関越自動車道嵐山小川インターチェンジ	395	54.1%	(14) 鎌形八幡神社	61	8.4%
(3) 嵐山溪谷	349	47.8%	(15) 嵐山まつり	60	8.2%
(4) 嵐山溪谷バーベキュー場	270	37.0%	(16) 嵐山辛モツ焼きそば	52	7.1%
(5) 国立女性教育会館	251	34.4%	(17) 地酒「おおむらさき」	30	4.1%
(6) オオムラサキの森	182	24.9%	(18) 時代まつり	26	3.6%
(7) 菅谷館跡	133	18.2%	(19) 杉山城跡	22	3.0%
(8) 都幾川桜堤	126	17.3%	(20) さいたま緑のトラスト保全第3号地	8	1.1%
(9) のらぼう菜	111	15.2%	(21) 嵐山町重忠綱引大会	8	1.1%
(10) 嵐山史跡の博物館	102	14.0%	(22) 特にない	159	21.8%
(11) 鬼鎮神社	77	10.5%	計	2,974	100.0%
(12) 嵐山さくらまつり	73	10.0%			

N = 730



《属性別》

● 区域別

		(%)											
	n	東武東上線武蔵嵐山駅	関越自動車道嵐山小川インターチェンジ	嵐山溪谷	嵐山溪谷バーベキュー場	国立女性教育会館	オオムラサキの森	菅谷館跡	都幾川桜堤	のらぼう菜	嵐山史跡の博物館	鬼鎮神社	
全体	730	57.0	54.1	47.8	37.0	34.4	24.9	18.2	17.3	15.2	14.0	10.5	
比企郡	191	75.9	70.7	68.6	61.3	62.8	45.0	33.0	34.0	31.9	26.2	22.5	
隣接市町	239	54.8	56.9	48.5	34.7	34.7	21.3	19.2	13.4	11.7	14.6	8.8	
その他東武沿線	180	60.0	51.7	47.2	32.2	22.8	20.0	12.2	15.6	10.6	8.9	6.7	
さいたま・板橋	120	26.7	25.8	14.2	10.0	5.8	7.5	1.7	0.8	2.5	0.8	0.8	

	n	嵐山さくらまつり	「マスコットキャラクター」 「むさし嵐丸」	鎌形八幡神社	嵐山まつり	嵐山辛モツ焼きそば	地酒「おおむらさき」	時代まつり	杉山城跡	全第3号地	さいたま緑のトラスト保	嵐山町重忠綱引大会	特にない
全体	730	10.0	8.6	8.4	8.2	7.1	4.1	3.6	3.0	1.1	1.1	21.8	
比企郡	191	20.9	23.0	20.4	17.8	18.3	6.8	7.9	6.8	2.1	1.6	7.3	
隣接市町	239	5.4	3.8	4.6	4.2	5.0	4.6	2.5	0.4	1.3	1.3	18.8	
その他東武沿線	180	8.9	4.4	6.1	7.8	2.8	2.8	2.8	3.9	0.6	1.1	20.6	
さいたま・板橋	120	3.3	1.7	-	1.7	-	0.8	-	0.8	-	-	52.5	

嵐山町の景勝地・施設・特産品・イベント等の認知度を聞いたところ、「東武東上線武蔵嵐山駅」が57.0%で最も高くなっています。次いで「関越自動車道嵐山小川インターチェンジ」が54.1%、「嵐山溪谷」が47.8%、「嵐山溪谷バーベキュー場」が37.0%、「国立女性教育会館」が34.4%、「オオムラサキの森」が24.9%となっています。また、「特にない」が21.8%となっています。

区域別では、すべての項目が比企郡で認知度が最も高くなっています。「東武東上線武蔵嵐山駅」と「関越自動車道嵐山小川インターチェンジ」は比企郡で7割台、隣接市町とその他東武沿線でも半数以上ですが、さいたま・板橋での認知度は2割台にとどまっています。また、「嵐山溪谷」、「嵐山溪谷バーベキュー場」、「国立女性教育会館」についても比企郡で6割台ですが、さいたま・板橋ではそれぞれ2割以下と認知度が低く、さいたま・板橋では「特にない」が52.5%と半数を超えています。

V. 使用した調査票様式

1. まち・ひと・しごとに関する意識調査

まち・ひと・しごとに関する意識調査

日ごろより町政の進展につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、わが国においては、これまで経験したことのない人口減少・少子高齢社会が進展しております。嵐山町も例外ではありません。その状況に対応するため、「まち・ひと・しごと」の「創生」にかかる取り組みを行う必要があると考えております。

そのため、町では、地域の人口の現状分析及び将来の人口見通しを示す「嵐山町人口ビジョン」と今後5年間の施策の方向性及び具体的な数値目標を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めています。

この「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定にあたり、町民の皆様よりご意見をお聞きし、課題を検討するための基礎資料とさせていただくため、本調査を実施することといたしました。

本調査は、嵐山町に在住の18歳以上の方々の中から2,000人を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、統計的な分析にのみ使用いたしますので、あなたのご意見が外部に漏れたり、他の目的に使用されたりすることは決してありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年5月

嵐山町長 岩澤 勝

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できる限りあて名の方ご本人がご記入ください。
2. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他」に○印をつけられた方は、() にその内容をご記入ください。
7. ご記入いただきました調査票は、

平成27年6月8日（月曜日）までに、

同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

8. 調査の内容や記入方法等について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

(問い合わせ先) ■ 嵐山町 地域支援課 政策創生担当

〒355-0211 埼玉県比企郡嵐山町大字杉山 1030-1

電話 0493-62-2152

FAX 0493-62-5935

あなたご自身についてうかがいます。

問1 あなたの性別をご回答ください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢をご回答ください。(○は1つ)

1. 18・19歳	4. 40～49歳	7. 65～69歳
2. 20～29歳	5. 50～59歳	8. 70～74歳
3. 30～39歳	6. 60～64歳	9. 75歳以上

問3 あなたの職業をご回答ください。(○は1つ。複数ある方は主なものに1つ)

1. 農業	5. 学生(予備校含む)
2. 自営業	6. 専業主婦・専業主夫
3. 会社員・公務員(常勤)	7. 無職
4. 会社員・公務員(非常勤)	8. その他()

問4 あなたの通勤・通学先をご回答ください。(○は1つ。複数ある方は主なものに1つ)

1. 自宅	4. 埼玉県内
2. 町内	5. 東京都
3. 比企郡内(東松山市を含む)	6. その他()

問5 現在居住している住宅の種類をご回答ください。(○は1つ)

1. 持家	4. 社宅・寮・住み込み
2. 借家・アパート	5. その他()
3. 公営住宅	

問6 現在の婚姻状況をご回答ください。(○は1つ)

1. 結婚している	3. 結婚していない
2. 結婚していたが、死別・離別した	

問7 あなたの世帯構成についてご回答ください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 単身世帯 (一人暮らし) | 4. 3世代世帯 (親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ世帯 | 5. その他の世帯 |
| 3. 2世代世帯 (親と子) | |

→(問7で「2」「3」を選択した方にうかがいます。)

問7-1 あなたは将来、嵐山町で3世代同居または近居したいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問8 あなたの住んでいる地区をご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 菅谷 | 8. 千手堂 | 15. 越畑 |
| 2. 川島 | 9. 鎌形 | 16. 勝田 |
| 3. 志賀1区 | 10. 大蔵 | 17. 広野 |
| 4. 志賀2区 | 11. 根岸 | 18. 杉山 |
| 5. むさし台 | 12. 将軍沢 | 19. 太郎丸 |
| 6. 平沢 | 13. 古里 | |
| 7. 遠山 | 14. 吉田 | |

嵐山町の住みごこち、暮らしやすさ等についてうかがいます。

問9 あなたにとって、嵐山町は住みよいと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 住みよい | 4. 住みにくい |
| 2. ある程度住みよい | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり住みよくない | |

問10 あなたは、今後も嵐山町に住み続けたいと思いませんか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|-----------|--------------|
| 1. 一生住みたい | 3. 移転したい | 4. どちらともいえない |
| 2. 今後もある程度住みたい | → 問10-2 へ | |

→(問10で「1」「2」を選択した方にうかがいます。)

問10-1 住みたいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| 1. 自然環境がよい | 5. 家族・友人がいる | 9. 安心・安全である |
| 2. 交通の便がよい | 6. 住み慣れている | 10. 買い物に便利 |
| 3. 人間関係がよい | 7. 公共施設が整っている | 11. 物価が安い |
| 4. 働く場所が近い | 8. 教育環境がよい | 12. その他 () |

(問 10 で「3」を選択した方にうかがいます。)

問 10-2 移転したいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| 1. 自然環境がよくない | 5. 家族・友人がいない | 9. 買い物に不便 |
| 2. 交通が不便 | 6. 公共施設が整っていない | 10. 物価が高い |
| 3. 人情が薄く不親切 | 7. 教育環境がよくない | 11. その他 () |
| 4. 働く場所が遠い | 8. 安心・安全でない | |

問 11 あなたが住んでいる地域を住みよくするための活動の障害になっているものがあると思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. あると思う | 2. ないと思う | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

(問 11 で「1」を選択した方にうかがいます。)

問 11-1 それはどんな問題だと思えますか。(○は2つまで)

- | |
|---|
| 1. とおり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない |
| 2. 区(自治会)や地域団体などの住民組織が十分に働かない |
| 3. 古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない |
| 4. 町の文化活動への意欲は活発だが、リーダー養成や集会所などの施設が不足している |
| 5. 高齢者、青少年等の団体同士のコミュニケーションや交流が不足している |
| 6. 町や団体からの情報が不足している |
| 7. その他 () |
| 8. わからない |

問 12 あなたが住んでいる地域の環境をどのように感じていますか。それぞれの項目についてあてはまるものを選んでください。(○は1つずつ)

質問事項		回答の選択	回答の選択				
			満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満
都市基盤	(1)	道路の整備	1	2	3	4	5
	(2)	道路の安全性	1	2	3	4	5
	(3)	バス交通の利便性	1	2	3	4	5
	(4)	鉄道交通の利便性	1	2	3	4	5
	(5)	水道のおいしさ、安全性	1	2	3	4	5
	(6)	雨水排水	1	2	3	4	5
	(7)	通信網の整備	1	2	3	4	5
	(8)	下水道の整備	1	2	3	4	5
	(9)	ごみ処理	1	2	3	4	5
	(10)	通学路の安全性	1	2	3	4	5
生活環境	(11)	身近な緑の豊かさ	1	2	3	4	5
	(12)	空気のきれいさ	1	2	3	4	5
	(13)	公園・子どもの遊び場	1	2	3	4	5
	(14)	地震・災害時の避難場所や避難経路	1	2	3	4	5
	(15)	火災の消防体制	1	2	3	4	5
	(16)	夜道の安全や防犯	1	2	3	4	5
	(17)	河川・水路などの汚れ	1	2	3	4	5
	(18)	買物の利便性	1	2	3	4	5
	(19)	悪臭・騒音・振動	1	2	3	4	5

質問事項		回答の選択					
		満足	まあまあ満足	普通	やや不満	不満	
教育・文化等	(20)	小・中学校の施設	1	2	3	4	5
	(21)	幼稚園・保育園	1	2	3	4	5
	(22)	図書館や公民館などの施設	1	2	3	4	5
	(23)	各地域の集会施設	1	2	3	4	5
	(24)	スポーツ・レクリエーション施設	1	2	3	4	5
	(25)	文化、趣味、スポーツなどの活動	1	2	3	4	5
	(26)	広報紙などの広報活動	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	(27)	住民検診などの保健活動	1	2	3	4	5
	(28)	夜間・休日などの救急医療	1	2	3	4	5
	(29)	病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
	(30)	子育て支援サービス	1	2	3	4	5
	(31)	高齢者への福祉サービス	1	2	3	4	5
	(32)	障害者への福祉サービス	1	2	3	4	5
その他	(33)	雇用の機会	1	2	3	4	5
	(34)	町が行うイベント	1	2	3	4	5
	(35)	自治会活動	1	2	3	4	5
	(36)	ボランティア活動	1	2	3	4	5

職業観についてうかがいます。

問 13 あなたが働くうえで大切だと思うことは次のうちどれですか。(○は3つ)

1. 会社の規模	8. 昇進やキャリアの将来
2. 会社の知名度	9. 福利厚生(各種休暇制度等)
3. 会社の将来性	10. 職場の雰囲気・人間関係
4. やりがい	11. 給料・賃金
5. 使命感	12. 労働時間・休日
6. 仕事の内容	13. 勤務地・通勤の便
7. 能力開発の機会がある	14. その他()

(現在、働いている方にうかがいます。)

問 14 あなたは、現在の仕事に満足していますか(○は1つ)

1. 満足している	3. あまり満足していない
2. ある程度満足している	4. 満足していない
	5. どちらともいえない

(問 14 で「1」「2」を選択した方にうかがいます。)

問 14-1 満足している理由をご回答ください。(○は2つまで)

1. 自分のやりたい仕事ができる	5. 残業が少ない・休暇が取りやすい
2. 仕事を通じてスキルアップができる	6. 給料がよい
3. 福利厚生が充実している	7. 勤務地・通勤の便がよい
4. 職場の雰囲気・人間関係がよい	8. その他()

(問 14 で「3」「4」を選択した方にうかがいます。)

問 14-2 満足していない理由をご回答ください。(○は2つまで)

1. 自分のやりたい仕事ができない	5. 残業が多い・休暇が取りにくい
2. 仕事を通じてスキルアップしにくい	6. 給料がよくない
3. 福利厚生が充実していない	7. 勤務地・通勤の便がよくない
4. 職場の雰囲気・人間関係がよくない	8. その他()

問 21 成年・未成年を問わず、あなたの子どもの人数をご回答ください。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

問 22 あなたの理想とする子どもの人数をご回答ください。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

問 23 これから理想とする子どもの人数を持つ考えがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

(問 23 で「2」を選択した方にうかがいます。) ←

問 23-1 理想とする子どもの人数を持つ考えがない理由をご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 2. 家が狭いから |
| 3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから |
| 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから |
| 6. 高年齢だから |
| 7. これ以上育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから |
| 8. 健康上の理由から |
| 9. ほしいけれどもできないから |
| 10. 夫の家事育児への協力が得られないから |
| 11. 配偶者が望まないから |
| 12. 末子が配偶者の定年退職までに成人してほしいから |
| 13. 末子が自分の定年退職までに成人してほしいから |
| 14. その他() |

問 24 子育てにおいて大変だと感じることをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 生活にゆとりがなく時間に追われる | 8. 他にやりたいことがあるのに、子育てに追われる |
| 2. 仕事との両立が難しい | 9. 遊び場など子育ての環境が整っていない |
| 3. 子どもについての心配事が多い | 10. 子育てに関するサービスが充実していない |
| 4. しつけや育て方に自信がない | 11. その他() |
| 5. 家族や周囲の協力がいない | |
| 6. 子育てについて相談できる相手がいない | |
| 7. 子育てにかかる費用負担が大きい | |

現在、49歳以下の方で結婚していない方にうかがいます。

問 25 将来の結婚の希望についてご回答ください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 結婚したいと思う | 2. 結婚したいと思わない |
|-------------|---------------|

→ (問 25 で「1」を選択した方にうかがいます。)

問 25-1 結婚したいと思う年齢をご記入ください。

結婚したい年齢	<input type="text"/>	歳
---------	----------------------	---

問 26 あなたの理想とする子どもの人数をご回答ください。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 2. 1人 | 3. 2人 | 4. 3人 | 5. 4人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

問 27 現在独身でいる理由についてご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 結婚するにはまだ若すぎるから |
| 2. 結婚する必要を感じないから |
| 3. 結婚に関して魅力を感じないから |
| 4. 今は仕事又は学業にうちこみたいから |
| 5. 今は趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 6. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから |
| 7. 適当な相手にまだめぐり会わないから |
| 8. 異性と出会う場所がないから |
| 9. 異性とうまくつきあえないから |
| 10. 結婚資金が足りないから |
| 11. 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 12. 結婚後の生活資金が足りないから |
| 13. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から |
| 14. その他 () |
| 15. すでに結婚が決まっている |

問 28 結婚後のご自身及び配偶者の就労状況の希望をご回答ください。(○は1つ)

■ご自身

1. 結婚後も出産後も仕事を続けたい
2. 結婚後も仕事を続けたいが、出産後はわからない
3. 結婚後も仕事を続けたいが、出産後は仕事をやめたい
4. 結婚後も仕事を続けたいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめたい
5. 結婚後は仕事をやめたい

■配偶者

1. 結婚後も出産後も仕事を続けてほしい
2. 結婚後は仕事を続けてほしいが、出産後はやめてほしい
3. 結婚後は仕事を続けてほしいが、出産後は子どもが一定の年齢になるまで仕事をやめてほしい
4. 結婚後は仕事をやめてほしい

すべての方にうかがいます。

問 29 少子化社会対策基本法の規定に基づく大綱として定められた「子ども・子育てビジョン」では、「目指すべき社会の姿」を掲げています。あなたは、日本の社会が「安心して妊娠・出産できるような社会」になっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 4. あまりそう思わない |
| 2. ややそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらともいえない | |

進路希望に関する意識調査

日ごろより町政の進展につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、わが国においては、これまで経験したことのない人口減少・少子高齢社会が進展しております。嵐山町も例外ではありません。その状況に対応するため、「まち・ひと・しごと」の「創生」にかかる取り組みを行う必要があると考えております。

そのため、町では、地域の人口の現状分析及び将来の人口見通しを示す「嵐山町人口ビジョン」と今後5年間の施策の方向性及び具体的な数値目標を取りまとめた「総合戦略」の策定を進めています。

この「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定にあたり、将来を担う若者の方々から進路についてのご希望やご意見をお聞きし、課題検討のための基礎資料とさせていただきますため、本調査を実施することといたしました。

本調査は、嵐山町に在住の本年中に16歳になる方から22歳になる方の中から500人を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、統計的な分析にのみ使用いたしますので、あなたのご意見が外部に漏れたり、他の目的に使用されたりすることは決してありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成27年5月

嵐山町長 岩澤 勝

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、できる限りあて名の方ご本人がご記入ください。
2. このアンケートは匿名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
3. ご記入は、必ず黒又は青のボールペン又は鉛筆でお願いします。
4. 質問番号に沿って、できるかぎり全部の質問にお答えください。
5. お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
6. 「その他」に○印をつけられた方は、() にその内容をご記入ください。
7. ご記入いただきました調査票は、

平成27年6月8日（月曜日）までに、

同封した返信用封筒（切手不要）に入れて郵送してください。

8. 調査の内容や記入方法等について、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

(問い合わせ先) ■ 嵐山町 地域支援課 政策創生担当

〒355-0211 埼玉県比企郡嵐山町大字杉山 1030-1

電話 0493-62-2152

FAX 0493-62-5935

あなたご自身についておうかがいします

問1 あなたの性別をご回答ください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢をご記入ください。

年齢	<input type="text"/>	歳
----	----------------------	---

問3 現在の就学状況をご回答ください。(○は1つ)

1. 高校生	5. 大学生
2. 高等専門学校生	6. 社会人
3. 専門学校生	7. その他 ()
4. 短期大学生	

問4 現在の住居形態をご回答ください。(○は1つ)

1. 自宅(親と同居)	4. 知人・親戚宅
2. アパート・マンション(ひとり暮らし)	5. 学生寮
3. ルームシェア(友人等と同居)	6. その他 ()

問5 現在の通勤・通学手段をご回答ください。(○は1つ。複数ある方は主なものに1つ)

1. 徒歩	5. バス
2. 自転車	6. 電車
3. バイク	7. その他 ()
4. 自動車	

問6 あなたの住んでいる地区をご回答ください。(○は1つ)

1. 菅谷	8. 千手堂	15. 越畑
2. 川島	9. 鎌形	16. 勝田
3. 志賀1区	10. 大蔵	17. 広野
4. 志賀2区	11. 根岸	18. 杉山
5. むさし台	12. 将軍沢	19. 太郎丸
6. 平沢	13. 古里	
7. 遠山	14. 吉田	

高校生、高等専門学校生の方にかがいます

問7 高校、高等専門学校卒業後の希望進路をご回答ください。(○は1つ)

1. 専門学校	4. 就職 -----> 問11へ
2. 短期大学	5. その他 ()
3. 大学	6. わからない

▶(問7で「1」～「3」を選択した方にかがいます。)

問8 希望進路先の所在地をご回答ください。(○は1つ)

1. 埼玉県内	3. 埼玉県、東京都以外の関東圏	5. その他 ()
2. 東京都内	4. 関東圏外	

▶(問7で「1」～「3」を選択した方にかがいます。)

問9 進学した場合、どこに住む予定ですか。(○は1つ)

1. 嵐山町	5. 埼玉県、東京都以外の関東圏
2. 嵐山町以外の比企郡(東松山含む)	6. 関東圏外
3. 埼玉県内	7. その他 ()
4. 東京都内	

▶(問8で「2」～「4」を選択した方にかがいます。)

問10 埼玉県外に進学したい理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望する学部や学科が県内にないから
2. 進学したい学校が県内にないから
3. 新しい友人など、知り合いをつくりたいから
4. 新しい土地で自分の可能性を広げたいから
5. 将来の就職に有利な学校に進学したいから
6. 可能な限り難関の学校に進学したいから
7. 埼玉県での生活に不満を感じるから
8. 実家を離れたいから
9. 家庭事情から
10. その他 ()

問 11 大学などを卒業したあとに嵐山町内に居住して、就職したいと思いませんか。(○は1つ)

※就職先は問いません

1. 思う -----> 問 12 へ

2. 思わない -----> 問 13 へ

(問 11 で「1」を選択した方にうかがいます。)

問 12 大学などを卒業したあとに嵐山町内に居住して、就職したいと思う理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 家族の近くで生活したいから | 5. 友人など知り合いが多いから |
| 2. 嵐山町で生活するよう家族に言われているから | 6. 嵐山町の風土が好きだから |
| 3. 実家から通えて経済的に楽だから | 7. 志望する企業があるから |
| 4. 嵐山町での生活に慣れているから | 8. 嵐山町に貢献したいから |
| | 9. その他 () |

(問 11 で「2」を選択した方にうかがいます。)

問 13 大学などを卒業したあとに嵐山町内に居住して、就職したいと思わない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 実家を離れたいから | 5. 嵐山町の風土が好きではないから |
| 2. 都会の方が便利だから | 6. 志望する企業が町内や近隣市町村にないから |
| 3. 地域にとらわれずに働きたいから | 7. その他 () |
| 4. 嵐山町に友人など知り合いが少ないから | |

すべての方にかがいます

問 14 将来的に嵐山町内に居住したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 思う ----> 問 15 へ | 2. 思わない ----> 問 16・17 へ |
|--------------------|-------------------------|

(問 14 で「1」を選択した方にかがいます。)

問 15 将来的に嵐山町内に居住したいと思う理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 自然環境がよいから | 7. 公共施設が整っているから |
| 2. 交通の便がよいから | 8. 教育環境がよいから |
| 3. 人間関係がよいから | 9. 安心・安全であるから |
| 4. 働きたい場所が近いから | 10. 買い物に便利だから |
| 5. 家族・友人がいるから | 11. 物価が安いから |
| 6. 住み慣れているから | 12. その他 () |

(問 14 で「2」を選択した方にかがいます。)

問 16 将来的に嵐山町内に居住したいと思わない理由をご回答ください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 自然環境がよくないから | 7. 教育環境がよくないから |
| 2. 交通が不便だから | 8. 安心・安全でないから |
| 3. 人情が薄く不親切だから | 9. 買い物に不便だから |
| 4. 働きたい場所が遠いから | 10. 物価が高いから |
| 5. 家族・友人がいないから | 11. その他 () |
| 6. 公共施設が整っていないから | |

(問 14 で「2」を選択した方にかがいます。)

問 17 どのようになれば嵐山町で暮らしたいと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 住む家や土地が安ければ | 5. 商業施設が充実すれば |
| 2. 交通の便が良くなれば | 6. 希望する就職先があれば |
| 3. 子育て支援が充実していれば | 7. その他 () |
| 4. 娯楽施設が増えれば | 8. 特にない |

問 18 嵐山町の今後のまちづくりについて、ご意見・ご要望等ございましたらご自由にお書きください。

○アンケートは以上で終了です。6月8日までに返信用封筒に入れてご返送ください。

ご協力ありがとうございました

3. 町外居住者に対するアンケート調査

嵐山町 町外居住者に対するアンケート調査

F1 あなたの性別をご回答ください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性

F2 あなたの年齢をご回答ください。(○は1つ)

1. 20～29歳
2. 30～39歳
3. 40～49歳
4. 50～59歳
5. 60～64歳
6. 65～69歳
7. 70～74歳
8. 75歳以上

F3 あなたの居住地をご回答ください。(○は1つ)

1. 滑川町
2. 小川町
3. 川島町
4. 吉見町
5. 鳩山町
6. ときがわ町
7. 深谷市
8. 熊谷市
9. 東松山市
10. 寄居町
11. 坂戸市
12. 鶴ヶ島市
13. 川越市
14. さいたま市
15. 板橋区

(F5で「1」に○をつけた方にかがいます。)

F5-1 具体的な市町村をご回答ください

(あ行)

1. 上尾市
2. 朝霞市
3. 伊奈町
4. 入間市
5. 小鹿野町
6. 小川町
7. 桶川市
8. 越生町

(か行)

9. 春日部市
10. 加須市
11. 神川町
12. 上里町
13. 川口市
14. 川越市
15. 川島町
16. 北本市
17. 行田市
18. 久喜市
19. 熊谷市
20. 鴻巣市
21. 越谷市

(さ行)

22. さいたま市
23. 坂戸市
24. 幸手市
25. 狭山市
26. 志木市
27. 白岡市
28. 杉戸町
29. 草加市

(た行)

30. 秩父市
31. 鶴ヶ島市
32. ときがわ町
33. 所沢市
34. 戸田市

(な行)

35. 長瀨町
36. 滑川町
37. 新座市

(は行)

38. 蓮田市
39. 鳩山町
40. 羽生市
41. 飯能市
42. 東秩父村
43. 東松山市
44. 日高市
45. 深谷市
46. 富士見市
47. ふじみ野市
48. 本庄市

(ま行)

49. 松伏町
50. 三郷市
51. 美里町
52. 皆野町
53. 宮代町
54. 三芳町
55. 毛呂山町

(や行)

56. 八潮市
57. 横瀬町
58. 吉川市
59. 吉見町
60. 寄居町

(ら行)

61. 嵐山町

(わ行)

62. 和光市
63. 蕨市

F6 あなたの通勤・通学手段は何ですか。複数ある場合は主なものをご回答ください。

(○は1つ)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車
5. バス
6. 鉄道
7. その他 ()

F7 あなたの通勤・通学時間は片道でどのくらいですか。(○は1つ)

1. 15分未満
2. 15～30分未満
3. 30分～1時間未満
4. 1時間～2時間未満
5. 2時間以上

F8 現在居住している住宅の種類をご回答ください。(○は1つ)

1. 持家
2. 借家・アパート
3. 公営住宅
4. 社宅・寮・住み込み
5. その他 ()

F9 現在の婚姻状況をご回答ください。(○は1つ)

1. 結婚している
2. 結婚していたが、死別・離別した
3. 結婚していない

F10 あなたの世帯構成についてご回答ください。(○は1つ)

1. 単身世帯 (一人暮らし)
2. 夫婦のみ世帯
3. 2世代世帯 (親と子)
4. 3世代世帯 (親と子と孫)
5. その他の世帯

居住観について

問1 あなたは、現在お住まいのところに住んで何年くらいになりますか。(○は1つ)

1. 20年以上
2. 10年以上20年未満
3. 5年以上10年未満
4. 5年未満

問2 あなたは、現在お住まいのところに住む前は、どちらにお住まいでしたか。

(○は1つ)

1. 生まれたときからずっと今のところ
2. 埼玉県内
3. 東京都
4. 群馬県
5. 栃木県
6. 茨城県
7. 千葉県
8. 神奈川県
9. その他

(問2で「2」に○をつけた方にうかがいます。)

問2-1 具体的な市町村をご回答ください

(あ行)

1. 上尾市
2. 朝霞市
3. 伊奈町
4. 入間市
5. 小鹿野町
6. 小川町
7. 桶川市
8. 越生町

(か行)

9. 春日部市
10. 加須市
11. 神川町
12. 上里町
13. 川口市
14. 川越市
15. 川島町
16. 北本市
17. 行田市
18. 久喜市
19. 熊谷市
20. 鴻巣市
21. 越谷市

(さ行)

22. さいたま市
23. 坂戸市
24. 幸手市
25. 狭山市
26. 志木市
27. 白岡市
28. 杉戸町
29. 草加市

(た行)

30. 秩父市
31. 鶴ヶ島市
32. ときがわ町
33. 所沢市
34. 戸田市

(な行)

35. 長瀨町
36. 滑川町
37. 新座市

(は行)

38. 蓮田市
39. 鳩山町
40. 羽生市
41. 飯能市
42. 東秩父村
43. 東松山市
44. 日高市
45. 深谷市
46. 富士見市
47. ふじみ野市
48. 本庄市

(ま行)

49. 松伏町
50. 三郷市
51. 美里町
52. 皆野町
53. 宮代町
54. 三芳町
55. 毛呂山町

(や行)

56. 八潮市
57. 横瀬町
58. 吉川市
59. 吉見町
60. 寄居町

(ら行)

61. 嵐山町

(わ行)

62. 和光市
63. 蕨市

(問2で「2～9」に○をつけた方にうかがいます。)

問3 転居のきっかけはなんですか。(○はいくつでも)

1. 進学
2. 就職
3. 転職
4. 結婚
5. 妊娠・出産
6. 子育て
7. 定年退職・早期退職
8. 親族の介護
9. 子どもや孫との同居・近居
10. その他 ()
11. 特にきっかけはない

(問2で「2～9」に○をつけた方にうかがいます。)

問4 転居の決め手となったものはなんですか。(○はいくつでも)

1. 通勤・通学の利便性
2. 公共交通の利便性
3. 住宅の条件
4. 街並みや街の雰囲気
5. 買い物の利便性
6. 公園・自然環境
7. 医療・福祉
8. 子育て環境
9. 公共施設の充実
10. 教育環境
11. 治安・安全性
12. 自然災害の少なさ
13. 道路や下水道など都市基盤
14. 配偶者が住んでいた、または、親族・知人が近くに住んでいる
15. 生まれ育ったところだから
16. 住宅が用意されていた(社宅、家族と同居、家族の持ち家)
17. その他 ()

(すべての方にうかがいます。)

問5 あなたは、今後も現在お住まいのところに住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 一生住みたい
2. 今後もある程度住みたい
3. 移転したい
4. どちらともいえない

(問5で「1」「2」を選択した方にうかがいます。)

問5-1 住みたいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 自然環境がよい
2. 交通の便がよい
3. 人間関係がよい
4. 働く場所が近い
5. 家族・友人がいる
6. 住み慣れている
7. 公共施設が整っている
8. 教育環境がよい
9. 安心・安全である
10. 買い物に便利
11. 物価が安い
12. その他 ()

(問5で「3」を選択した方にうかがいます。)

問5-2 移転したいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 自然環境がよくない
2. 交通が不便
3. 人情が薄く不親切
4. 働く場所が遠い
5. 家族・友人がいない
6. 公共施設が整っていない
7. 教育環境がよくない
8. 安心・安全でない
9. 買い物に不便
10. 物価が高い
11. その他 ()

嵐山町について

問6 あなたは、今回のアンケート調査以前に「埼玉県嵐山町」を知っていましたか
(○は1つ)

1. 行ったことがある
2. テレビ・新聞等で観たことがある
3. 名称だけは、聞いたことがある
4. 知らない

(問6で「1～3」を選択した方にうかがいます。)

問7 嵐山町についてどのような印象・イメージをお持ちですか。(○はいくつでも)

1. 自然環境がよい
2. 交通の便がよい
3. 人間関係がよい
4. 公共施設が整っている
5. 教育環境がよい
6. 安心・安全である
7. 買い物に便利
8. 物価が安い
9. 自然環境がよくない
10. 交通が不便
11. 人情が薄く不親切
12. 公共施設が整っていない
13. 教育環境がよくない
14. 安心・安全でない
15. 買い物に不便
16. 物価が高い
17. その他 ()
18. 特にない

(すべての方にかがいます。)

問8 嵐山の景勝地・施設・特産品・イベント等でご存じのものはありますか。

(○はいくつでも)

1. 嵐山溪谷
2. 嵐山溪谷バーベキュー場
3. さいたま緑のトラスト保全第3号地
4. オオムラサキの森
5. 都幾川桜堤
6. 国立女性教育会館
7. 鎌形八幡神社
8. 菅谷館跡
9. 杉山城跡
10. 鬼鎮神社
11. 嵐山史跡の博物館
12. 地酒「おおむらさき」
13. のらぼう菜
14. 嵐山辛モツ焼きそば
15. 嵐山さくらまつり
16. 嵐山まつり
17. 時代まつり
18. 嵐山町重忠綱引大会
19. マスコットキャラクター「むさし嵐丸」
20. 東武東上線武蔵嵐山駅
21. 関越自動車道嵐山小川インターチェンジ
22. 特にない

嵐山町住民意識調査報告書

発行日 平成27年7月

発行者 嵐山町 地域支援課

〒355-0211

埼玉県比企郡嵐山町大字杉山1030-1

TEL 0493-62-2152